

ORPHIS *EX* シリーズ

9050 / 9000 / 7250 / 7250A / 7200 / 7200L

らくらく

# 使いかたガイド

まず、このガイドからお読みください。  
操作方法とできることを説明しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2 : 2011」に適合しています。



お読みになったあとは、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

「安全上の注意」はユーザズガイドに記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

本機の取扱説明書は、次の4冊から構成されています。

●らくらく使いかたガイド（本書）

プリンタ、コピー、スキャナーの基本的な使いかたや、消耗品の交換について説明しています。まずはこのガイドからお読みください。

●ユーザーズガイド

取り扱い上の注意、仕様、各種機能の操作や設定について説明しています。本機について詳しく知りたいときに、このガイドをお読みください。

●管理者ガイド

管理者を対象とした本機やオプション（ICカードリーダー、スキャナー等）の設定について説明しています。

●こんなときには

故障かな？と思ったときや紙づまりなどのトラブルの対処方法について説明しています。

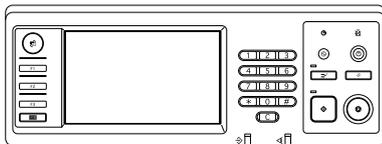
取扱説明書の記述内容について

- (1) 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容につきましては、商品の改良等のため、将来予告なしに変更する場合がございます。
- (3) 本書および本機を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

■記載方法について

このガイドの中で操作パネルなどのハードキーは [ ] キー、タッチパネル画面のボタンや、パソコン操作画面のボタン/項目名については、ボタン名称を [ ] で括って表しています。

●操作パネル



例：[ストップ] キーを押します。

●タッチパネル画面



例：[AF 原稿追加] を押します。

●パソコン操作画面



例：[原稿サイズ混在] にチェックを入れます。

■オプション名の表記

本書では、オプションを以下のように表記しています。それぞれに固有の事項を説明する場合には、個別の名称を表記しています。

表記	オプション名称
マルチフィニッシャー	マルチフィニッシャー M (中とじ機能つき) マルチフィニッシャー S
給紙台	大容量給紙ユニット
排紙台*	排紙台 W オートフェンス排紙台 大容量排紙ユニット

\* 本体右側に接続するオプションの排紙台です。

■本文中の画面について

本書に掲載している画面やイラストは、本体の機種、オプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。



ORPHIS EX7200L では、使用するインクがブラックとレッドになるため、以下の画面表示が異なる場合があります。

- ・プリンタドライバ画面およびコピーモード画面のカラーモード
- ・各モード画面のインク残量表示
- ・一般情報画面

RISO コンソール画面も、インクに関する表示が異なります。



# 最初に使うときや使いかたに 困ったときにお読みください。

本書をよくお読みになり、正しくお使いください。



## 本機の特長

本機はネットワーク対応で高速カラー印刷を行うインクジェットプリンターです。パソコンからのプリントの他、オプションとの組み合わせで、コピーやスキャンなどさまざまな機能を活用することができます。また、環境に配慮した充実の省電力機能と、多枚数印刷を可能にするオプションの大容量給紙ユニット・大容量排紙ユニットによって、生産性を向上することができます。



## 本書について

このガイドは、最初に使うときや、操作中迷ったときなどに、手軽に開いて読めるように書かれています。  
基本的な使いかたと、本機でできることの操作の流れを、操作パネルやパソコンの画面に沿って紹介しています。  
機器本体の近くなど、すぐに手に取れる場所に保管し、ご利用ください。  
まずはこのガイドからお読みください。

## このマークがヒント！

本文中で使用されるマークは以下の機能や補足を表します。



プリンター機能



オプション



コピー機能



覚えておくと便利なメモ



スキャナー機能



重要事項



パソコンからの操作



安全上の注意

## こんなにある便利な機能

本機はプリンター機能に加え、オプション機器を装着してコピーやスキャナーなど、さまざまな用途でご利用いただけます。ここでは本機でできることの一部をご紹介します。

### ダイレクトメールや招待状をきれいに作成したい！

用紙種類 (p.42、p.48 参照)

本機は用紙種類により最適なカラープロファイルを選択しています。印刷物の仕上がりがイメージと異なる場合は、用紙種類を変更してください。



### 社員旅行の幹事になった。旅のしお리를作りたい！

小冊子の面付け (p.83 参照)

自動でページを面付けして、小冊子状にプリントできます。また、オプションのマルチフィニッシャーを使うと、ステープルやパンチなどのさらに便利な機能も併せて活用できます。



### シュレッターがいっぱい！ もっと紙を節約できないかしら？

両面印刷、Nアップ、両面コピー  
(p.42、p.66、p.81 参照)

用紙の両面にプリントしたり、複数ページを1枚にまとめてプリントしたりすることができます。両面プリントとNアップを組み合わせると、さらに紙を節約することができます。



### 1時間後の会議に100部の資料を用意しなきゃ！

ソート/合紙 (p.84 参照)

大量の会議資料や配布物など、ソート/合紙機能を使えば素早く仕分けすることができます。オプションのマルチフィニッシャー、オフセットステープルトレイまたは大容量排紙ユニットを使うとオフセット排紙ができ、より効率的です。



### 毎回同じ設定で出力するのに、その都度設定しなおすの、面倒くさい……。

コピー設定登録/スキャナー設定登録 (p.51、p.62 参照)

コピー設定登録/スキャナー設定登録に設定内容を登録しておけば、設定内容を呼び出して使えるので、手間が省けて便利です。



## 大量の出力、いつも失敗してストップキー連打……！

確認プリント、確認コピー  
(p.67、p.85 参照)

確認プリント、確認コピーを使えば、最初に1部だけ出力して仕上がりや設定内容を確認できて安心です。



## 会社案内の小冊子、みんなその都度、設定して出力してるみたい。不便……。

ボックス保存 (p.68、p.78 参照)

ジョブをボックスに保存しておく、設定内容も保存でき、必要なときにいつでもプリントすることができます。



## 封筒をきれいに印刷したい！

封筒画像処理 (p.43 参照)

封筒画像処理を使えば、いろいろな厚みの封筒でもぼやけや汚れを抑えて印刷することができます。



## 不定形用紙を面倒な設定なしでプリントしたい！

不定形用紙 (p.48)

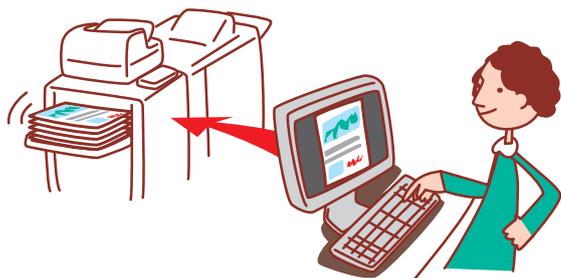
不定形サイズの内紙を「用紙サイズ登録」しなくても、定形サイズと同等にプリントすることができます。



## 時間優先、なるべく早く出力したい！

データ圧縮 (p.43 参照)

プリントデータのファイルサイズを小さくし、画質よりもネットワークの通信速度を優先させて出力することができます。



## このプリント、他人に見られるとマズいっ！

暗証番号、PDF データ暗号化  
(p.67、p.78、p.88 参照)

ジョブに暗証番号を設定すると、他人に見られることなくプリントすることができます。本機のタッチパネルで暗証番号を入力することで出力できます。また、スキャナーで読み込んだ文書に対して、パスワードを設定することができます。文書にアクセス権を設定すると、印刷、編集等を制限でき、不正利用に対する安全性を強化することができます。



## 終了したコピージョブを再度コピーしたい！

### 追加コピー (p.51 参照)

直前にコピーしたジョブを、もう一部追加したいときなど、再度コピーすることができます。また、画像位置、用紙トレイ、プリント濃度の設定を変更することもできます。



## 離れた場所から本機の状態を確認したい。

### コンソール (p.90 参照)

わざわざ本機のある場所まで行かなくても、パソコンから本機の状態や設定内容を確認したり、ジョブを操作したりできます。



## サイズの異なる原稿を一度にコピーしたい！

### 原稿サイズ混在 (p.52 参照)

A4 と A3 など、一辺の長さが同じであれば、ページごとに異なるサイズの原稿でもオートフィーダーで読み取り、コピーすることができます。



## 待機時の電力を節約したい。

### 省電力設定 (p.18 参照)

消費電力を抑えて電力を節約することができます。省電力状態、スリープ状態やバックライトオフになるまでの時間や、スリープ状態の消費電力を選択できます。



## 機種別構成表

本体の機種により、装備や機能が異なります。お使いの機種名で機能をご確認ください。

項目 \ 機種名	ORPHIS EX9050 / EX7250 / EX7250A	ORPHIS EX9000 / EX7200	ORPHIS EX7200L
用紙トレイ 1/2/3 (原稿サイズ混在/合紙/表紙付け)	あり	なし*	なし*
外部コントローラ IS1000C (オプション) の接続	可	可	不可
くるみ製本フィニッシャー (オプション) の接続	可	可	不可
メーリングフィニッシャー (オプション) の接続	可	不可	不可

\*読み取りのみのため、スキャナーモードの「原稿サイズ混在」機能は使用できません。

## ORPHIS EX7200L をお使いのお客様へ

ORPHIS EX7200Lでは、使用するインクがブラックとレッドになるため、カラープロファイルの種類や、印刷物の仕上がりがフルカラープリンターとは異なります。

本製品の取扱説明書は、フルカラープリンターと兼用です。掲載しているイラストや画面は、フルカラープリンターにオプションを装着した状態で説明しています。一部機能が画面表示が、フルカラープリンターとは異なりますのでご了承ください。また、本体の機種によりオプションの接続が異なるため、使用できない機能があります。

装備、オプションの違いについては、p.6の「機種別構成表」でご確認ください。

### 使用できない機能

ORPHIS EX7200Lでは、用紙トレイおよびオプションの外部コントローラ、くるみ製本フィニッシャー、メーリングフィニッシャーを使用する機能が使えません。

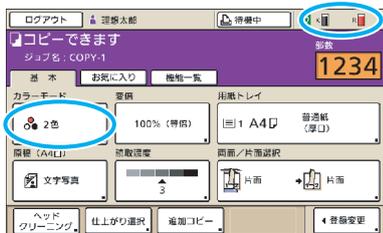
例：原稿サイズ混在、給紙トレイ選択、合紙、表紙付け、Z折り混在、アーカイブ保存、くるみ製本、封書作成機能

### 画面表示

2色印刷のため、インクに関する表示やプリンタドライバ、コピーモードのカラーモードに関する表示が一部異なります。

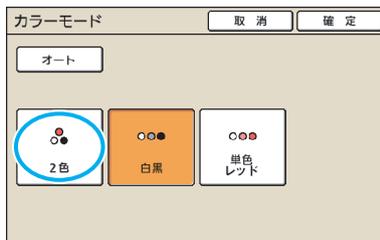
#### ●コピーモード画面

インク残量表示、カラーモード



#### ●カラーモード画面

2色、単色レッド、単色シアンなし



#### ●パソコン操作画面

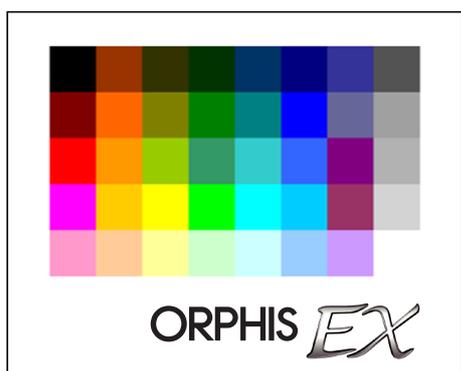
カラーモード



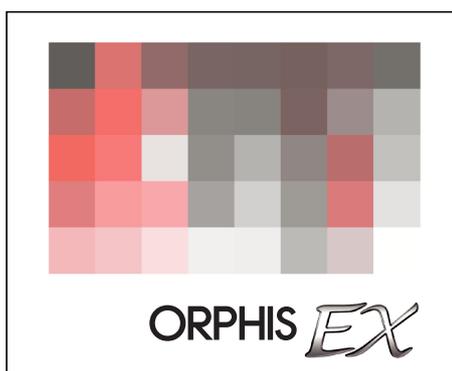
### ORPHIS EX7200L のカラープロファイル

フルカラーの原稿をブラックとレッドの2色で表現するため、赤系以外の色はブラックに自動で変換されます。フルカラーの原稿を[2色]または[オート]でプリントした場合、下記のような仕上がりになります。

橙色や黄色などの暖色系はレッド、青や緑などの寒色系はブラックで印刷されます。



カラーチャート原稿



仕上がり



原稿とプリントの仕上がり（色味）を同じにしたい場合は、あらかじめブラックとレッドの2色で原稿を作成することをお勧めします。

# 目次

1	<b>使うための準備</b>	
	はじめに知っておくこと	10
	タッチパネル画面	20
	ログインについて	22
	プリンタドライバのインストール	24
	パソコンからの操作	26
	用紙と原稿	27
2	<b>基本的な使いかた</b>	
	プリントする	
	プリンタドライバ画面	42
	プリントしてみよう!	46
	コピーする	
	コピーモード画面	47
	コピーしてみよう!	58
	スキャンする	
	スキャナーモード画面	59
スキャンしてみよう!	63	
3	<b>便利な機能の使いかた</b>	
	いろいろなプリント機能を使ってみよう!	66
	プリンター画面でできること (プリンターモード画面)	74
	ジョブを使ってみよう!	78
	いろいろなコピー機能を使ってみよう!	81
	いろいろなスキャン機能を使ってみよう!	87
	コンソール画面でできること (コンソール画面)	90
	コンソールを使ってみよう!	94
	こんなこともできます一覧	96
4	<b>バーコード領域指定アプリケーションを使用する</b>	
	バーコードアプリについて	100
5	<b>メンテナンス</b>	
	日頃のお手入れ	110

# 使うための準備

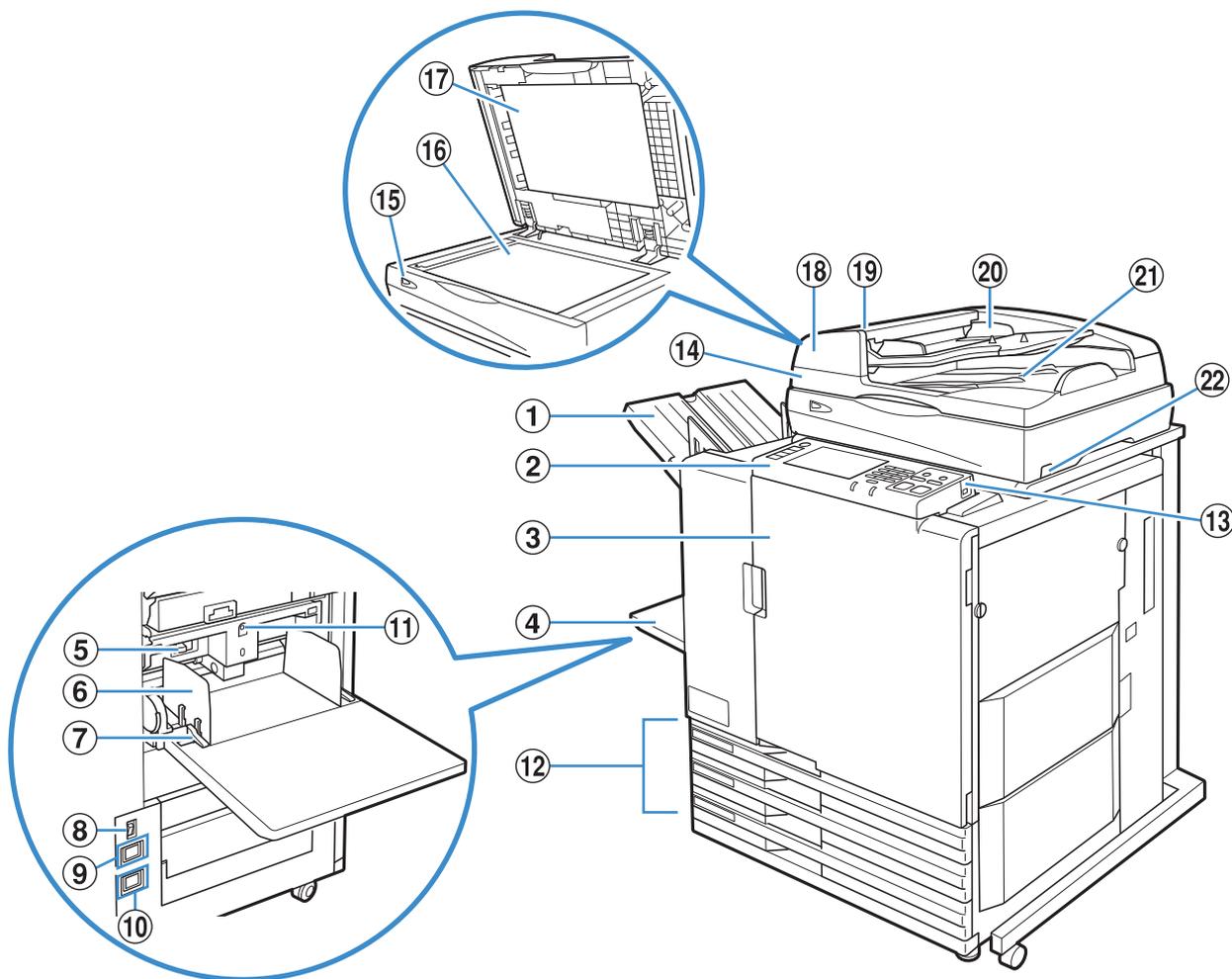


## はじめに知っておくこと

便利な機能を使いこなすために、まずは各部の名称や、はたらきを知ることが大切です。ここでは、各部の名称やはたらきを説明しています。



### 各部の名称



#### ①フェイスダウン排紙トレイ

印刷物がフェイスダウンで排出されます。

#### ②操作パネル

操作や設定をするときに使用します。(p.17 参照)

#### ③前カバー

用紙が詰まったときや、インクカートリッジの交換のときに開けます。



通常時(紙づまりなどのトラブルがない場合)は開けられません。開けたい場合は、「前扉ロック解除」をONにします。詳しくは、「前扉ロック解除」(p.56)を参照してください。

#### ④給紙台

特殊用紙(厚紙・封筒など)をセットします。普通紙をセットすることもできます。詳しくは、「用紙と原稿」(p.27)を参照してください。

### ⑤給紙圧調節レバー

給紙台にセットした用紙の紙質に合わせて、給紙の圧力を調節します。

### ⑥給紙フェンス

給紙台にセットした用紙がずれるのを防ぎます。

### ⑦給紙フェンスレバー

給紙フェンスをスライドするときや、固定するとき 사용합니다。給紙フェンスの両側（2箇所）にあります。

### ⑧主電源スイッチ

主電源を ON / OFF します。  
通常は ON のままにしておきます。



大容量給紙ユニットを接続した場合、大容量給紙ユニット側の主電源スイッチを使用します。詳しくは「大容量給紙ユニット」(p.13) を参照してください。

### ⑨スキャナー用ソケット

スキャナーの電源コードを接続します。

### ⑩本体用ソケット

本体の電源コードを接続します。

### ⑪給紙台上下ボタン

給紙台の用紙を交換／追加するときなどに、給紙台を上下させます。

### ⑫用紙トレイ

プリントする用紙をセットします。厚紙など特殊な用紙はセットできません。詳しくは、「用紙と原稿」(p.27) を参照してください。

### ⑬ USB ポート

USB メモリを接続してスキャンデータを保存したり、USB メモリに保存したプリントジョブを出力したりできます。



USB メモリは、マストレージクラスおよび USB1.1/2.0 に対応したものを使用してください。

### ⑭スキャナー

原稿を原稿台ガラスやオートフィーダーから読み取ってコピーやスキャンすることができます。

### ⑮スキャナーランプ（緑／赤）

スキャナーが使用可能な状態のときは緑色に点灯します。起動中や読み取り動作中は緑色に点滅し、エラーが発生したときは赤色に点滅します。

### ⑯原稿台ガラス

左上の矢印の位置に合わせて、原稿を下向きにセットします。

### ⑰原稿カバー

原稿台で原稿を読み取るときに開閉します。

### ⑱オートフィーダー

最大約 100 枚の原稿を自動で送ることができます。

### ⑲原稿ユニットレバー

原稿がつまんだときはこのレバーを上へ引いて、原稿ユニットカバーを開きます。

### ⑳原稿フェンス

原稿の幅に合わせてスライドさせます。

### ㉑原稿排紙トレイ

オートフィーダーで読み取った原稿が排出されます。

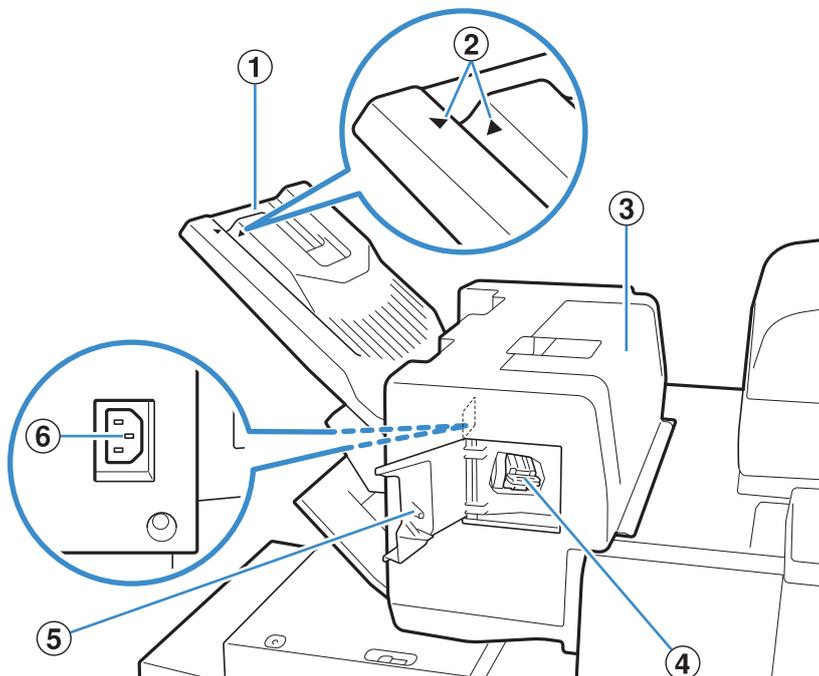
### ㉒スキャナー電源スイッチ

スキャナーの電源を ON/OFF します。  
通常は ON のままにしておきます。



## オフセットステーブルトレイ

オプションのオフセットステーブルトレイを接続すると、プリントされた用紙へのステーブルや、プリント単位ごとにオフセット排紙をすることができます。



### ①排紙トレイ

印刷物がフェイスダウンで排出されます。

 排紙トレイはスライド式になっています。通常は②の▶と◀の位置を合わせて使用します

トレイセット位置	用紙の種類と排紙条件
 ▶と◀を合わせます。	通常（下記以外）
 トレイをスライドさせて◀を②の位置にセットします。	B5 以下の薄紙でステーブルなしの場合

### ③ジャム解除カバー

プリンターからオフセットステーブルトレイへの用紙搬送時に紙づまりが発生した場合に、このカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。

### ④ステーブルカートリッジ

ステーブルカートリッジの交換や、針がつまった場合に、引き出します。

### ⑤ステーブルカバー

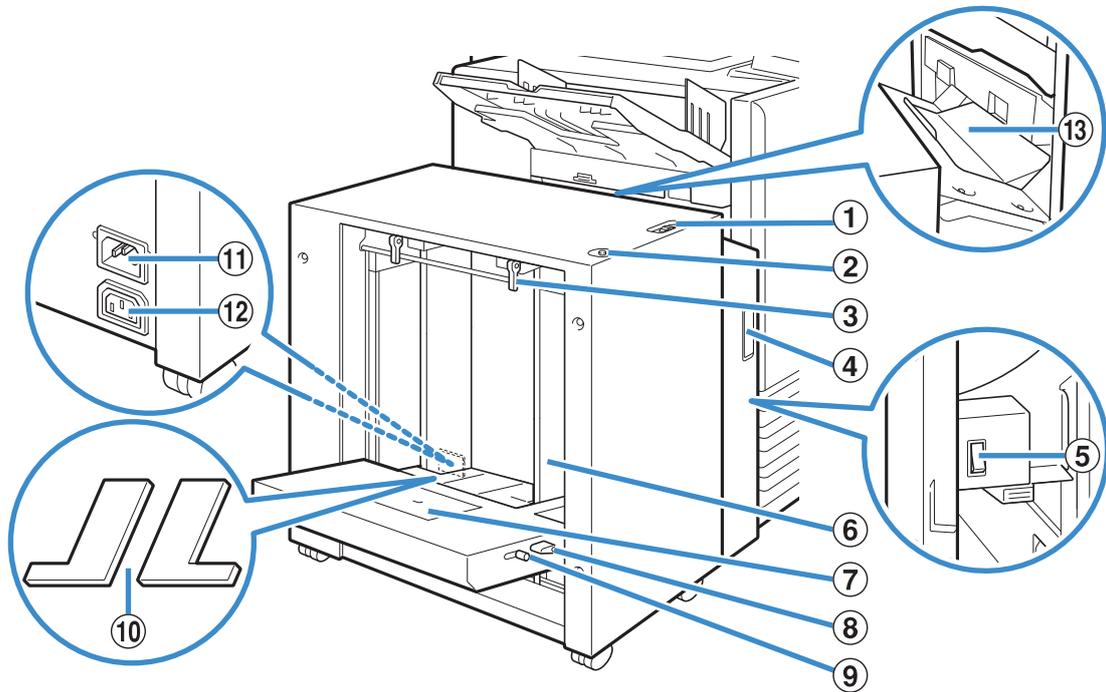
針がつまったときや、ステーブルカートリッジの交換時に、このカバーを開けます。

### ⑥オフセットステーブルトレイ用ソケット

オフセットステーブルトレイの電源コードを接続します。

## 大容量給紙ユニット

オプションの大容量給紙ユニットを接続すると、約 4000 枚の印刷用紙（理想用紙 IJ の場合）をセットすることができます。



### ①給紙圧調節レバー

大容量給紙ユニットにセットした用紙の紙質に合わせて、給紙の圧力を「標準」と「厚紙」の2段階で調節します。

### ②給紙台上下ボタン

大容量給紙ユニットの用紙を交換／追加するときに、給紙台を上下させます。

### ③給紙フェンスレバー

給紙フェンスをスライドするときや、固定するとき 사용합니다。給紙フェンスの両側（2箇所）にあります。

### ④前カバー

主電源スイッチをON/OFFするときや、用紙が詰まったときに開けます。

### ⑤主電源スイッチ

大容量給紙ユニット接続した場合、こちらのスイッチで本機の電源をON/OFFします。通常はONのままにしておきます。

### ⑥給紙フェンス

大容量給紙ユニットにセットした用紙がずれるのを防ぎます。

### ⑦封筒ガイド

封筒をプリントするときに使用します。使用する封筒の種類に応じて、傾斜角度の調節が必要です。

### ⑧封筒ガイド角度調節レバー

封筒ガイドの傾斜角度を調節します。封筒ガイドの角度は、4段階で調節します。

### ⑨封筒ガイド給紙圧調節レバー

使用する封筒の紙質に合わせて、給紙の圧力を調節します。

### ⑩給紙台穴埋めカバー

A4 縦未満／A3 を超える用紙、長3／長4サイズの封筒をセットする場合は、カバーを取り外します。

### ⑪大容量給紙ユニット用ソケット

大容量給紙ユニットの電源コードを接続します。給紙台背面の右側にあります。

 大容量給紙ユニットを接続した場合、給紙台は使用できません。

### ⑫本体用ソケット

本体の電源コードを接続します。

### ⑬搬送カバー

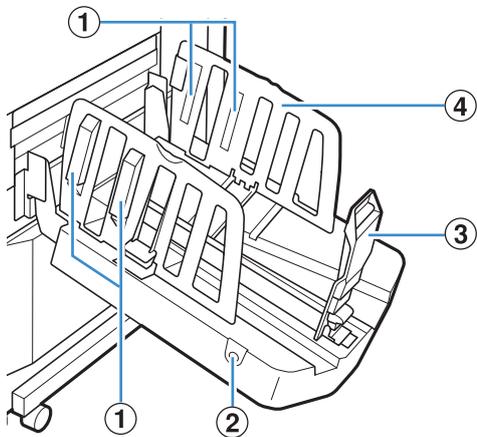
紙づまりが発生した場合に、このカバーを開けて詰まった用紙を取り除きます。

## 排紙台

オプションの排紙台には、オートフェンス排紙台や排紙台 W があります。

- ・オートフェンス排紙台は、排紙フェンスの位置を、用紙サイズに合わせて自動で調整できます。
- ・排紙台 W は、排紙フェンス（サイド・エンド）を、印刷する用紙サイズに合わせて移動させてください。

●イラストは、オートフェンス排紙台です。



### ①紙揃えプレートノブ

排紙された用紙がきれいに揃うように、紙質に合わせてセットします。(p.33 参照)

### ②排紙フェンスオープンボタン

ボタンを押すと、排紙フェンスが広がります。用紙のあり・なしで動作が異なります。

- ・本機が待機中で、排紙台に用紙がない場合は、収納位置まで開きます。
- ・本機が待機中で、排紙台に用紙がある場合は、排紙フェンスが広がり、用紙が取り出しやすくなります。ボタンを押したときに、広がるフェンスは、管理者が設定することができます。



このボタンは、排紙台 W にはありません。

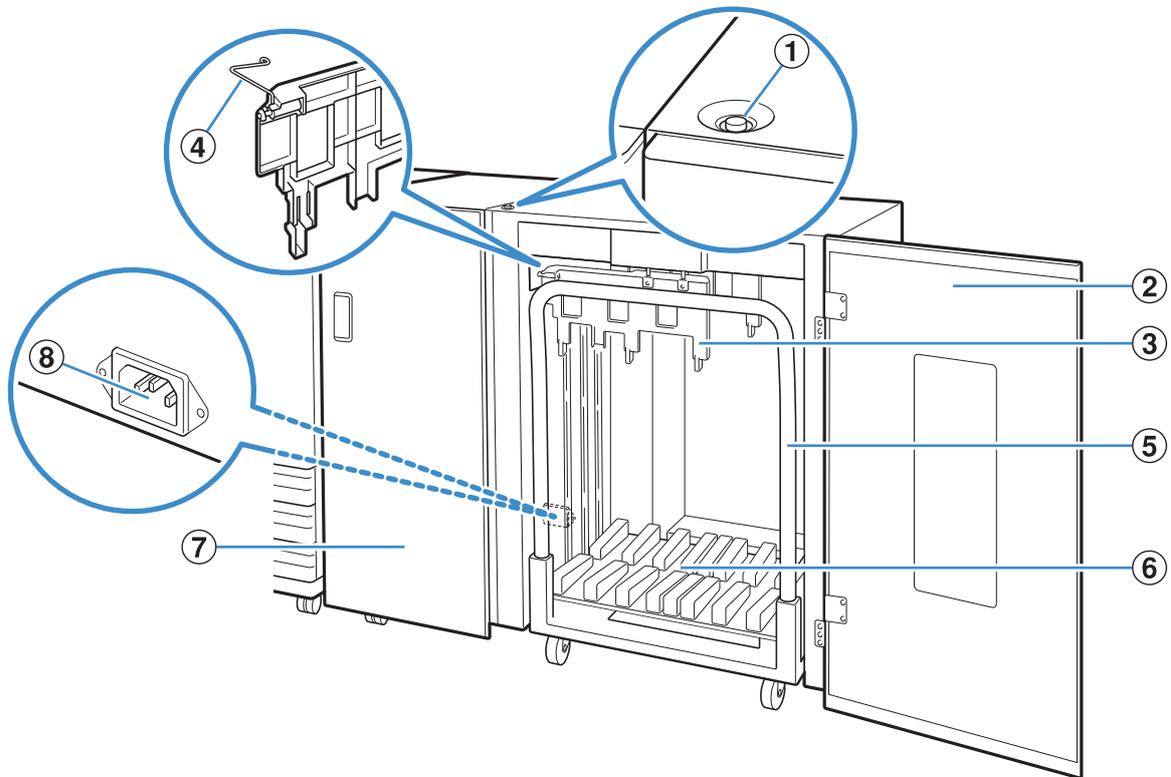
### ③排紙フェンス（エンド）

### ④排紙フェンス（サイド）

排紙された用紙がずれるのを防ぎます。

## 大容量排紙ユニット

大容量排紙ユニットを接続すると、約 4000 枚の印刷物（理想用紙 J の場合）を排紙することができます。排紙された印刷物は、専用の台車ごとに取り出すことができます。



### ①排紙台下降ボタン

排紙台の印刷物を取り除くときに押します。排紙台下降ボタンを押すと、排紙台が最下位（台車の位置）まで下がります。下降中に排紙台下降ボタンを押すと、押した位置で排紙台が止まります。再度押すと、排紙台が下がります。印刷中は、排紙台下降ボタンを押しても動作しません。左右のカバーが閉まっている状態で押しください。

### ②右カバー

印刷物を取り出すときや、台車をセットするとき、または紙づまりを解除するとき、このカバーを開けます。

### ③排紙フェンス

排紙された印刷物がずれるのを防ぎます。

### ④コルゲータ

軽量紙などの用紙の種類に応じて通紙状態や、印刷物の紙揃えをよくしたい場合にセットします。

### ⑤専用台車

大容量排紙ユニット内にセットして使用します。排紙台を接続し、大量の印刷物を台車ごと運ぶことができます。

### ⑥排紙台

印刷物はここに排紙されます。

### ⑦左カバー

用紙搬送時に紙づまりが発生した場合に、このカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。

### ⑧大容量排紙ユニット用ソケット

大容量排紙ユニットの電源コードを接続します。左カバー背面の下側にあります。

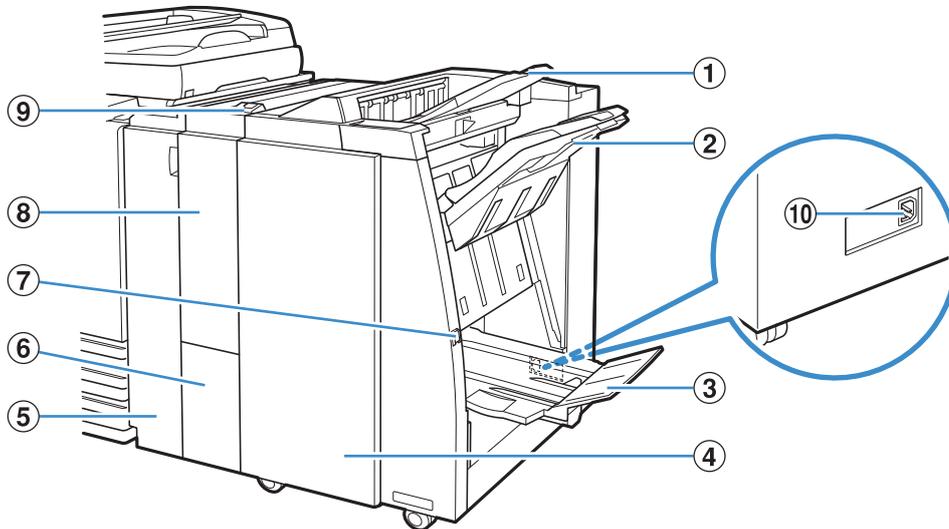


- ・印刷中は、カバーを開けないでください。カバーを開けた状態では、印刷できません。
- ・台車は必ず、大容量排紙ユニット専用台車を使用してください。

## マルチフィニッシャー

オプションのマルチフィニッシャーを接続すると、プリントされた用紙にステープル／パンチをしたり、小冊子を作成したりすることができます。

●イラストは、マルチフィニッシャー M（紙折りユニット付き）です。



### ① トップトレイ

パンチ機能を使用する場合、印刷物はここに排出されます。

### ② スタックトレイ

ステープルやオフセット排紙、パンチ機能を使用する場合、印刷物はここに排出されます。

### ③ 小冊子トレイ\*

小冊子や二つ折りにされた印刷物は、ここに排出されます。

### ④ 右カバー

ステープルカートリッジの交換時や、紙づまりが発生した場合などに、このカバーを開けて処理します。

### ⑤ 左カバー

プリンターからフィニッシャーへの用紙搬送時に紙づまりが発生した場合に、このカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。

### ⑥ 三つ折りトレイ\*

三つ折りされた印刷物は、ここに排出されます。

### ⑦ 排出ボタン\*

小冊子トレイに排出された印刷物を取り出すときに押すと、印刷物を取り出しやすい位置まで移動します。

### ⑧ 紙折りユニット\*

外三つ折り、内三つ折り、Z折りができます。

### ⑨ 三つ折りトレイ引き出しボタン\*

三つ折りの印刷物を取り出すときに押します。三つ折りトレイが手前に開きます。

### ⑩ マルチフィニッシャー M 用ソケット

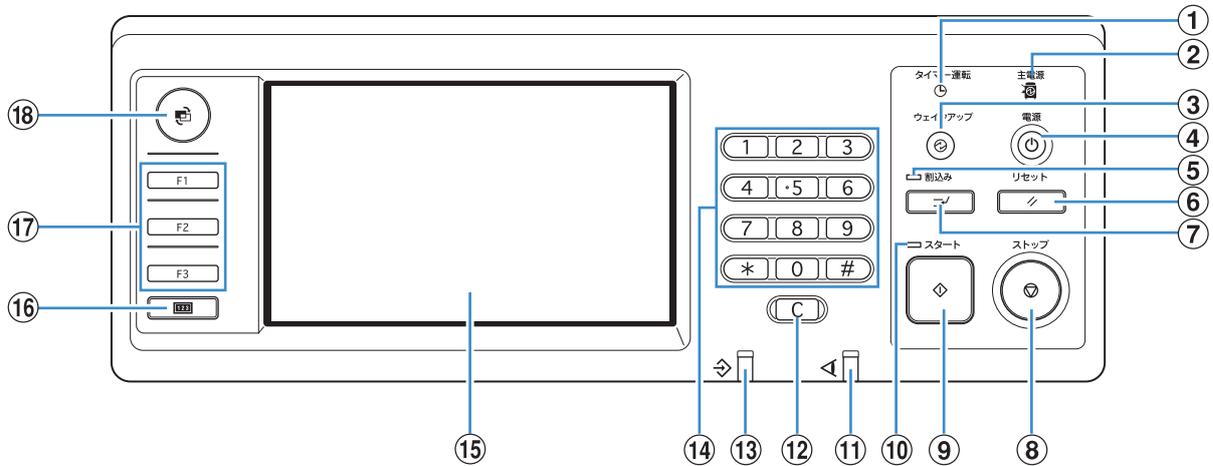
マルチフィニッシャー M 用の電源コードを接続します。マルチフィニッシャーの背面にあります。

\*フィニッシャーの種類により、装備されていない場合があります。

## 操作パネル

操作パネルを使っていろいろな操作や設定をします。

ランプの色と点灯／点滅状態で、紙づまりなどのエラーや本機の状態を知ることができます。



### ①タイマー運転ランプ

タイマー運転を設定しているときに点灯します。

### ②主電源ランプ

主電源が「ON」の状態のときに点灯します。

### ③ウェイクアップキー

本機がスリープ状態またはバックライトオフのときに点灯します。点灯時にキーを押すと、本機の操作が可能になります。

ジョブ終了後にこのキーを押すことで、強制的にスリープ状態に移行させることができます。

### ④副電源キー

電源のON/OFFを切り替えます。ONの場合に点灯します。OFFに切り替える場合は、長押しします。

### ⑤割込みランプ

割込みコピー中に点灯します。

### ⑥リセットキー

設定した内容を、初期値に戻すときに押します。

### ⑦割込みキー

進行中のジョブを一旦停止して、違うコピーを実行するときに押します。

### ⑧ストップキー

進行中のジョブを停止するときに押します。

### ⑨スタートキー

動作を開始するときに押します。

### ⑩スタートランプ

スタートキーが使用可能なときに点灯します。

### ⑪エラーランプ

エラーが発生したときに点滅します。

### ⑫クリアキー

入力した文字や数字を取り消すときに押します。

### ⑬データ受信ランプ

データの受信中に点滅します。

### ⑭テンキー

数値を入力するときに押します。

(\*)キーを押すと、コピーモードやスキャナーモードの設定登録画面を表示できます。

### ⑮タッチパネル

操作や設定をするときに使用します。

また、エラーメッセージや確認メッセージなども表示されます。

### ⑯カウンターキー

カウント表示画面に切り替えるときに押します。

コピーやプリントの制限枚数、使用枚数、残枚数が表示されます。また、表示された情報はプリントしたり、USBメモリに保存することができます。カウント表示画面については詳しくは、「コンソールを利用する」の「カウント表示」(p.91)を参照してください。

### ⑰ファンクションキー

各モードや機能を登録することで、短縮キーとして活用できます。登録は、管理者設定で行います。

### ⑱モードキー

モード選択画面に切り替えるときに押します。



## 省電力設定

稼働準備時の消費電力を抑えて電力を節約することができます。

本機は、一定時間操作しないと自動的に省電力モードに移行します。省電力モードに移行すると、タッチパネルが消灯し、[ウェイクアップ] キーが点灯します。[ウェイクアップ] キーを押すと、省電力モードを解除して復帰します。また、省電力モードには、バックライトオフとスリープ状態があり、スリープには消費電力値の違いで2種類 [少ない / 標準] から選択することができます。それぞれのモードへの移行時間や、消費電力値は管理者設定で設定できます。スリープ状態ではバックライトオフよりも消費電力を抑えることができますが、復帰にかかる時間はバックライトオフよりも長くなります。



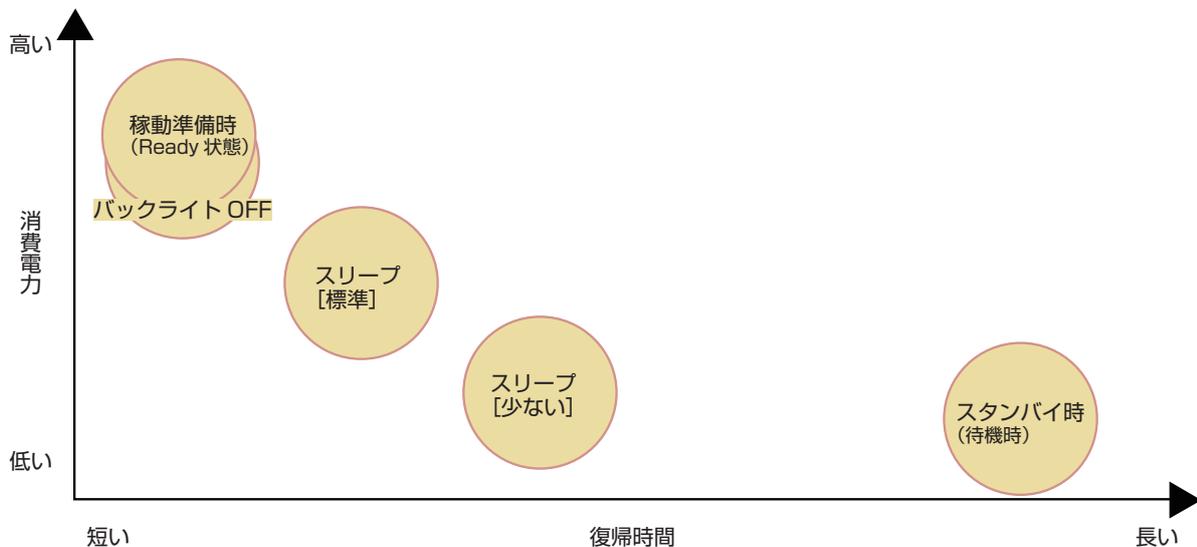
[スリープ時の消費電力] を [少ない] に設定した場合、以下のことに注意してください。

- ・スリープ状態では、RISO コンソールを表示することはできません。
- ・ウェイクオンランの通信ができないネットワーク環境からプリントした場合、プリンタが自動でウェイクアップしません。プリンタドライバの [環境] タブで、「MAC アドレス」を設定してください。詳しくは、「ユーザーズガイド」の「MAC アドレスを設定する」を参照してください。

### 消費電力を低く抑える

[省電力設定] の [バックライト OFF] と [オートスリープ] 機能により、本機の消費電力を段階的に抑えることができます。

移行時間の設定によっては、稼働準備 (Ready) 状態から、バックライト OFF の状態を飛び越えて、スリープの状態まで消費電力を下げることもできます。ただし、スリープからバックライト OFF の状態に移行させることはできません。



プリンタの状態	設定項目 / 設定値	消費電力
稼働準備時 (Ready 状態)	—	150W
バックライト OFF	オートバックライト OFF	147W
スリープ: [標準]	スリープ時の消費電力 [標準]	65W
スリープ: [少ない]	スリープ時の消費電力 [少ない]	5W 以下
スタンバイ時	—	0.5W 以下



タイマー運転により、本機の副電源を自動で ON / OFF することもできます。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

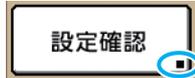
## タッチパネルの基礎知識

タッチパネルを操作する上での「知っておきたい」を説明します。

### ボタンの選択

タッチパネル上のボタンを選択するには、指でそのボタンに触れます。

右下に「■」が表示されているボタンは、そのボタンを押すと別画面が表示され、その画面で設定をします。



「■」が表示されていないものは、そのボタンを押すことでON/OFFが切り替わり、ONの場合にオレンジ色で表示されます。



ある一定の条件を満たさないと使用できないボタンはグレーアウトされ、選択できない状態になっています。条件を満たすと、選択できるようになります。



### 設定の確定と取り消し

設定している画面上に【確定】が表示されている場合、設定内容を保存するためには【確定】を押す必要があります。【確定】を押さないと設定内容がキャンセルされてしまうことがあります。設定した内容を取り消したい場合は、【取消】を押します。



## 文字入力のしかた

ユーザー名やパスワードの登録などをするとき、文字入力画面から必要な情報を入力します。

### 1 入力する文字の種類を選択する



パスワードなど使用できる文字が限られている場合、使用できない種類の文字のボタンはグレーアウトされます。



### 2 入力したい文字を一文字ずつ押す

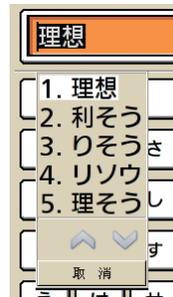
【←】【→】を押すと、カーソル位置を移動できます。また【消去】を押すと、カーソルの左側にある文字を一文字消去できます。



入力文字の制限数は、文字入力欄の上に表示されます。



漢字へ変換する場合は、ひらがなまたはカタカナで入力し、右下にある【変換】を押します。変換候補リストから、変換したい漢字を選択します。



### 3 入力が終わったら、【確定】を押す

【取消】を押すと、入力した内容は取り消されます。



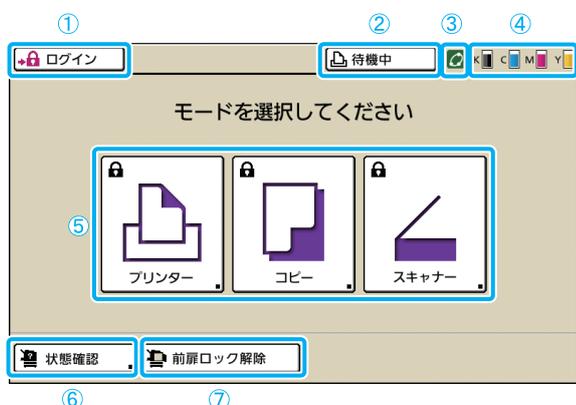
## タッチパネル画面

ハードキーとあわせて、各機能の設定や操作などに使用します。  
画面上のボタンを押して操作するだけで、設定や操作が簡単に使えるように設計されています。



表示される画面は、ご使用の機種、接続されているオプションや設定内容により異なります。

### モード選択画面



一番初めに表示される画面です。この画面から各モードを選択して、設定や操作をします。  
この画面は、操作パネルのモードキーを押すと表示されます。

#### ① 【ログイン】

ログインするときに押します。



ログイン中は【ログアウト】と表示され、ボタンの横に現在ログインしているユーザー名が表示されます。

ログアウト

理想太郎

#### ② プリントステータスボタン

現在の本機の状況を「待機中」「プリント中」「エラー」「オフライン」のいずれかで表示します。  
ボタンを押すと、プリンターモード画面に移行します。

#### ③ FORCEJET™ リンクマーク

プリントに関わる各部が正常に機能しているかどうかを表すマークです。適正なカラーマネジメントが行えない場合は、グレーアウトされます。

#### ④ インク残量表示

各インクの残量を表示します。残量が10%未満になると、点滅します。点滅している色のインクカートリッジを準備してください。

#### ⑤ モード選択ボタン

これらのボタンを押して、各モードの画面に移行します。ボタンの左上に鍵マークが表示されている場合は、そのモードに入る前にログインする必要があります。



- 各モードに必要なオプション機器が接続されていない場合は、そのモードのボタンは表示されません。
- ログイン中のユーザーに、アクセス権のないモードのボタンは、グレーアウトされます。

#### ⑥ 【状態確認】

一般情報、システム情報（MACアドレス、IPアドレス）、ユーザー情報、および著作権情報を確認することができます。



ログインしていない状態では、【ユーザー情報】は表示されません。

#### ⑦ 【前扉ロック解除】

本機の前カバーは、通常（トラブルが発生していないとき）はロックされています。前カバーを開けたい場合は、このボタンを押します。

## 各モード画面

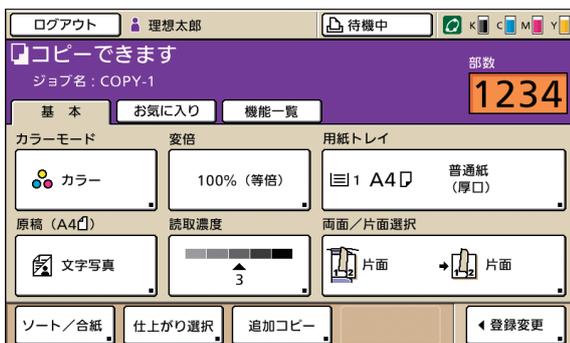
モード選択画面でモード選択ボタンを押すと、各モードの画面に移行します。

### プリンターモード画面



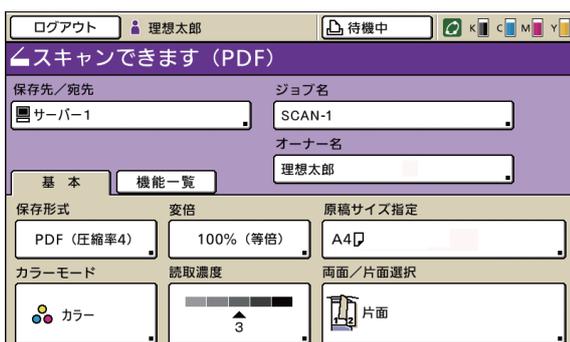
ボックスジョブや、パソコンから送信または、USBメモリに保存したプリントジョブを操作/確認することができます。(p.74 参照)

### コピーモード画面



コピー機能は、この画面から操作します。(p.47 参照)

### スキャナーモード画面

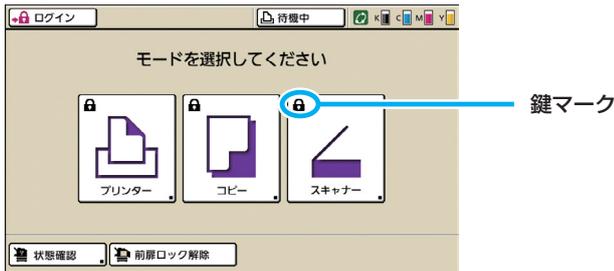


スキャナー機能は、この画面から操作します。(p.60 参照)

# ログインについて

ユーザごとにパスワードを設定して、本機の使用を制限することができます。

ログインを必要としている場合は、ユーザー名とパスワードを入力すると、本機を使用することができます。



モード選択ボタンの左上に鍵マークが表示されている場合は、そのモードに入る前にログインする必要があります。

## ログインのしかた

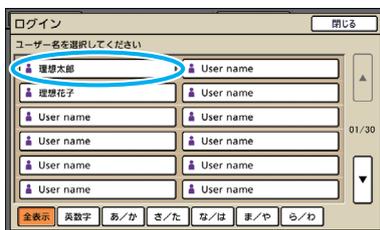
オプションの IC カードリーダーをご使用の場合は、カードリーダーに IC カードをかざすと、ログインできます。

1 [ログイン] を押す



2 [ログイン] 画面でユーザー名を選択する

右側の [▲] [▼] でスクロールするか、画面下の見出しボタンからユーザー名を表示させて検索します。



ユーザー名を選択すると、[パスワード入力] 画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、[確定] を押す



ログインしたモードの画面が表示されます。

❗ 操作が終了したら、必ず [ログアウト] を押してください。

- ❗ ユーザー名が見当たらないときや、パスワードを忘れてしまったときは、管理者にお問い合わせください。
- 外部システム連携をご使用の場合は、コピーモードにログインする際に、課金するアカウントを選択する必要があります。[課金アカウント設定] 画面でアカウントを設定してください。
- 複数の外部サーバー (LDAP サーバー) を使用して認証を行う場合は、ログイン先のドメインを指定することができます。ログイン時に、ドメインを指定したい場合は、管理者にお問い合わせください。

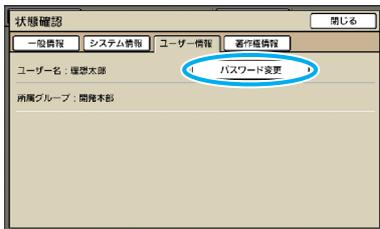
## ログインパスワードの変更

ログインパスワードを変更できます。

**1** ログインした状態で、モード選択画面の [状態確認] を押す



**2** [ユーザー情報] 画面の [パスワード変更] を押す



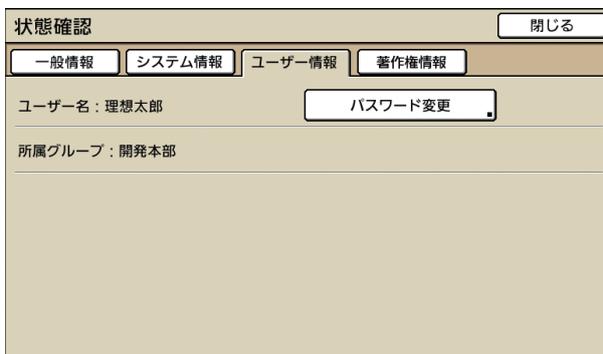
**3** 新しいパスワードを入力し、[次へ] を押す



**4** [パスワード変更 (再入力)] 画面で、新しく設定したパスワードを再度入力し、[確定] を押す



### ユーザー情報画面について



ログインした状態で、モード選択画面の [状態確認] を押すと、[ユーザー情報] 画面が表示されます。[ユーザー情報] 画面では、ログインしたユーザーのユーザー名と所属グループを確認することができます。ログインしていない状態では、[ユーザー情報] は表示されません。

# プリンタドライバのインストール

パソコンからデータを送信して本機でプリントする場合は、パソコンにプリンタドライバをインストールする必要があります。以下の手順に従って、インストールしてください。



- Administrator 権限のあるユーザーでログインしてください。
- 起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
- アンインストール方法、クイックインストーラの使いかたについては、管理者にお問い合わせください。

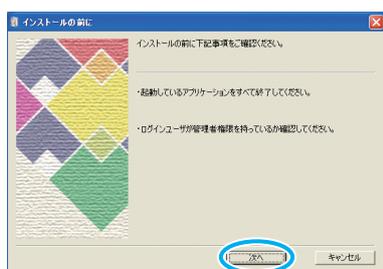
## 1 パソコンのCD-ROM ドライブに、付属のCD-ROM をセットする

自動的にインストールウィザードが起動します。インストールウィザードが起動しない場合は、CD-ROM 内の「Install.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

## 2 プルダウンメニューから【日本語 (Japanese)】を選択し、【OK】をクリックする



## 3 【次へ】をクリックする



## 4 【検索結果一覧】に表示されている本機のプリンター情報を選択し、【次へ】をクリックする



- プリンタの検索は、IPv4 環境のみ対象です。IPv6 環境を使用している場合は、IP アドレスを入力してください。

## 5 本機のプリンター名を選択し、【次へ】をクリックする



- 選択したドライバがすでにインストールされている場合は、【インストール方法】画面が表示されます。その場合は【次へ】をクリックしてください。

## 6 【次へ】をクリックする

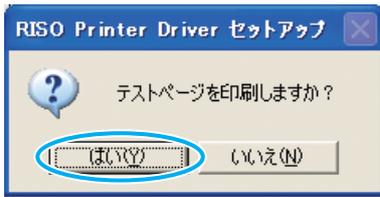


## 7 【インストール】をクリックする

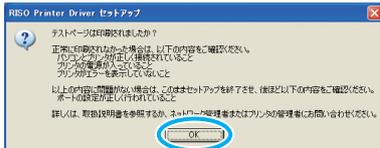


インストールが始まります。

8 テストページ印刷画面で、[はい] をクリックする



9 テストページが正しくプリントされたことを確認し、[OK] をクリックする



10 [Read Me を表示] をクリックする  
ご使用にあたっての注意事項が記載されています。  
必ずお読みください。



11 [終了] をクリックする



12 パソコンから CD-ROM を取り出す  
取り出した CD-ROM は、大切に保管してください。



## パソコンからの操作

パソコンからデータを送信して、プリンターとして使用することはもちろん、コンソールを使えば本機の設定内容や保存されているジョブの確認や操作も可能です。パソコンをうまく使って、本機の機能をさらに便利に活用しましょう。



### パソコンからの操作方法

パソコンからの操作には、以下の2種類があります。

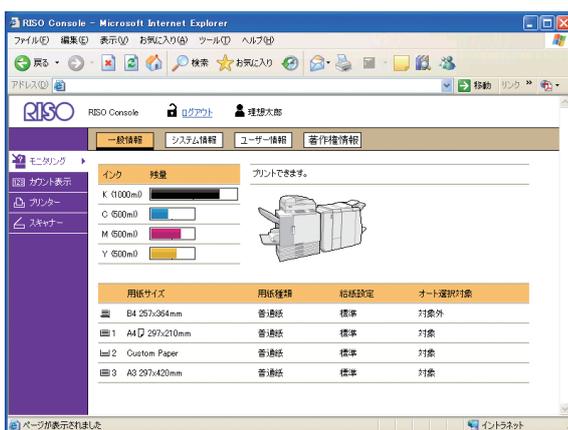
#### プリンタドライバを使う



アプリケーションで作成したファイルをプリントする場合は、プリンタドライバで設定し、本機に送信します。(p.42 参照)

 本機をプリンターとして利用するには、パソコンにプリンタドライバをインストールする必要があります。

#### コンソールを使う



コンソールを使うと、パソコンから本機の設定内容やジョブを確認したり操作したりすることができます。(p.90 参照)

## 用紙と原稿

原稿や用紙の扱いかたによって、コピーやプリントの仕上がりは大きく違ってきます。また、正しい使いかたや条件を知ることは、紙づまりなどのトラブルを防ぐ上でもとても大切です。ここでは原稿や用紙の取り扱いかたについて説明します。



### 使える用紙

本機に適さない用紙を使うと、紙づまりや汚れ、故障などの原因となることがあります。機械の性能やインクの特性を十分にいかすため、理想用紙の使用をおすすめします。

用紙の基本仕様

使用できる用紙は、用紙をセットするユニットによって異なります。

	用紙トレイ	給紙台／大容量給紙ユニット
サイズ	182mm × 182mm ~ 297mm × 420mm	給紙台： 90mm × 148mm ~ 340mm × 550mm 大容量給紙ユニット： 90mm × 148mm ~ 340mm × 460mm
重さ	52g/m <sup>2</sup> ~104g/m <sup>2</sup> (45kg~90kg 連量：四六判)	46g/m <sup>2</sup> ~210g/m <sup>2</sup> (40kg~180kg 連量：四六判)
種類	普通紙、再生紙、軽量紙、理想用紙各種	普通紙、再生紙、軽量紙、封筒、郵便事業会社製はがき（普通紙／インクジェット用）、理想用紙各種
最大積載枚数	各トレイ 500 枚*（または積載高さ 50mm 以下）	給紙台：1000 枚*（または積載高さ 110mm 以下） 大容量給紙ユニット：4000 枚*（または積載高さ 440mm 以下）

\* 理想用紙 IJ の場合

⚠ 仕様内の「サイズ」および「重さ」であっても、紙質・環境・保管状態等により通紙できない場合があります。あらかじめ、ご了承ください。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にご相談ください。

### こんな用紙は使わないでください

以下のような用紙は、紙づまりや故障などの原因となりますので使用しないでください。

- ・ 基本仕様の条件にあてはまらない用紙
- ・ 感熱紙やカーボン紙など、表面を加工処理した用紙
- ・ そり（カール）のある用紙（3mm 以上）
- ・ しわのある用紙
- ・ 折れ曲がっている用紙
- ・ 破れている用紙
- ・ 波打っている用紙
- ・ アート紙など、コーティングされている用紙
- ・ 先端がぎざぎざになっている用紙
- ・ のり付けされている用紙
- ・ 穴があいている用紙
- ・ フォト用光沢紙
- ・ OHP フィルム
- ・ ユボ紙

### 用紙の保管と取り扱い

- ・ 必ず未開封の用紙を使用してください。プリント終了後、給紙台に残った用紙は包装紙に包んで保管してください。給紙台に載せたままにしておくと、「そり（カール）」が生じて紙づまりの原因となることがあります。
- ・ 裁断がよくない紙や表面がざらざらした画用紙などは、よくさばいてから使用してください。
- ・ 用紙は湿気の少ない場所で水平にして保管してください。



## 用紙をセットする

用紙は用紙トレイおよび給紙台にセットします。



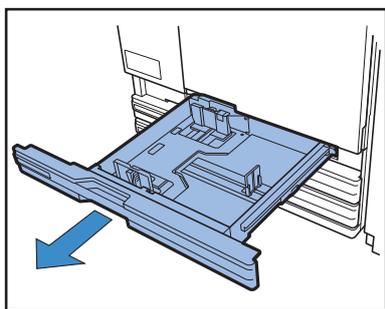
通常使用する用紙は、用紙トレイにセットすることをおすすめします。

以下のような用紙は、給紙台にセットしてください。

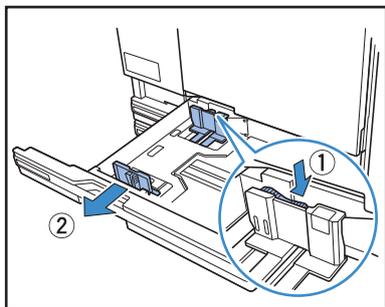
- ・厚紙など、特殊な用紙
- ・片面がプリント済みの用紙
- ・郵便事業会社製はがき
- ・封筒

### 用紙トレイにセットする

#### 1 トレイを手前に引き出す

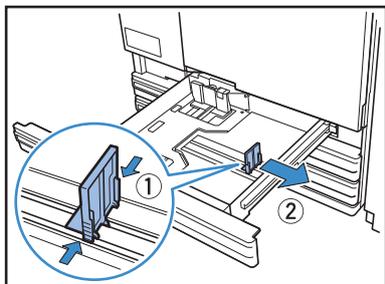


#### 2 奥にあるロックレバーの「フリー」側を押し、手前のつまみでフェンスを外側いっぱい広げる



#### 3 ストッパーを広げる

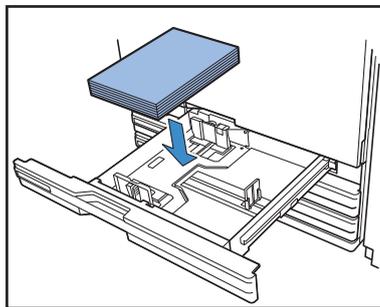
ストッパーの両サイドをおさえて動かします。



#### 4 用紙をセットする

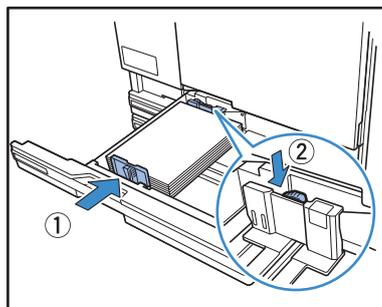
表と裏の質に差がある用紙は、プリントする面を下にしてセットします。積載高さ上限のシールを超えないようにしてください。

用紙の端がフェンスなどに当たって折れ曲がらないようにしてください。

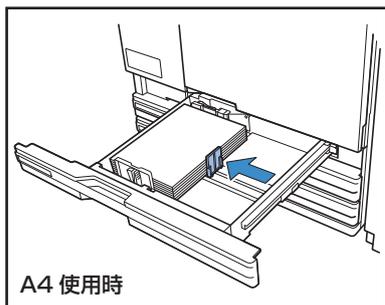


#### 5 フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる

用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、ロックレバーの「ロック」側を押してフェンスを固定します。



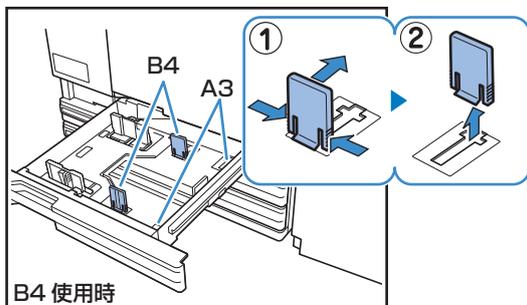
## 6 ストッパーを用紙のサイズにぴったりと合わせる



A4 使用時

**!** 本機は、ストッパーの位置で用紙サイズを検知しています。必ず用紙にぴったりと合わせてください。

A3 用紙または B4 用紙をセットするときは、A3/B4 用紙ガイドをそれぞれの用紙に合わせて取り付けてください。A3/B4 用紙ガイドの移動は、両端をつまみながらスライドさせて外し、それぞれの用紙サイズの穴に差し込んでください。



B4 使用時

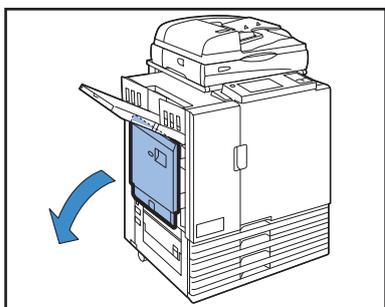
## 7 トレーを戻す

## 8 操作パネルでトレーの設定を確認する

用紙のサイズや種類を変更した場合は、用紙トレイ設定の内容を変更します。詳しくは、「用紙トレイ」(p.48)を参照してください。

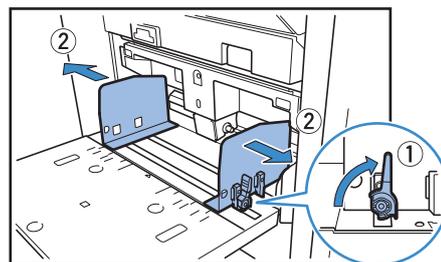
### 給紙台にセットする

## 1 給紙台を矢印の方向に、止まるまで開く



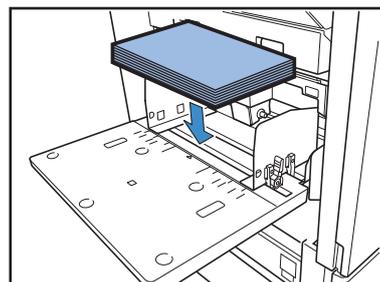
## 2 フェンスを広げる

給紙フェンスレバー (両側 2箇所) をフリーにして、フェンスをスライドさせます。

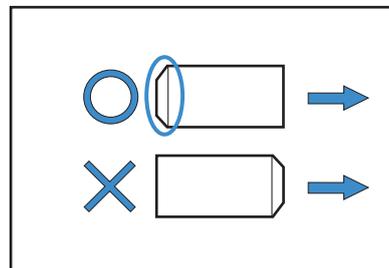


## 3 用紙をセットする

プリントする面を上にしてセットします。



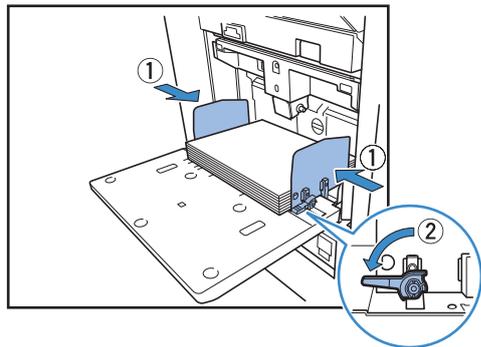
- !** 封筒は、オプションの排紙台を接続してプリントすることをおすすめします。
- 封筒をセットする場合は、必ず封筒のフタを開いた状態で、底側から給紙されるようにセットします。



- !** パソコンから封筒にプリントする場合は、[画像回転] を使うと便利です。

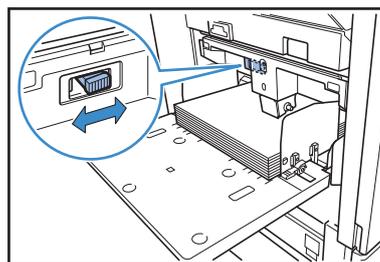
1

- 4** フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる  
用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、給紙フェンスレバーをロックしてフェンスを固定します。



**!** 本機はフェンスの位置で用紙サイズを検知しています。必ず用紙にぴったりと合わせてください。

- 5** 給紙圧調節レバーをセットする  
通常は「標準」で使用し、封筒などの場合は「厚紙」にセットします。

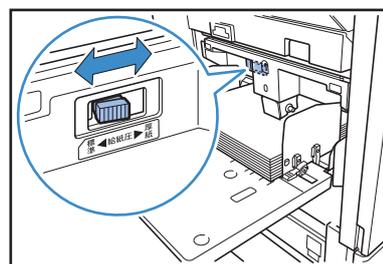


- 6** 操作パネルでトレイの設定を確認する  
用紙のサイズや種類を変更した場合は、用紙トレイ設定の内容を変更します。詳しくは、「用紙トレイ」(p.48)を参照してください。

### 給紙台（大容量給紙ユニット）の給紙圧について

セットした用紙に合わせて、給紙圧調節レバーで給紙圧を調節することができます。紙質によって「標準」または「厚紙」にセットします。

**!** 給紙圧調節レバーを切り替えた場合は、操作パネルの【用紙トレイ】の【詳細設定】から【給紙設定】も変更してください。(p.48 参照)



●イラストは給紙台です。

#### 給紙圧調節レバーと用紙

対応している紙質は以下のとおりです。

レバーの位置	紙質	対応する印刷用紙
標準	標準または薄紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>理想用紙</li> <li>市販されているコピー用紙など</li> <li>上質紙</li> <li>軽量紙</li> </ul>
厚紙	厚紙または特殊	<ul style="list-style-type: none"> <li>画用紙</li> <li>封筒</li> <li>郵便事業会社製はがき</li> </ul>

うまく給紙できない場合は、レバーの位置を【標準】にしてください。

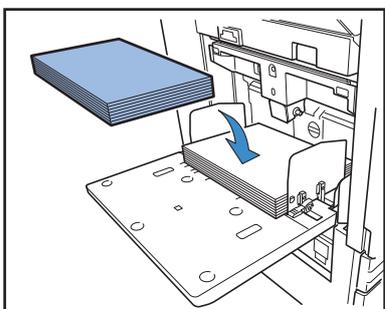
## 給紙台に用紙を追加する／載せ替える

セットされている用紙を追加する、または違うサイズ of 用紙に載せ替えるときは、給紙台上下ボタンを使用します。また、給紙台の用紙をすべて取り除くと自動的に下がります。

- 1 給紙台上下ボタンを押して給紙台を下げる  
下げたい位置までボタンを押し続けます。

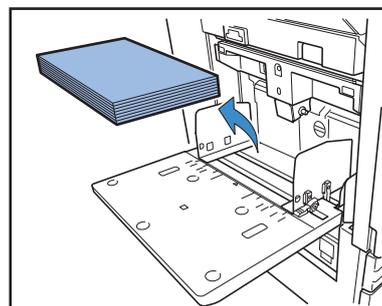


- 2 用紙を追加、または載せ替える



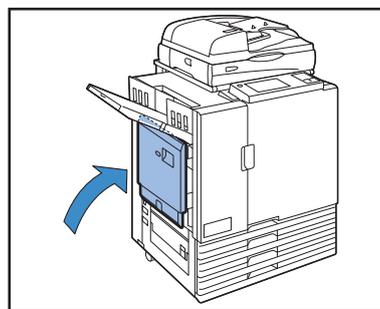
## 給紙台を閉じる

- 1 セットされている用紙を取り除く  
給紙台が下がり始めます。



**!** 電源がONになっていることを確認してください。

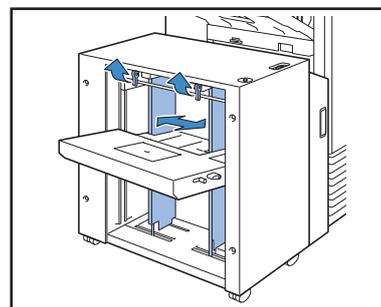
- 2 給紙台を閉じる



**!** 給紙台が最下部まで下がっていることを確認してから閉じてください。

## 大容量給紙ユニットにセットする

- 1 給紙フェンスを広げる  
給紙フェンスレバー（両側2箇所）をフリーにして、フェンスをスライドさせます。



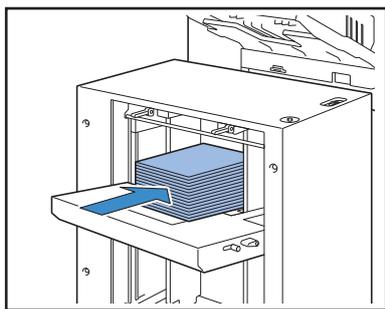
**!** 以下の場合、給紙台穴埋めカバーを取り外してください。  
カバーが付いた状態では、給紙フェンスをスライドさせることができません。

- ・用紙サイズ：A4 縦未満／A3 を超える
- ・封筒サイズ：長3／長4

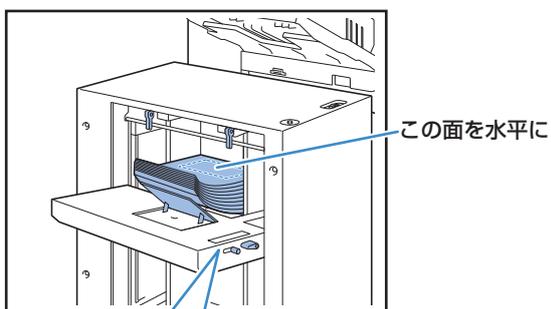


## 2 用紙をセットする

プリントする面を上にしてセットします。



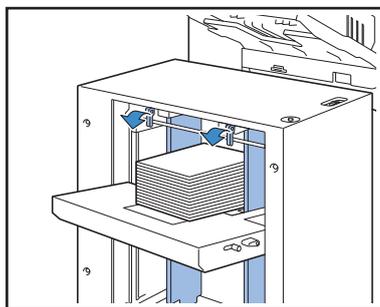
- 一度に大量の用紙をセットすると、給紙フェンスの調整がうまくいかず、正しくセットできません。(曲がったり、でこぼこした状態になり、用紙が揃いません) 何回かに分けて用紙をセットしてください。一度に大量の用紙をセットする場合は、「一度に大量の用紙をセットする場合」を参照してください。
- 封筒をセットする場合は、必ず封筒のフタを開いた状態で、底側から給紙されるようにセットします。封筒ガイドの傾斜角度の調節は、封筒ガイド角度調節レバーで設定します。また、使用する封筒の紙質によって、給紙圧の調節も必要です。封筒ガイド給紙圧調節レバーで設定してください。レバーは、上に持ち上げながらスライドさせます。レバー付近のシールを参考に、使用する封筒に適した設定にしてください。



封筒ガイド 給紙圧調節レバー	封筒ガイド 角度調節レバー
<input checked="" type="checkbox"/> 厚紙の封筒 <input checked="" type="checkbox"/> 薄紙の封筒 <input checked="" type="checkbox"/> 封筒以外の用紙	<input checked="" type="checkbox"/> 薄紙の封筒や用紙 <input checked="" type="checkbox"/> 厚紙や長い封筒

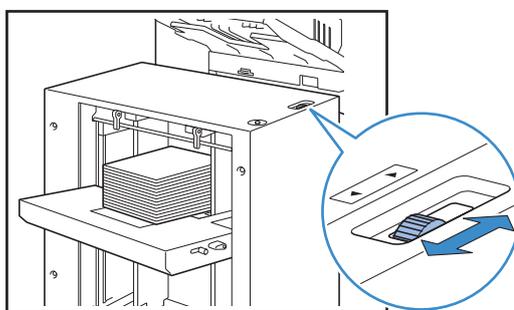
## 3 給紙フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる

用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、給紙フェンスレバーをロックしてフェンスを固定します。



## 4 給紙圧調節レバーをセットする

通常は「標準」で使用し、厚紙や特殊な用紙の場合は「厚紙」にセットします。



## 5 操作パネルでトレイの設定を確認する

用紙のサイズや種類を[用紙トレイ]で設定します。セットする用紙を変更したときは、必ず[用紙トレイ]設定も変更してください。

### 一度に大量の用紙をセットする場合

- 給紙フェンスを広げ、500枚程度を目安に給紙台にセットする
- 給紙フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる  
用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、給紙フェンスレバーをロックしてフェンスを固定します。
- 残りの用紙をセットする  
用紙をすべてセットした後は、通常のセット方法と同じです。「大容量給紙ユニットにセットする」手順4、5を行ってください。

## 大容量給紙ユニットに用紙を追加する

用紙を追加するときは、給紙台上下ボタンを使用します。給紙台上下ボタンは、押しかたにより給紙台の下降位置が異なります。また、給紙台の用紙をすべて取り除くと自動的に下がります。

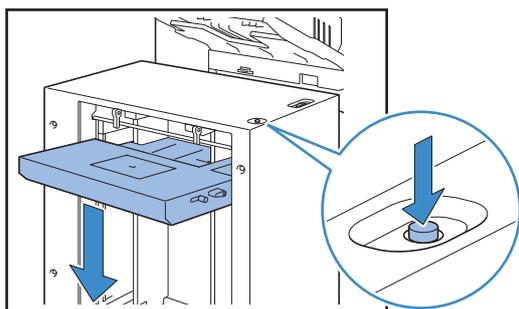
### 1 給紙台上下ボタンを押して、給紙台を下げる

#### 給紙台上下ボタンを長押しする

ボタンを押している間、給紙台は下降します。下げたい位置までボタンを押してください。

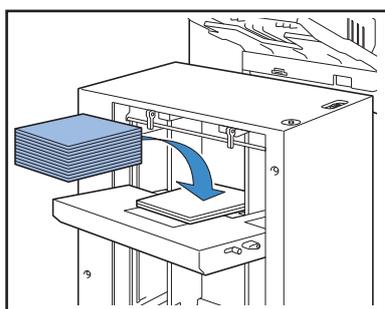
#### 給紙台上下ボタンを短押しする

給紙台が一定の位置まで下がります。



- 用紙が無くなった時や、給紙台上下ボタンを押した時の給紙台下降位置は、管理者設定で変更することができます。詳しくは、「管理者ガイド」の「大容量給紙ユニット設定」を参照してください。
- 給紙台が最下位まで下がると、一度により大量の用紙をセットできますが、しゃがみ込んだ体勢で用紙をセットするようになります。立位で用紙をセットしたい、または用紙を大量にセットする機会が少ない場合は、給紙台を最下部まで下げないようにします。
- 給紙台の下降位置は、使用シーンに合わせて設定すると便利です。給紙台の下降位置を変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。

### 2 用紙を追加する



## 大量の用紙を追加する場合

給紙台上下ボタンを長押しして、給紙台を最下位まで下げてから行くと、より多くの用紙をセットすることができます。

- 用紙が無くなった時や、給紙台上下ボタンを短押しした時の給紙台下降位置は、管理者設定で変更することができます。給紙台の下降位置を変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。

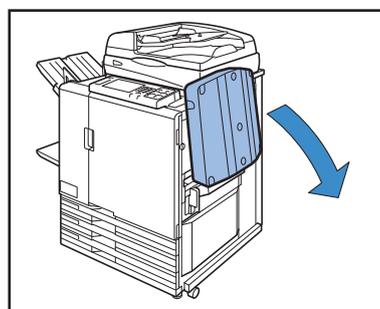
## 排紙台をセットする

排紙台をセットします。用紙サイズや紙質によって紙揃えプレートの調節も行います。

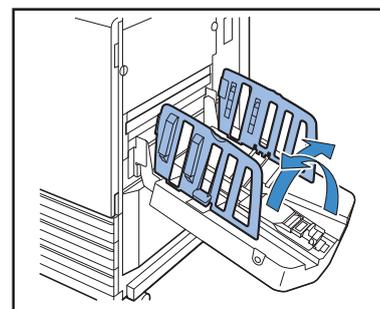
- イラストは、オートフェンス排紙台です。

- 排紙台 W の場合は、排紙フェンス（サイド・エンド）の位置を用紙サイズに合わせて手で調節してください。

### 1 排紙台を矢印の方向に、止まるまで開く

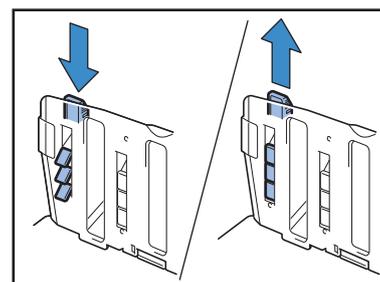


### 2 排紙フェンス（サイド）を立てる

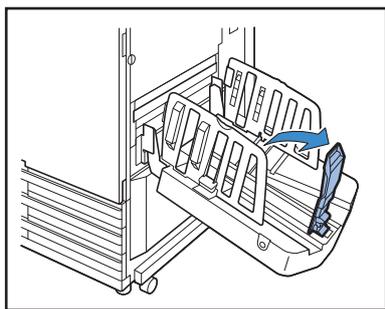


### 3 紙揃えプレートを調節する

通常は、B4 サイズ以下の用紙へのプリント時に、紙揃えプレートを出して使用します。コシの強さなどによって、用紙は揃う状態が異なりますので、必要に応じて調節してください。



## 4 排紙フェンス（エンド）を立てる

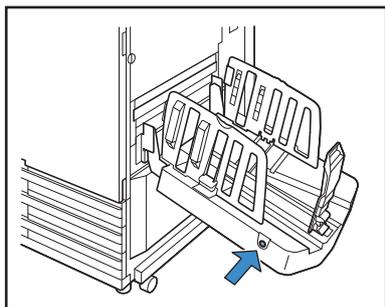


 320mm × 432mm よりも大きなサイズの内紙にプリントするときは、排紙フェンスをすべてたたんだ状態で使用します。

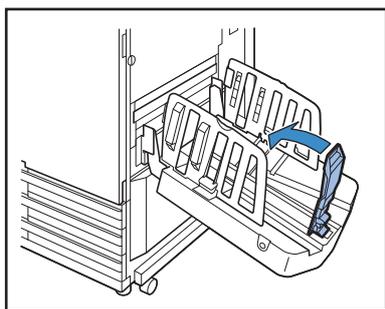
### 排紙台を閉じる

## 1 印刷物がないことを確認し、排紙フェンスオープンボタンを押す

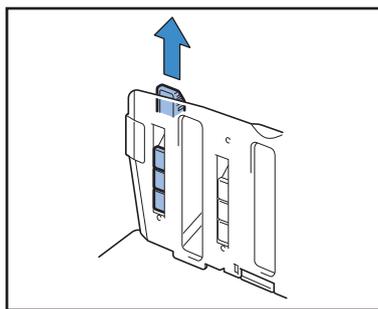
排紙フェンス（サイド）と排紙フェンス（エンド）が、収納位置まで移動します。



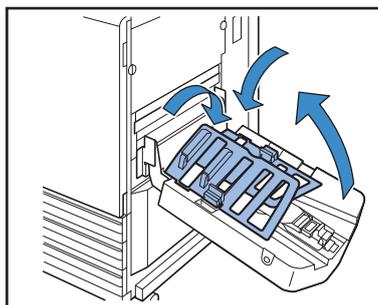
## 2 排紙フェンス（エンド）を排紙台内側に倒し、たたむ



## 3 紙揃えプレートをたたむ



## 4 排紙フェンス（サイド）を内側に倒し、排紙台を閉じる



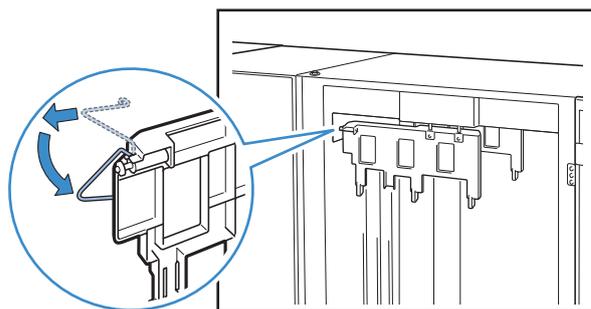
### 大容量排紙ユニットのゴルゲータをセットする

使用する用紙サイズや用紙種類によって、通紙や紙揃えの状態が異なるので、印刷物の排紙や用紙が揃うように、ゴルゲータを調節します。

-  通常、プリントする場合は、ゴルゲータの調節は必要ありません。通紙状態や、印刷物の紙揃えをよくしたい場合に、ゴルゲータを調節してください。
- 用紙サイズ・紙質・環境・保管状態等により紙揃えが改善できない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にご相談ください。

### 軽量紙や A3/B4/B5 横の用紙サイズ、または薄紙を使用している場合

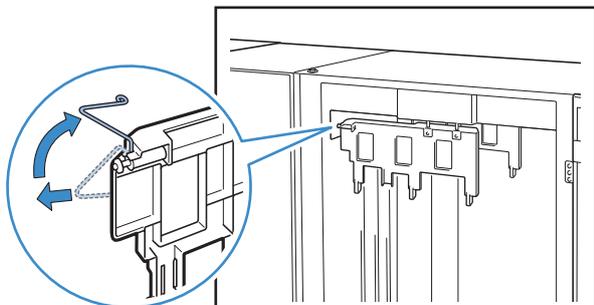
## 1 手前のゴルゲータを本体側（左）へ押しながら下げる



- 2 奥側のコルゲータも同様に、本体側（左）へ押しながらかげ

### 通常の印刷の場合（コルゲータが上がっている状態）

- 1 手前のコルゲータを本体側（左）へ押しながらかげる



- 2 奥側のコルゲータも同様に本体側（左）へ押しながらかげる

### 大容量排紙ユニットから印刷物を取り出す

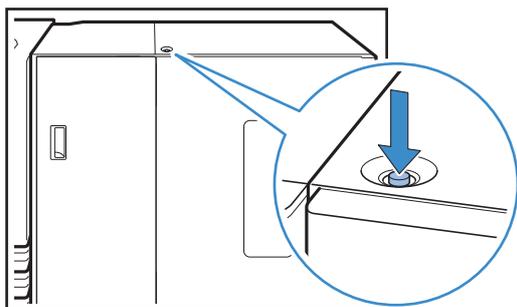
大容量排紙ユニットから印刷物を取り出します。2通りの取り出し方法があります。

- ! 印刷物は、排紙台が完全に停止した状態で取り出します。排紙台の状態を示すメッセージが操作パネルに表示されます。メッセージに従って作業してください。

- ・台車ごと印刷物を取り出す場合  
大容量排紙ユニット専用の台車を使用して、印刷物を取り出します。
- ・印刷物だけを取り出す場合  
専用の台車を引き出すことなく印刷物を取り出すことができます。排紙台が最下位まで下降するのを待たずに、印刷物を取り出せます。

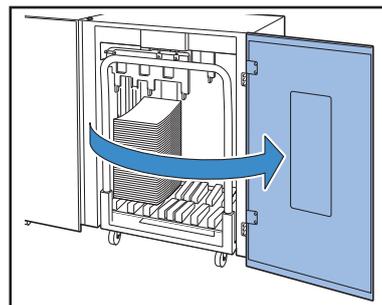
### 台車ごと印刷物を取り出す場合

- 1 排紙台下降ボタンを押す  
約 3200 枚～4000 枚（満杯）排紙すると、排紙台は自動で最下位まで下がります。



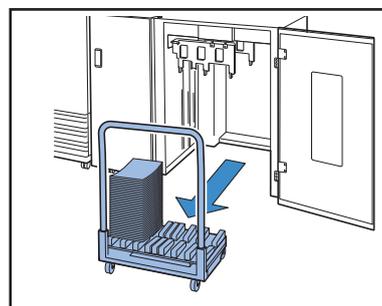
- ! ・排紙台下降ボタンは、大容量排紙ユニットの左右両方のカバーが閉まっている状態で押しください。カバーが開いていると、作動しません。  
・印刷が終了すると、管理者設定の[大容量排紙ユニット設定]で設定した位置まで、排紙台が自動で下降します。排紙台の下降位置を変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。  
・印刷の途中で排紙台下降ボタンを押してしまった場合は、印刷物を取り出してください。印刷物が積載された状態では、排紙できる位置まで排紙台を上昇させることができません。

- 2 大容量排紙ユニットの右カバーを開ける



- 3 台車の上にセットされた排紙台ごと引き出す

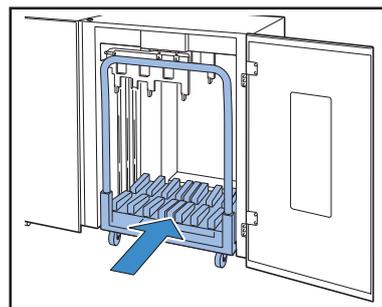
- ! 台車は持ち手からゆっくりと引き出してください。急に動かすと印刷物が崩れる場合があります。



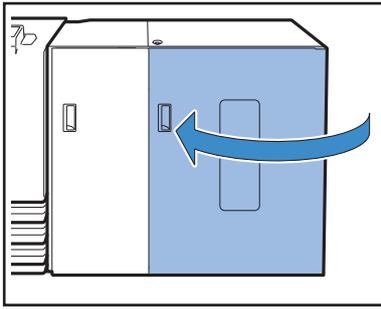
- 4 台車から印刷物を取り除く

- 5 台車を大容量排紙ユニットに戻す

- ! 台車は必ず排紙台がセットされている状態で戻してください。

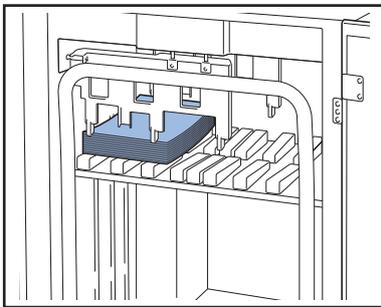


## 6 大容量排紙ユニットの右カバーを閉じる



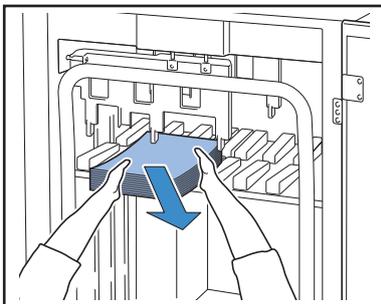
### 印刷物だけを取り出す場合

#### 1 大容量排紙ユニットの右カバーを開ける



- 排紙台の停止位置は、管理者設定の【大容量排紙ユニット設定】で指定できます。下降位置を変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。
- 管理者設定の【大容量排紙ユニット設定】で指定された排紙台の停止位置によっては、印刷物が排紙フェンスにあたり、取り出しにくい場合があります。その場合は、右カバーを閉じて、排紙台下降ボタンを押し排紙台を下げてから、印刷物を取り出してください。

#### 2 印刷物を取り出す



- 排出した用紙サイズによっては、印刷物が台車の持ち手にあたり、取り出しにくい場合があります。その場合は、右カバーを閉じて、排紙台下降ボタンを押し、排紙台を台車まで下げてください。台車ごと引き出し、用紙を取り除くことができます。

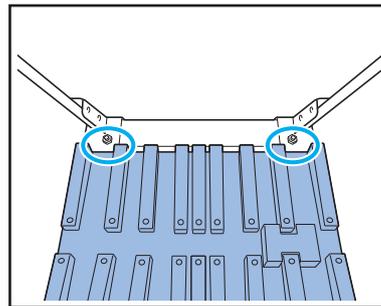
## 3 大容量排紙ユニットの右カバーを閉じる

- 手順2で台車を引き出した場合は、台車を大容量排紙ユニットにセットしてから右カバーを閉じてください。
- [大容量排紙ユニット設定]で【排紙台を下降しない】に設定している場合、排紙台に用紙があると、排紙フェンスの移動ができず、次のジョブの用紙サイズに対応できない場合があります。用紙サイズ、用紙のセット向き、給紙設定が異なるジョブを印刷する場合は、排紙台の用紙を取り除いてから次の印刷をしてください。
- 用紙種類で【軽量紙】を選択した場合、給紙設定は自動で変更されます。排紙台の用紙を取り除いてから次の印刷をしてください。

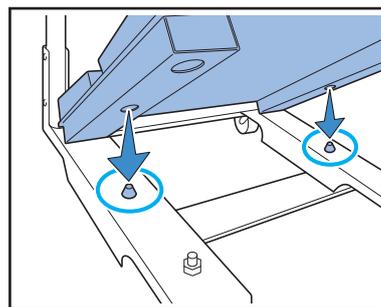
### 排紙台を台車にセットする

排紙台は台車から取り外すことができます。印刷物を排紙台ごとに取り出した場合は、排紙台を台車にセットしてから、台車ごと大容量排紙ユニットに戻してください。

#### 1 台車の持ち手付け根のネジ（2箇所）に排紙台の先端を合わせる



#### 2 台車の突起部を排紙台の穴に差し込みながらセットする



## 使える原稿

オプションのスキナーが接続されている場合に、原稿を原稿台ガラスやオートフィーダーから読み取って、コピーやスキャンができます。

本機に適さない原稿を使うと、紙づまりや汚れ、故障などの原因となることがあります。

### 原稿の基本仕様

	原稿台ガラス	オートフィーダー
サイズ	最大 303mm × 432mm	100mm × 148mm ~ 297mm × 432mm
重さ	—*1	52g/m <sup>2</sup> ~128g/m <sup>2</sup>
種類	—	普通紙
最大積載枚数	—	100 枚*2

\*1 原稿台ガラスの耐荷重：200N（A3 サイズ）

\*2 A4 サイズ 80g/m<sup>2</sup> 以下の場合、B4 サイズ以上の場合 60 枚（80g/m<sup>2</sup> 以下）

## 原稿に関する注意

インクや修正液を使用した原稿は、よく乾かしてからセットしてください。

上記仕様範囲内であっても、以下の原稿は、オートフィーダーを使った読み取りはできません。原稿台ガラスにセットしてください。

- ・切り貼りしている原稿
- ・しわ、カールが激しい原稿
- ・折れ曲がっている原稿
- ・のり付けされている原稿
- ・穴があいている原稿
- ・破れていたり、先端がぎざぎざになっている原稿
- ・OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透明度が高い原稿
- ・アート紙、コート紙など、表または裏がコーティングされている原稿
- ・ファクシミリやワープロ用の感熱紙
- ・表面の凹凸が大きい原稿

### 原稿をきれいに読み取るために

- ・写真や印刷物などを読み取る時は、表面が平らな原稿を使用してください。
- ・OHP フィルムは背面に白い用紙をセットし、原稿がはっきりと読み取れるようにしてください。
- ・厚さが極端に薄い原稿は、裏面の画像が映り込むことがあります。黒い用紙を裏面に重ねると、画像の映り込みを防ぐことができます。
- ・原稿に使用するフォントサイズは、5pt 以上をおすすめします。

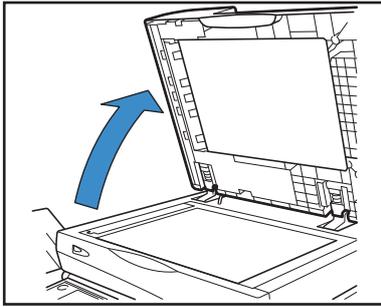


## 原稿をセットする

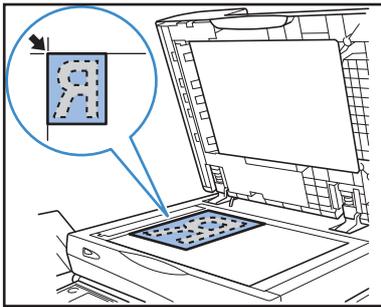
### 原稿台ガラスにセットする

原稿カバーを開いて、ガラス面に原稿を1枚ずつセットします。

#### 1 原稿カバーを開く



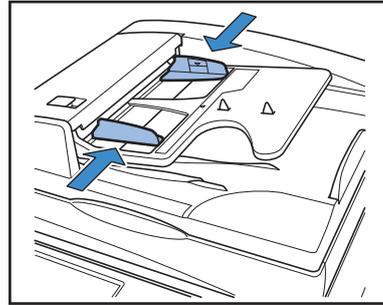
#### 2 ガラス面左上の矢印に原稿を合わせて読み取りたい面を下に向けてセットし、原稿カバーを閉じる



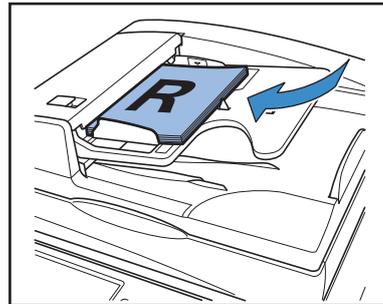
### オートフィーダーにセットする

オートフィーダーを使用すると、最大約100枚(80g/m<sup>2</sup>)までの原稿を連続で読み取ることができます。

#### 1 原稿フェンスを原稿の幅に合わせる



#### 2 読み取りたい面を上に向けてセットする



### 複製できない原稿

個人が利用する場合でも、自由に何でも複製してよいというわけではありません。特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。

- ・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券（たとえ「見本」の印があっても複製することは禁じられています）
- ・外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- ・未使用郵便切手、郵便事業株式会社製はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- ・政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類
- ・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複製
- ・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複製
- ・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複製（個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複製することを禁じられています）



#### 関係法律

- ・通貨及証券模造取締法
- ・外国に於て流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- ・郵便切手類模造等取締法
- ・印紙等模造取締法
- ・紙幣類似証券取締法

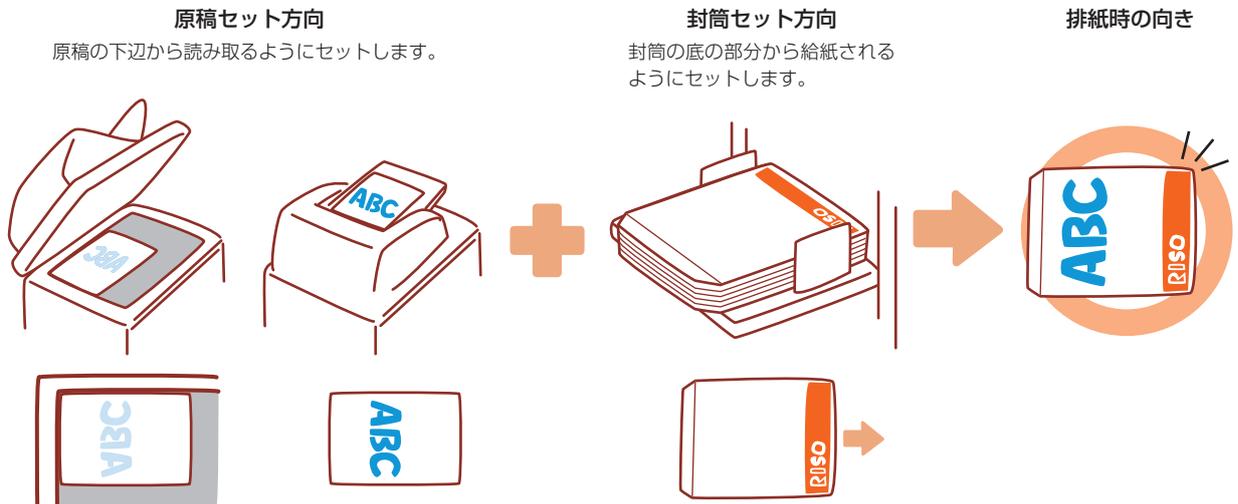
原稿と用紙のセット方向について

封筒やレターヘッドつき用紙などにコピーする場合、原稿と用紙のセット方向が重要になります。

❗ 片面原稿を片面コピーする場合の例です。

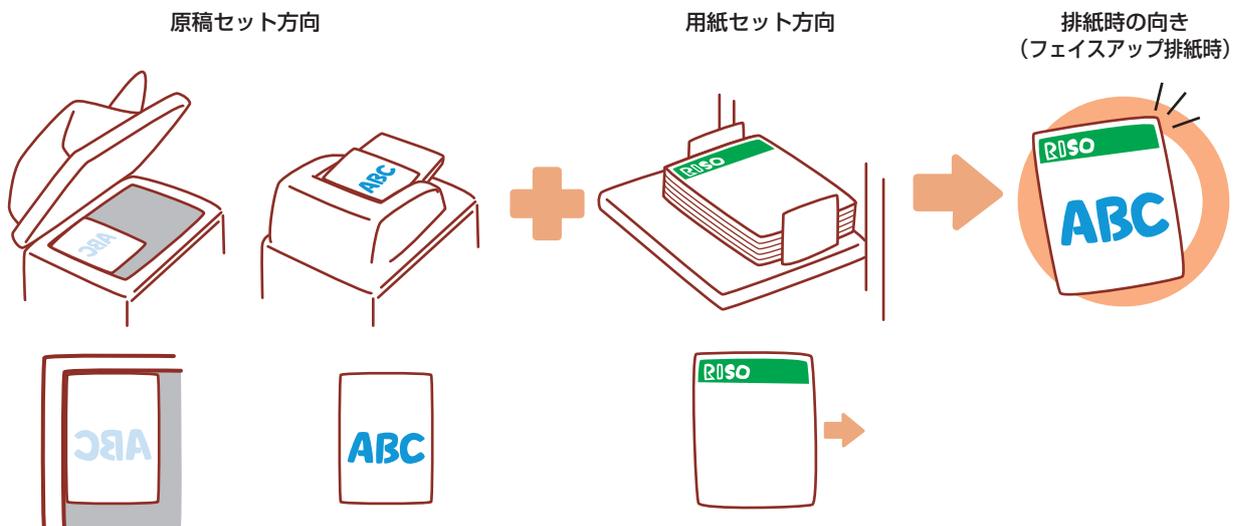
封筒の場合

タッチパネルで、「原稿セット方向」を「左向き」に設定してください。



レターヘッドつき用紙の一例

タッチパネルで、「原稿セット方向」を「読める向き」に設定してください。





# 基本的な使いかた



# プリントする プリンタドライバ画面

パソコンからデータをプリントする場合に、プリンタドライバでさまざまな設定をすることができます。各アプリケーションの印刷画面で【プロパティ】（または【詳細設定】）をクリックすると、プリンタドライバの設定用画面が表示されます。



- ・本機をプリンターとして利用するには、パソコンにプリンタドライバをインストールする必要があります。
- ・表示される画面は、ご使用の OS やアプリケーションおよび接続されているオプションにより異なります。
- ・管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

## 基本タブ



カラーモードや用紙など、印刷の基本的な情報を設定します。

### 【カラーモード】

カラーモードを選択します。

### 【両面印刷】

両面印刷を設定します。

### 【原稿サイズ】

原稿作成時のアプリケーションソフトで、指定している用紙のサイズを選択します。

### 【縦】 【横】

原稿の向きを選択します。

### 【原稿サイズ混在】

ページごとにサイズが異なる場合に選択します。

両面印刷と併用する場合、用紙サイズごとにとり位置を設定できます。

### 【ズーム指定】

プリント時の画像の拡大／縮小率を設定します。

### 【出力用紙サイズ】

プリントする用紙のサイズを選択します。

### 【給紙トレイ選択】

プリントする用紙がセットされているトレイを選択します。

### 【用紙種類】

用紙の種類を選択します。

### 【出力方法】

データをプリントするか、プリンターのボックスへ保存するかを設定します。また、USB メモリに PRN ファイルとして保存したり、バーコード領域指定アプリケーションで使用する PRN ファイルを作成したりすることもできます。

ボックス保存する場合は、【詳細設定】で保存先などを指定できます。

USB ボックスに保存する場合は、【USB メモリ保存】を選択してください。

### 【保存先】

【出力方法】で【プリント&ボックス保存】または【ボックス保存】を選択した場合に、保存先を表示します。

### 【設定登録／呼出】

よく使う設定内容を登録して、呼び出すことができます。

### 【登録／削除】

【設定登録／呼出】の設定内容を保存したり削除したりします。10 個まで保存できます。

### 【標準に戻す】

設定内容を初期値に戻します。

## 用紙種類設定について

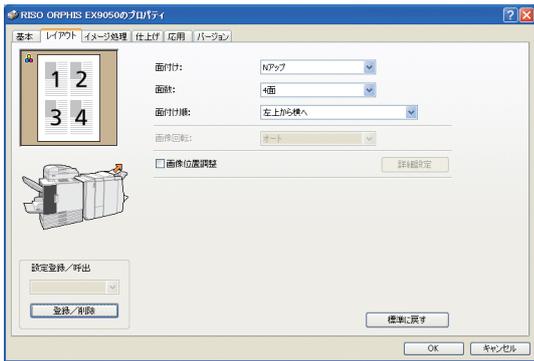
【用紙種類】で用紙種類を選択した場合、指定した種類の紙がセットされていないと、プリントできません。

用紙種類や印字品質にこだわらず、とりあえずプリントをしたい場合は、用紙種類を【指定しない】に設定してください。

本機では、設定された用紙種類によって、カラーバランスやインク量などを調整しています。

そのため、【指定しない】を選択した場合、セットされている用紙種類を選択したときより、印字品質が劣る場合があります。

## レイアウトタブ



面付けや画像回転を設定します。

### 【面付け】

面付けの種類を選択します。面付けの種類によって、表示される詳細設定が異なります。



- ・【OFF】を選択した場合は、【面数】【面付け順】は表示されません。
- ・【連写】を選択した場合は、【面付け順】は表示されません。
- ・【小冊子】を選択した場合は、【面数】は表示されません。

### 【面数】

1 ページに面付けする面数を選択します。

### 【面付け順】

1 ページにレイアウトする順序を設定します。【面数】で選択した面数によって、選択肢が変わります。

### 【画像回転】

封筒にプリントする場合など、画像の回転角度を設定します。

### 【画像位置調整】

画像のプリント位置を調整します。チェックを入れると【詳細設定】が表示され、方向や数値などを設定できます。

【設定登録/呼出】【登録/削除】【標準に戻す】  
「基本タブ」(p.42) を参照してください。

## イメージ処理タブ



印刷の画質や濃度を設定します。

2

### 【原稿モード】

写真と文字の、どちらの品質を優先してプリントするか選択します。



ORPHIS EX7200L では【原稿モード】は選択できません。

### 【文字スムージング処理】

文字の輪郭を滑らかに印刷します。画像処理の違いにより、2段階から選択します。



【文字スムージング処理】を設定すると、プリント速度が遅くなります。

### 【封筒画像処理】

封筒印刷時の画像のぼやけや汚れを防止します。

### 【ガンマ調整】

色のガンマ値を調整します。チェックを入れると【詳細設定】が表示され、詳細を設定できます。

### 【スクリーニング】

ハーフトーンの処理方法を設定します。(p.44 参照)

### 【画像品質】

プリントの解像度を設定します。【標準】を選択したときは、【詳細設定】が表示され、【データ圧縮】でデータサイズを、【ドラフト】でインク量を設定できます。



- ・【高精細】に設定すると、プリント速度が遅くなります。
- ・【データ圧縮】、【ドラフト】に設定すると、中間色に若干のざらつきがでます。

### 【プリント濃度】

プリントの濃度を設定します。

### 【バーコード領域指定】

指定されたバーコード印字領域の印刷濃度を、バーコードの読み取りに適した仕上がりに設定します。

### 【バーコード領域確認プリント】

【バーコード領域指定】で設定した印字領域が確認できます。指定部分は、網掛け処理されてプリントされます。詳しくは、「バーコード領域指定アプリケーションを使用する」(p.99) を参照してください。

【設定登録/呼出】【登録/削除】【標準に戻す】  
「基本タブ」(p.42) を参照してください。



## 仕上げタブ



ソートや製本方法など、印刷の仕上げを設定します。

### 【ソート】

ページごとにプリントするか、部ごとにプリントするかを設定します。

### 【合紙】

合紙を挿入するかどうかを設定します。[区切りごと] [ジョブごと] を選択したときは、[詳細設定] で合紙用のトレイを指定します。[区切りごと] は [ソート] で指定した単位ごとに合紙を入れます。

### 【オフセット排紙】

オプションのマルチフィニッシャー、オフセットステーブルトレイまたは、大容量排紙ユニットが接続されている場合に、[区切りごと] [ジョブごと] でオフセット排紙するかどうかを選択します。

### 【表紙付け】

表紙をつけるかどうかを設定します。チェックを入れると [詳細設定] が表示され、表紙をセットするトレイの指定ができます。

### 【小冊子製本】

オプションのマルチフィニッシャー M が接続されている場合に、小冊子製本するかどうかを設定します。チェックを入れると [詳細設定] が表示され、詳細を設定できます。

### 【とじ位置】

とじ位置を設定します。[詳細設定] で詳細を設定できます。

#### 【片面ステーブル速度優先処理】

オプションのマルチフィニッシャー接続時に、片面印刷のステーブル処理を急いで出力したいときに選択します。フェイスアップで出力するため、ステーブルの針の両端がおもてに出てしまいます。仕上がりよりも、処理速度を優先したい場合に設定します。

### 【ステーブル】

オプションのマルチフィニッシャー、またはオフセットステーブルトレイが接続されている場合に、ステーブルするかどうかを設定します。

### 【パンチ】

オプションのマルチフィニッシャーが接続されている場合に、パンチするかどうかを設定します。

### 【紙折り】

オプションのマルチフィニッシャー M、またはマルチフィニッシャーに紙折りユニットが接続されている場合に、紙折りするかどうかを設定します。[OFF] 以外を選択すると [詳細設定] が表示され、詳細を設定できます。

### 【排紙先】

オプションのマルチフィニッシャー、または排紙台が接続されている場合に、排紙先を選択します。

### 【設定登録/呼出】 【登録/削除】 【標準に戻す】

「基本タブ」(p.42) を参照してください。

## ハーフトーンとは

用紙に吐出されるインクの点の密度や大きさを変えることによって、限られたインク数で色の連続的な階調を表現する処理方法です。ハーフトーンの処理方法は 2 種類から選べます。

### 誤差拡散処理 (初期設定)

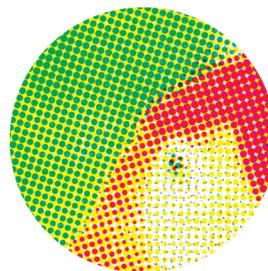
ドットの密度で階調を表現します。写真が入った原稿をカラーでプリントする場合は、こちらをおすすめします。



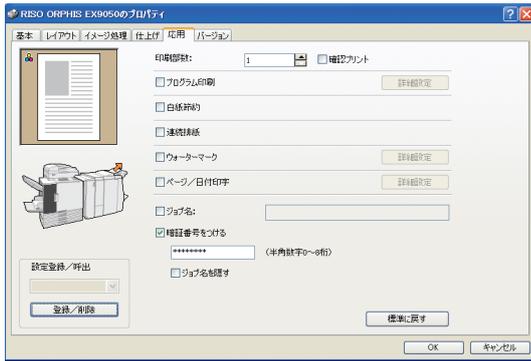
●イラストはイメージ図です。

### 網点処理

ドットの大きさを変えることで階調を表現します。1 色または少ない色数でプリントする場合は、こちらをおすすめします。



## 応用タブ



暗証番号や確認プリントなど、応用的な機能を設定します。

### 【印刷部数】

印刷部数を設定します。

### 【確認プリント】

確認プリントをします。

### 【プログラム印刷】

60のグループに部数と組数、ソート、合紙などを設定でき、必要な部数を必要な組数だけ手早くプリントできます。多数のグループ（部署や、クラス単位）に配布する印刷物の部数が異なる場合に便利な機能です。

### 【白紙節約】

白紙のページをとばしてプリントします。

### 【連続排紙】

オプションのマルチフィニッシャーまたは排紙台が接続され、なおかつ【排紙先】が【オート】に設定されている場合に、排紙先の排紙量が上限に達すると、自動的に排紙先を切り替えます。

### 【ウォーターマーク】

ウォーターマークをつけるかどうかを設定します。チェックを入れると【詳細設定】が表示され、詳細を設定できます。

### 【ページ/日付印字】

ページ/日付を印字するかどうかを設定します。チェックを入れると【詳細設定】が表示され、印字内容や印字位置などを設定できます。

### 【ジョブ名】

任意のジョブ名を入力するかどうかを設定します。チェックを入れると、1～255文字でジョブ名を設定できます。

### 【暗証番号をつける】

暗証番号をつけてプリントします。0～8桁の半角数字で暗証番号を設定します。

### 【ジョブ名を隠す】

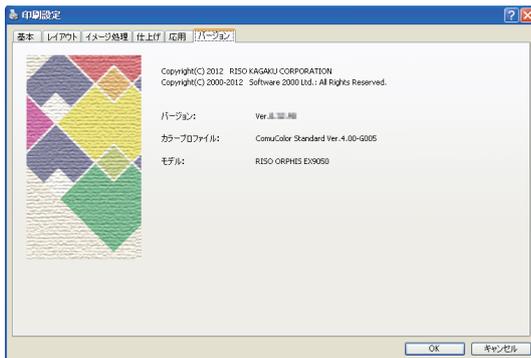
暗証番号をつけたジョブのジョブ名を非表示にします。

### 【設定登録/呼出】 【登録/削除】 【標準に戻す】

「基本タブ」(p.42)を参照してください。

2

## バージョンタブ



プリンタドライバ情報を表示します。

### 【バージョン】

プラグインのバージョンです。

### 【カラープロファイル】

カラープロファイルのバージョンです。

### 【モデル名】

プリンタのモデル名です。



# プリントする プリントしてみよう！

本機は一般的なインクジェットプリンターに比べ、高速のプリントが可能です。  
ここでは、基本的な操作でプリントしてみましょう。



## 基本操作の流れ

アプリケーションの印刷画面を開く

プリンターを選択する

プリンターの設定をする

印刷する

- 本機をプリンターとして利用するには、パソコンにプリンタドライバをインストールする必要があります。(p.24 参照)
- 表示される画面は、ご使用の OS やアプリケーションおよび接続されているオプションにより異なります。
- アプリケーションの印刷画面に [部単位で印刷] チェックボックスがある場合は、チェックをはずしてください。(p.73 参照)
- 管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

### 1 アプリケーションの印刷画面を開く

[ファイル]メニューから [印刷] を選択するなど、印刷を実行します。

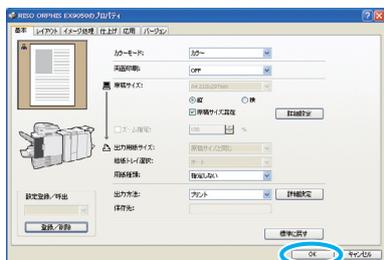
### 2 プリンターを選択する

印刷画面で本機を選択します。



### 3 プリンターの設定をする

[プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックし、必要に応じて設定します。詳しくは、「便利なプリント機能を使ってみよう！」(p.66) を参照してください。



### 4 印刷する

印刷画面の [OK] (または [印刷]) をクリックします。



プリントジョブをキャンセルする場合は、「ジョブを削除する」(p.80) を参照してください。

- 外部システム連携を使用している場合、パソコンから受信した全てのジョブは「プリンターモード」- [ボックス] タブ画面の [外部システムジョブ] に表示されます。ジョブのプリント、削除などの操作は、[ボックス] タブ画面 (p.76) で行います。

# コピーする コピーモード画面

オプションのスキャナーを接続すると、コピー機能を活用することができます。ここでは、タッチパネルのコピーモード画面について説明します。



- ・表示される画面は、接続されているオプションや設定内容により異なります。
- ・管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

## 基本画面



コピーモードを選択すると、最初に表示される画面です。基本的なコピー機能は、この画面で設定できます。

2

### ① 【カラーモード】

コピー時のカラーモードを設定します。



**【オート】**  
自動でカラーモードを選択します。

**【カラー】**  
カラーでコピーします。

**【白黒】**  
白黒でコピーします。

**【単色シアン】**  
シアン色でコピーします。

**【単色マゼンタ】**  
マゼンター色でコピーします。

 ORPHIS EX7200L では、【単色シアン】は選択できません。また、【単色マゼンタ】の代わりに【単色レッド】、【カラー】の代わりに【2色】が表示されます。

### ② 【変倍】

コピー倍率を設定します。



**【オート】**  
コピー倍率を自動で選択してコピーします。

 【オート】を選択している場合、【用紙トレイ】を【オート】に設定すると、等倍でコピーします。

**【100% (等倍)】**  
原稿の原寸でコピーします。

**定形変倍**  
あらかじめ設定されている倍率から選択します。

**【数値入力】**  
50～200%の間で、任意のコピー倍率を入力します。



### ③ [用紙トレイ]

トレイの選択/設定をします。



#### [オート]

用紙トレイを自動で選択してコピーします。選択の対象になっているトレイは、[オート選択対象] が [対象] と表示されます。

#### [オート選択対象]

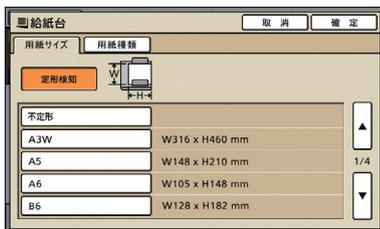
[オート] を選択したときの対象トレイを設定します。

#### [詳細設定]

各トレイの [用紙サイズ] [用紙種類] を設定します。設定する用紙トレイを選択して、[詳細設定] を押してください。

### ● 用紙サイズ画面

用紙のサイズを設定します。



#### [定形検知]

用紙トレイにセットされている用紙サイズを、自動で検知します。

#### [不定形]

未登録の不定形用紙をプリントするときに選択します。用紙の幅は各用紙トレイのフェンス幅、長さは各トレイの最大値が設定されます。

#### 用紙サイズ選択ボタン

あらかじめ用意されている用紙サイズ、または管理者設定で登録された、任意の用紙サイズから選択します。

**!** 未登録の不定形用紙を大容量排紙ユニットに排紙した場合、用紙がきれいに揃いません。不定形用紙をプリントする場合は、管理者設定で [用紙サイズ登録] を設定してください。

### ● 用紙種類画面

用紙の種類を設定します。



#### [給紙設定]

用紙の厚さなどを設定します。

#### [重送検知]

給紙中に、用紙が重複して送られたかどうかを検知します。

**!** ・封筒への両面プリントはできません。  
・給紙台の [給紙設定] を [封筒] に設定した場合、封筒以外の用紙に対しても、給紙台からの両面プリントはできません。

### ④ [原稿]

原稿の種類に合わせた設定をすることができます。



#### [文字写真]

文字と写真/グラフィックの両方がある原稿に適しています。

#### [文字]

文字のみの原稿に適しています。

#### [写真]

写真やグラフィックのみの原稿に適しています。

#### [地図・鉛筆]

地図や鉛筆書きなどの、淡い色のイラストや文字の原稿に適しています。

### ● [写真の網点処理]

写真の網点処理を設定できます。

**!** [文字] を選択した場合は、これらのボタンはグレーアウトされます。

#### [OFF]

網点処理をせずにコピーします。

#### [70 線]

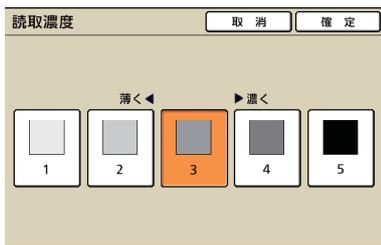
70 線の網点で再現します。

#### [100 線]

100 線の網点で再現します。

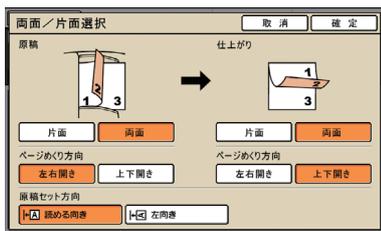
### ⑤ 【読取濃度】

スキャンする画像の読み取り濃度を設定します。



### ⑥ 【両面／片面選択】

両面および片面プリントの設定をします。



#### 【原稿】

原稿の読み取り面を設定します。

#### 【仕上がり】

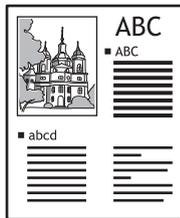
両面コピーにするか片面コピーにするかを設定します。

#### 【ページめくり方向】

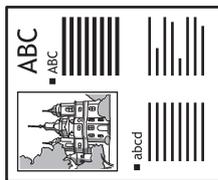
原稿やコピーが両面の場合に、ページのめくり方向を設定します。

#### 【原稿セット方向】

原稿の向きを設定します。



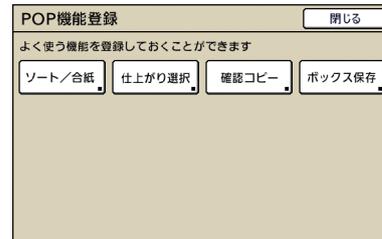
読める向き



左向き

### ⑦ 【登録変更】

よく使う機能を最大4個まで登録して、画面下にボタンで表示することができます。



## お気に入り画面



登録されたお気に入りボタンが表示されます。

### 【登録変更】

よく使う機能を最大 16 個まで登録して表示することができます。



## 機能一覧画面



コピーモードにある機能ボタンが表示されます。  
応用的なコピー機能はこの画面で設定できます。

### 【初期値に登録】

現在の設定値を初期値として登録します。

🚫 ログインが不要な環境では、管理者以外のユーザーは初期値の登録はできません。

## 【設定確認】

現在の設定値を確認したり、管理者の設定した初期値に戻したりすることができます。  
また、現在の設定値を各ユーザー用の初期値に登録することもできます。



### 【初期値に登録】

リストに表示されている内容を、初期値として登録します。



ログインが不要な環境では、このボタンはグレーアウトされます。

### 【初期値をクリア】

リストに表示されている内容をクリアし、管理者の設定した初期値に戻します。



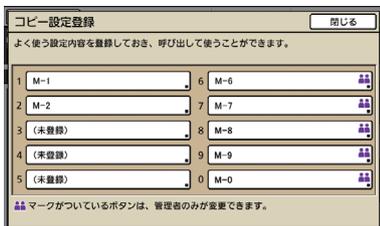
ログインが不要な環境では、このボタンはグレーアウトされます。

### 【このリストをプリント】

設定内容のリストをプリントします。

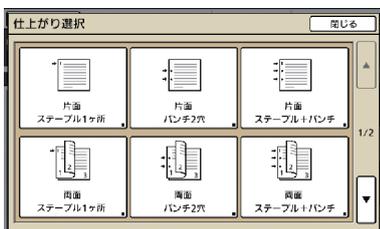
## 【コピー設定登録】

よく使う設定内容を登録して、呼び出すことができます。  
詳しくは、「よく使う設定を保存する」(p.86) を参照してください。



## 【仕上がり選択】

仕上りを、用意された設定の中から選択します。



## 【確認コピー】

大量にコピーする前に、1部だけコピーして仕上がりや設定内容を確認することができます。

## 【追加コピー】

直前にコピーしたジョブを、再度コピーすることができます。また、画像位置、用紙トレイ、プリント濃度の設定を変更することができます。



- ・オートリセットされた場合またはログアウトされた場合は、このボタンはグレーアウトされます。
- ・管理者の設定により、[追加コピー] が表示されない場合があります。

## 【ボックス保存】

読み取った原稿を、データとしてボックスに保存することができます。  
設定内容もそのまま保存されるので、同じ設定で再度コピーする場合に便利です。



### 【保存しない】

ジョブを保存しません。

### 【保存する】

ジョブをボックスに保存します。

### 【保存してコピー】

ジョブをボックスに保存し、コピーします。

### 【オーナー名】

保存するジョブのオーナー名を設定します。

### 【ジョブ名】

保存するジョブ名を設定します。

### 【暗証番号】

保存するジョブに暗証番号をつけるかどうかを設定します。

### 【保存先】

ジョブの保存先を指定します。

## [アーカイブ保存]

オプションの外部コントローラ（ComuColorExpress IS1000C）が接続されている場合に、読み取った原稿をデータとしてコントローラに保存することができます。

### [保存しない]

ジョブを保存しません。

### [保存する]

ジョブをコントローラに保存します。

### [オーナー名]

保存するジョブのオーナー名を設定します。

### [ジョブ名]

保存するジョブ名を設定します。

## [AF 原稿追加]

オートフィーダーに、一度にセットできない枚数の原稿をコピーする場合に使用します。原稿の読み取りが完了した時点で、追加の原稿を読み取るかどうかの確認画面を表示します。（最大 1000 枚）

## [原稿サイズ指定]

原稿の読み取りサイズを設定します。

### [オート]

原稿サイズと変倍率からサイズを自動で算出して設定します。

### [数値入力]

[▲] [▼] またはテンキーを使って任意の数値を入力します。

### 保存サイズリスト

リストに表示されているサイズの中から選択します。

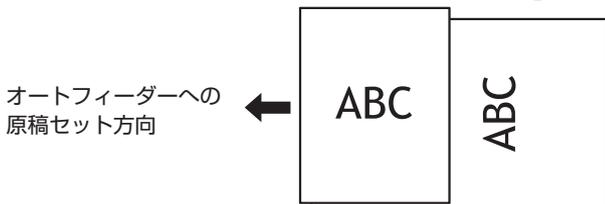
## [原稿サイズ混在]

ページごとにサイズが異なる原稿を、オートフィーダーから読み取る場合に設定します。



一度に読み取れる原稿の種類は、ページの一边が同じ長さの原稿のみです。

例：(A4 と A3、B5 と B4、Letter と Ledger)



原稿サイズが混在したジョブは、大容量排紙ユニットに排紙できません。

## [ブック原稿]

書籍など、見開きの原稿を読み取る場合に、中央の影を消去します。

## [面付け]

複数の原稿を 1 枚のページにまとめてコピーすることができます。

### ● [OFF] [N アップ] [連写]

面付けの種類を設定します。

#### [OFF]

面付けせずに、1 ページ 1 枚でコピーします。

#### [N アップ]

複数枚の原稿を順番にレイアウトします。

#### [連写]

同じ原稿を、1 枚のページに連続でレイアウト（ページ集約）します。

### ● [面数]

1 枚に何ページ分レイアウトするかを設定します。

### ● [面付け順序]

[N アップ] を選択した場合、1 ページにレイアウトする順序を設定します。[面数] で選択した値によって、選択肢が変わります。

### ● [仕上げイメージ]

設定内容を反映したイメージを表示します。

### ● [原稿セット方向]

原稿をセットする向きを設定します。

#### [読める向き]

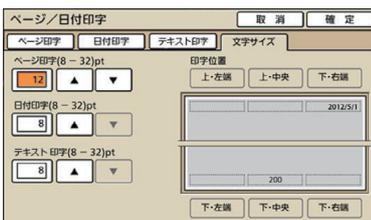
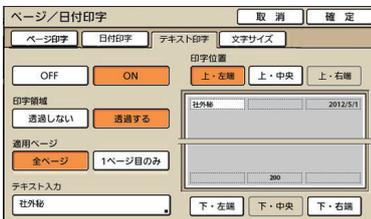
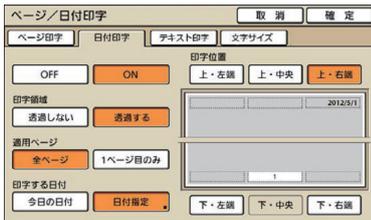
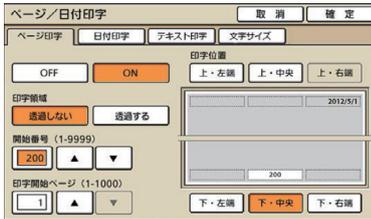
ユーザーから見て、原稿を読める向きにセットする場合に選択します。

#### [左向き]

ユーザーから見て、原稿の上辺を左側にセットする場合に選択します。

## [ページ/日付印字]

ページ番号や日付などを、用紙の指定位置に印字することができます。また、印字する文字サイズを設定することができます。



### [OFF] [ON]

ページ/日付印字をする場合は [ON]、しない場合は [OFF] を選択します。

### [印字領域]

ページ/日付印字する領域の背景を透過するかどうかを選択します。

### [開始番号] (ページ印字のみ)

印字するページ番号の最初の数字を設定します。

[▲] [▼] またはテンキーで入力します。

### [印字開始ページ] (ページ印字のみ)

原稿の何ページ目からページ印字を開始するかを設定します。

[▲] [▼] またはテンキーで入力します。

### [印字位置]

ページのどの位置にページ/日付印字するかを設定します。

 ページ、日付やテキストを、同じ位置に印字することはできません。

### [適用ページ] (日付印字/テキスト印字)

日付やテキストなどを全ページに印字するか、1 ページ目だけに印字するかを選択します。

### [印字する日付] (日付印字のみ)

印字する日付を設定します。

### [テキスト入力] (テキスト印字のみ)

印字するテキストを設定します。

### [ページ印字]

ページ数の文字サイズを 8pt ~ 32pt で設定します。

[▲] [▼] またはテンキーで入力します。

### [日付印字]

日付の文字サイズを 8pt ~ 32pt で設定します。

[▲] [▼] またはテンキーで入力します。

### [テキスト印字]

テキストの文字サイズを 8pt ~ 32pt で設定します。

[▲] [▼] またはテンキーで入力します。

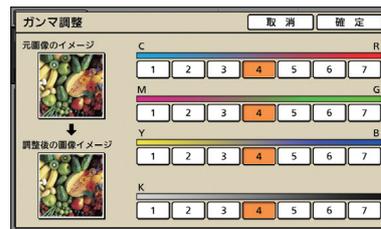
## [画像品質]

コピーする原稿を読み取るときの解像度を設定します。



## [ガンマ調整]

各色のガンマ値を調整します。



## [画像詳細設定]

スキャナーで読み取る原稿に対して、詳細な画像処理を設定します。



### [オート]

自動で画像処理をします。

### [文字写真処理基準]

文字の輪郭を強調するか、写真を鮮明に再現するかを設定します。

### [エッジ強調]

文字として認識した部分のエッジを強調します。

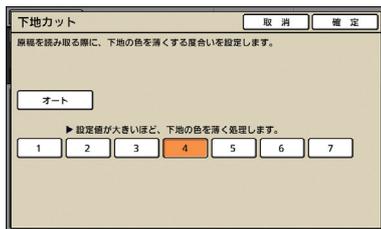
### [モアレ除去]

写真として認識した部分のモアレを緩和します。



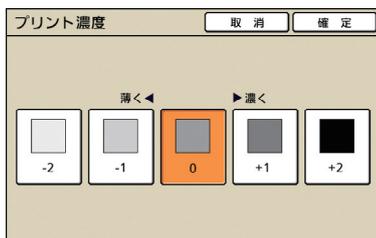
## 【下地カット】

地色がある原稿を読み取る際に、下地の色をカットする度合いを設定することができます。



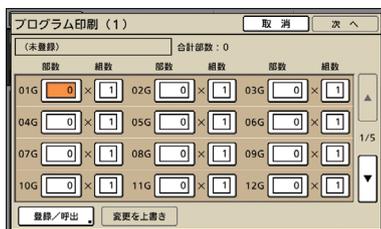
## 【プリント濃度】

プリントの濃度を5段階で調整できます。小さい数値を選択するほど薄く、大きい数値を選択するほど濃くなるようにプリントします。



## 【プログラム印刷】

60のグループに部数と組数、ソート、合紙などを設定でき、必要な部数を必要な組数だけ手早くプリントできます。多数のグループ（部署や、クラス単位）に配布する部数が異なる場合に便利な機能です。



## 【表紙付け】

あらかじめ印刷済みの用紙や色紙などをトレイにセットし、表紙として挿入しながらソートします。



### 【とじ位置】

とじ位置を設定します。

### 【オモチ表紙】

オモチ表紙を設定します。

オモチ表紙をつける場合は「あり」を選択し、オモチ表紙をセットする用紙トレイを選択します。

### 【ウラ表紙】

ウラ表紙を設定します。

ウラ表紙をつける場合は「あり」を選択し、ウラ表紙をセットする用紙トレイを選択します。

## 【ソート／合紙】

複数ページの原稿を複数コピーする場合に、ソートするかどうかを設定します。また、コピーとコピーの間に合紙を挿入するかどうかを設定します。オプションのマルチフィニッシャーやオフセットステーブルトレイが接続されている場合は、オフセット排紙も設定できます。



### ●【ソート】

ソートの種類を設定します。

#### 【オート】

オートフィーダーで読み取る場合は「部ごと」、原稿台で読み取る場合は「ページごと」に自動的に設定します。

#### 【ページごと】

ページごとに指定部数まとめてコピーします。

#### 【部ごと】

ページ順に部単位でコピーします。

### ●【合紙】

コピーの区切りに合紙を挿入するかどうかを設定します。

#### 【OFF】

合紙を挿入しません。

#### 【区切りごと】\*

「ソート」で指定した単位ごとに合紙を挿入します。

#### 【ジョブごと】\*

コピーのジョブ単位ごとに合紙を挿入します。

\* 「区切りごと」「ジョブごと」を選択した場合は、合紙で使用する用紙トレイも選択します。

### ●【合紙への番号印字】

合紙に数字やアルファベットを印字することができます。印字位置は、用紙搬送方向後端（5mm程度内側）です。未登録の不定形用紙の場合は、用紙搬送方向先端（5mm程度内側）に印字します。

#### 【OFF】

合紙に印字をしません。

#### 【1,2,3,...】

合紙を入れる順に、1、2、3、～と印字されます。

#### 【A,B,C,...】

合紙を入れる順に、A、B、C、～、Z、AB、AC、～と印字されます。（ZZZまで）

### ●【オフセット排紙】

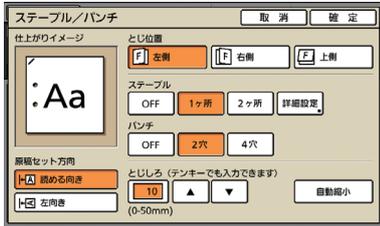
オプションのマルチフィニッシャーやオフセットステーブルトレイが接続されている場合、プリント単位ごとに排紙位置をずらしてオフセット排紙するかどうかを設定します。

## 【オート回転】

セットした原稿と、トレイにセットした用紙サイズが合っていない、用紙の向きが一致しない場合に、自動的に画像を90度回転します。通常は「ON」に設定します。

## 【ステープル／パンチ】

オプションのマルチフィニッシャーが接続されている場合、ステープルやパンチすることができます。[詳細設定] の [片面ステープル速度優先処理] を [ON] にすると、処理速度を落とすことなく、ステープル処理します。ただし、針の両端がおもてに出た状態でステープルされます。オフセットステープルトレイが接続されている場合は、ステープルのみ設定できます。



## 【紙折り】

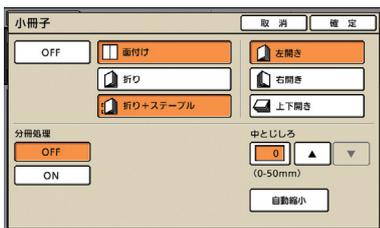
オプションのマルチフィニッシャー M、またはマルチフィニッシャー S に、紙折りユニットが接続されている場合、コピーされた用紙を指定のかたちに折ることができます。

**!** フィニッシャーの種類により、選択肢は異なります。



## 【小冊子】

自動でページを面付けして、小冊子状にコピーします。また、オプションのマルチフィニッシャー M が接続されている場合、ステープルや紙折りもあわせて設定できます。



**【面付け】**  
面付けをします。

**【折り】**  
二つ折りにして出力します。

**【折り＋ステープル】**  
二つ折りおよびステープルして出力します。

**!** 【面付け】は、【折り】または【折り＋ステープル】と組み合わせて選択できます。

## ●【分冊処理】

【折り】【折り＋ステープル】を選択した場合、1回に折れる枚数に制限があります。

【折り】の場合は5枚(20ページ)、【折り＋ステープル】の場合は15枚(60ページ)です。

この枚数を超えるページ数がある場合は、上記枚数ごとに1回折って排出します(分冊されます)。

その場合、分冊された束を「中とじ」するのか、「平とじ」するのかによって、面付け方法が異なるため、【OFF】【ON】どちらかを選択してください。

### 【OFF】

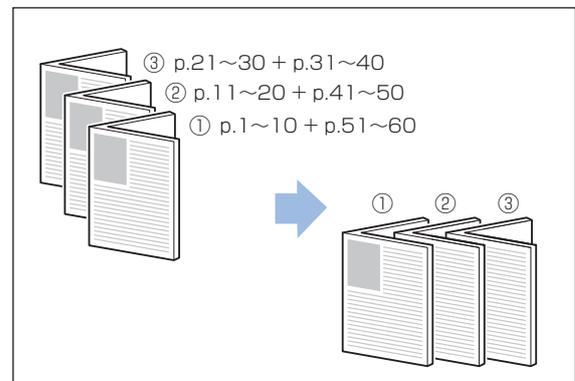
分冊を開いた状態で重ねるとじる(中とじする)と、1冊になるように面付けされます。

OFFを選択すると、【折り＋ステープル】を選択した場合でも、ステープルしません。

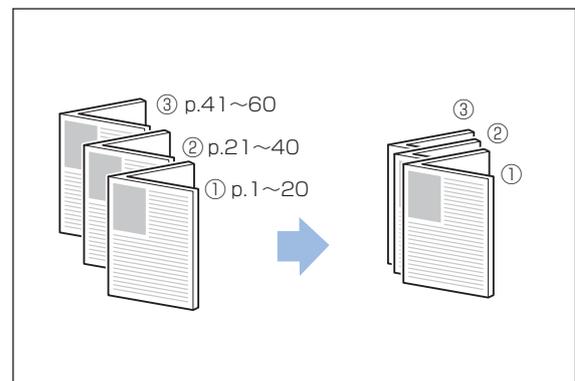
### 【ON】

分冊を折ったまま重ねるとじる(平とじする)と、1冊になるように面付けされます。

例) 60ページ 設定が「折り」 分冊処理「OFF」の場合



例) 60ページ 設定が「折り」 分冊処理「ON」の場合



## ● [中とじしろ]

[面付け] を選択した場合に、中とじしろの幅を0～50mmの間で設定できます。[▲] [▼] またはテンキーを使って入力します。

### [自動縮小]

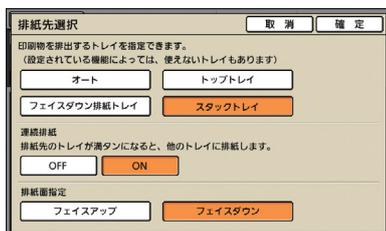
中とじしろを設定することによってプリント面が用紙に入りきらない場合、自動的にプリント面を縮小します。

## [排紙先選択]

オプションのマルチフィニッシャーまたは排紙台が接続されている場合、コピーの排紙先を設定することができます。

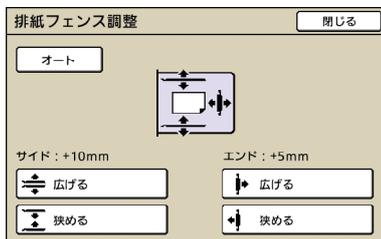


**[排紙面指定]** は、排紙先を [スタックトレイ] または [大容量排紙ユニット] を選択した場合に設定できます。



## [排紙フェンス調整]

オプションのオートフェンス排紙台または大容量排紙ユニットが接続されている場合に、排紙フェンスの位置を調整することができます。



## [排紙ウイング特殊]

オプションの排紙台接続時、通常の設定ではきちんと排紙できない用紙を使用する場合に設定します。押すたびに、[ON] と [OFF] が切り替わります。



**[排紙ウイング特殊]** は、あらかじめ登録されている場合のみ表示されます。登録する場合や設定を変更する場合は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。

## [ヘッドクリーニング]

インクヘッドのクリーニングをします。



### [ノーマルクリーニング]

ヘッド部分のつまりを防ぐためのクリーニングです。

### [ストロングクリーニング]

プリントが鮮明にできない場合などに行う、ノーマルクリーニングよりも強力なクリーニングです。

## [前扉ロック解除]

本機の前カバーは、通常（トラブルが発生していないとき）はロックされています。前カバーを開けたい場合は、このボタンを押します。

## [残金表示]

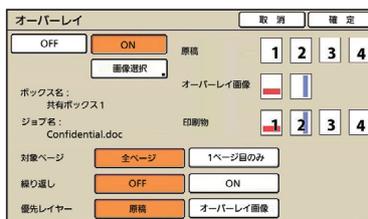
外部システム連携を使用している場合に、ログインしているユーザーの残金を表示します。



- ・管理者が、[外部システム連携] 機能を [有効] に設定している場合に、表示される機能です。
- ・[外部システム連携] 機能での課金システムについて詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にお問い合わせください。

## [オーバーレイ]

ボックスに保存した画像を、原稿に合成してコピーすることができます。



### [OFF] [ON]

コピー原稿にオーバーレイ画像を合成するかどうかを設定します。合成をする場合は [ON]、しない場合は [OFF] を選択します。

**【画像選択】**

合成する画像が保存されているボックスおよびジョブを選択します。



- ・オーバーレイ画像は、あらかじめボックスに保存しておく必要があります。詳しくは、「ボックス保存」(p.51、p.68)を参照してください。
- ・ボックス機能は、管理者の設定により利用できない場合があります。
- ・個人ボックスは、ログインが必要な環境の場合に表示されます。
- ・共有ボックスは、管理者によって登録されています。
- ・暗証番号付きのジョブを選択した場合は、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力して【確定】を押してください。

**●【対象ページ】**

オーバーレイ画像の対象範囲（ページ）を指定します。

**【全ページ】**

オーバーレイ画像の全ページを、1 ページ目から順番に合成します。

**【1 ページ目のみ】**

オーバーレイ画像の1 ページ目をコピー対象へ合成します。

**●【繰り返し】**

オーバーレイ画像を繰り返して合成するかを設定します。

**【ON】**

オーバーレイ画像をコピー対象へ繰り返して合成します。

**【OFF】**

オーバーレイ画像を繰り返して合成しません。すべてのオーバーレイ画像を合成すると、残りのページはコピーのみ実行します。

**●【優先レイヤー】**

原稿とオーバーレイ画像のどちらを優先して（上に）合成するかを選択します。

**【原稿】**

原稿のレイヤーを優先して、オーバーレイ画像の上に重ね合わせます。

**【オーバーレイ画像】**

オーバーレイ画像のレイヤーを優先して、原稿の上に重ね合わせます。



- ・優先レイヤーの画像が非優先レイヤーの画像より大きい場合は、非優先レイヤーの画像は印字されないことがあります。
- ・原稿とオーバーレイ画像の色が同じ場合は、色が同化した部分が表示されないことがあります。
- ・原稿とオーバーレイ画像を、混合（同じレイヤーで重ねる）することはできません。
- ・ボックスに保存したジョブは、設定内容とともにデータ化されています。プリントするときは、ボックス保存時と同じ用紙種類でプリントしてください。用紙種類が異なると、プリントの仕上がりが異なります。
- ・原稿とオーバーレイ画像の解像度が異なる場合は、プリントの仕上がりが粗くなる場合があります。同じ解像度の原稿とオーバーレイ画像を用意してコピーしてください。



# コピーする コピーしてみよう！

印刷物や書類などから、さまざまなコピーを作成することができます。ここでは、基本的な操作でコピーしてみましょう。



## 基本操作の流れ

原稿をセットする

コピーモードを選択する

コピーの設定をする

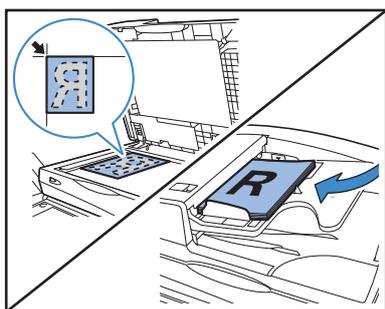
[スタート] キーを押す



- ・表示される画面は、接続されているオプションや設定内容により異なります。
- ・コピーモードになっていることを確認してください。
- ・管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

### 1 原稿をセットする

原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。

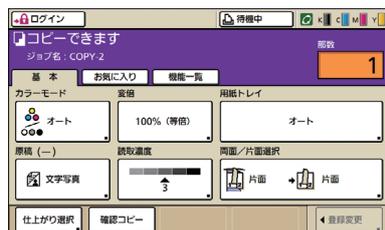


### 2 コピーモードを選択する



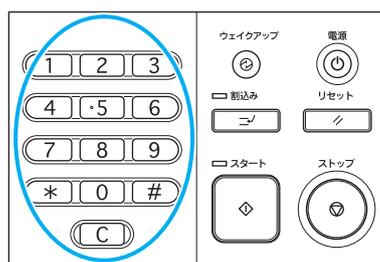
### 3 コピーの設定をする

必要に応じて設定します。詳しくは、「いろいろなコピー機能を使ってみよう！」(p.81)を参照してください。

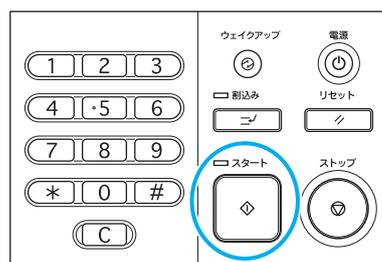


### 4 コピー部数を入力する

テンキーを使って入力します。



### 5 [スタート] キーを押す



コピージョブをキャンセルする場合は、[ストップ] キーを押します。

## スキャンする スキャナーモード画面

オプションのスキャナーを接続すると、スキャナー機能を活用することができます。ここでは、タッチパネルのスキャナーモード画面について説明します。



- ・表示される画面は、接続されているオプションや設定内容により異なります。
- ・管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

### 確認画面



スキャナーモードを選択すると、スキャン形式を設定する確認画面が表示されます。

設定後、[確定] を押すと次の画面に移行します。

- ・管理者設定で、この確認画面を表示せずにスキャナーモードに移行するように設定することもできます。
- ・保存形式については、「保存形式について」(p.64) を参照してください。

#### ① 【パソコンで使える形式】

スキャンした画像をパソコンに取り込んだり、メールに添付したりする場合に選択します。

#### ② 【PDF】 【TIFF】 【JPEG】

【パソコンで使える形式】 を選択した場合に、スキャンする画像の保存形式を選択します。

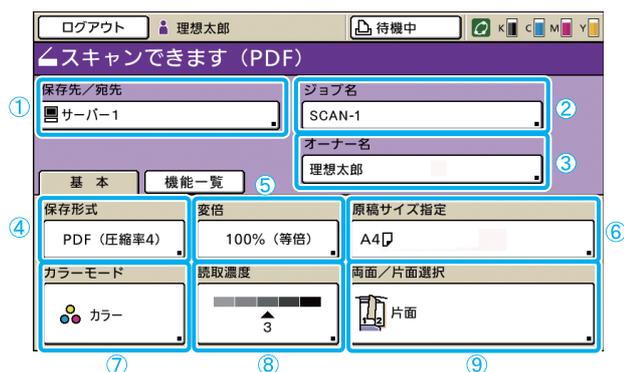
#### ③ 【本機でプリントできる形式 (ボックスに保存)】

スキャンした画像を本機のボックスに保存してプリントする場合に選択します。  
この形式を選択すると、コピーモードの【ボックス保存】画面に移行します。  
詳しくは、「ボックス保存」(p.51) を参照してください。

#### ④ 【本機でプリントできる形式 (外部 CI のアーカイブに保存)】

オプションの外部コントローラ (ComuColorExpress IS1000C) が接続されている場合に表示されます。  
この形式を選択すると、コピーモードの【アーカイブ保存】画面に移行します。  
詳しくは、「アーカイブ保存」(p.52) を参照してください。

## 基本画面



### ① [保存先/宛先]

スキャンする画像の保存先、またはメールに添付する場合の宛先を設定できます。

#### ● 保存先画面

スキャンする画像の保存先を設定します。



#### [本機内蔵ハードディスク]

本機に内蔵のハードディスクに保存します。



スキャンしたジョブは、コンソールからダウンロードします。詳しくは、「スキャンした画像をダウンロードする」(p.94)を参照してください。

#### [USBメモリ]

接続されているUSBメモリに保存します。



本機にUSBメモリが接続されていない場合は、グレイアウトされます。

#### [ネットワーク上のコンピュータ]

管理者設定で登録された、ネットワーク上のコンピュータに保存します。

#### ● メール宛先画面

スキャンする画像を添付するメールアドレスを設定します。



#### [直接入力]

メールアドレスを直接入力します。[直接入力]を押すと、文字入力画面が表示されます。



管理者の設定により、[直接入力]が表示されない場合があります。

スキャナーモードを選択すると、最初に表示される画面です。基本的なスキャナー機能は、この画面で設定できます。

#### ● メール宛先リスト

管理者設定で登録されたメール宛先リストが表示されます。右側の[▲][▼]でスクロールするか、画面下の見出しボタンからユーザー名を表示します。

### ② [ジョブ名]

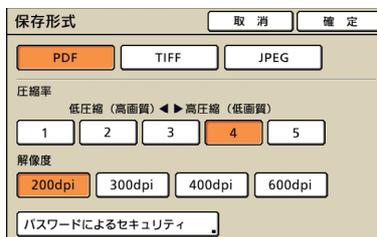
スキャンする画像のジョブ名を表示します。初期値はSCAN-n (nは1~9999の連番)と表示されます。ボタンを押すと文字入力画面が表示され、ジョブ名を設定できます。

### ③ [オーナー名]

スキャンする画像のオーナー名を表示します。ボタンを押すと文字入力画面が表示され、オーナー名を設定できます。

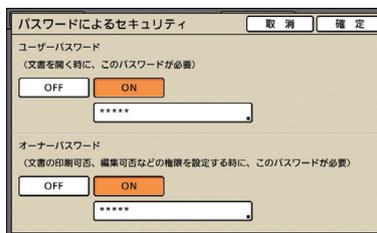
### ④ [保存形式]

スキャンする画像の保存形式、圧縮率、解像度を設定します。



#### ● パスワードによるセキュリティ画面

スキャンしたジョブをパスワードで保護することができます。閲覧や印刷、編集などのアクセス権をパスワードで制限します。



#### [ユーザーパスワード]

文書を閲覧するためのパスワードを設定します。1~32文字までの半角英数字で設定します。

#### [オーナーパスワード]

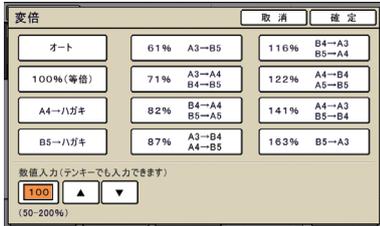
文書の印刷、編集可否などの権限を設定するためのパスワードを設定します。1~32文字までの半角英数字で設定します。



- ・[パスワードによるセキュリティ]機能は、スキャナーの保存形式として[パソコンで使える形式]の[PDF]に設定した場合に表示されます。他の形式では設定できません。
- ・ユーザーパスワードと、オーナーパスワードの設定を同じにすることはできません。

### ⑤ [変倍]

スキャンする画像の倍率を設定します。



【保存形式】の解像度を【400dpi】または【600dpi】に設定している場合は、【変倍】は設定できません。

#### 【オート】

原稿サイズと変倍率からサイズを自動で算出して設定します。

#### 【100% (等倍)】

原稿の原寸でスキャンします。

#### 定形変倍

あらかじめ設定されている倍率から選択します。

#### 【数値入力】

50~200%の間で、任意のスキャン倍率を入力します。

### ⑥ [原稿サイズ指定]

原稿の読み取りサイズを指定します。



#### 【オート】

原稿サイズと変倍率からサイズを自動で算出して設定します。

#### 【数値入力】

【▲】【▼】またはテンキーを使って任意の数値を入力します。

#### 【保存サイズリスト】

リストに表示されているサイズの中から選択します。

### ⑦ [カラーモード]

スキャンする画像のカラーモードを設定します。



#### 【オート】

自動でカラーモードを選択します。

#### 【カラー】

原稿をカラーでスキャンします。

#### 【グレースケール】

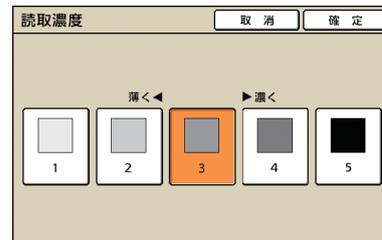
原稿をグレースケールでスキャンします。

#### 【白黒】

原稿を白黒の2階調でスキャンします。

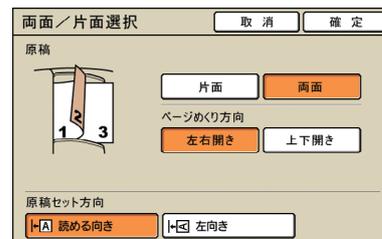
### ⑧ [読取濃度]

スキャンする画像の読み取り濃度を設定します。

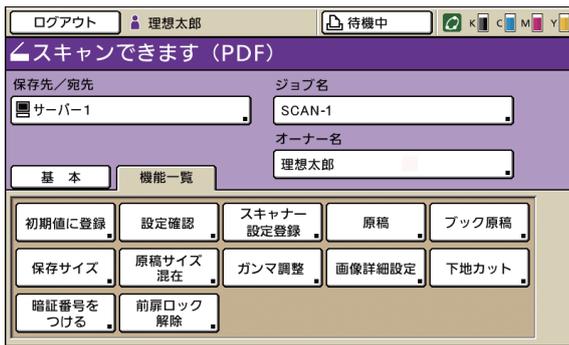


### ⑨ [両面/片面選択]

両面の原稿をスキャンする場合に、原稿の種類を設定します。

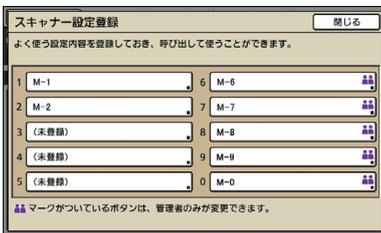


## 機能一覧画面



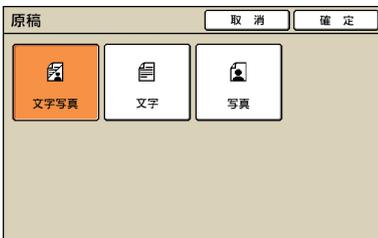
### 【スキャナー設定登録】

よく使う設定内容を登録して、呼び出すことができます。詳しくは、「よく使う設定を保存する」(p.86)を参照してください。



### 【原稿】

原稿の種類に合わせた設定をすることができます。



#### 【文字写真】

文字と写真／グラフィックの両方がある原稿に適しています。

#### 【文字】

文字のみの原稿に適しています。

#### 【写真】

写真やグラフィックのみの原稿に適しています。

ユーザーが操作できる設定項目を表示します。応用的なスキャナー機能は、この画面で設定します。

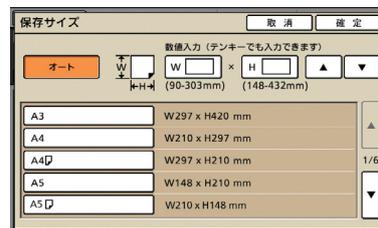


スキャナーモード以外でも使用する以下の機能は、「コピーモード画面」の「機能一覧画面」(p.50～)に記載しています。

- ・初期値に登録
- ・設定確認
- ・ブック原稿
- ・原稿サイズ混在
- ・ガンマ調整
- ・画像詳細設定
- ・下地カット
- ・前扉ロック解除

### 【保存サイズ】

原稿の読み取りサイズを設定します。



#### 【オート】

原稿サイズと変倍率からサイズを自動で算出して設定します。

#### 【数値入力】

【▲】【▼】またはテンキーを使って任意の数値を入力します。

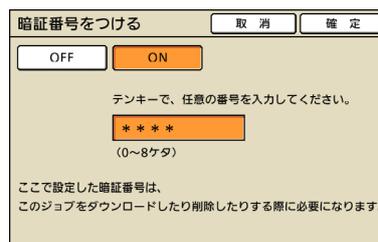
#### 保存サイズリスト

リストに表示されているサイズの中から選択します。

### 【暗証番号をつける】

スキャンするジョブを本機内蔵ハードディスクに保存するときに、暗証番号を設定します。

詳しくは、「スキャンジョブに暗証番号をつける」(p.88)を参照してください。



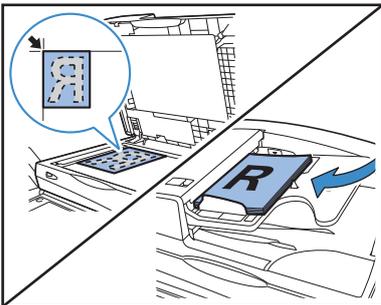
# スキャンする スキャンしてみよう！

スキャナーモードでは、紙の原稿をデータにしてパソコンへダウンロードしたり、USBメモリへ保存したり、メールに添付したりすることができます。  
ここでは、基本的な操作でスキャンしてみましよう。



- ・表示される画面は、接続されているオプションや設定内容により異なります。
- ・スキャナーモードになっていることを確認してください。
- ・管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

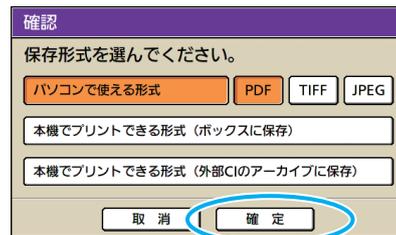
**1** 原稿をセットする  
原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。



**2** スキャナーモードを選択する

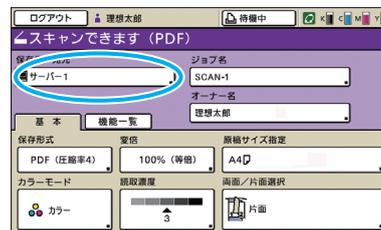


**3** 保存形式を設定します。



- ・管理者設定により、この画面が表示されない場合もあります。

**4** スキャンの設定をする

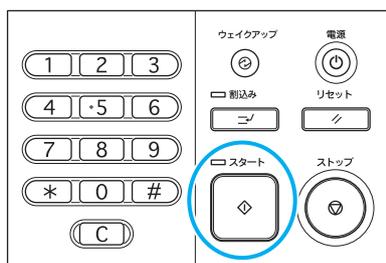


- ・USBメモリに保存する場合は、USBメモリを接続してください。

2



## 5 [スタート] キーを押す



### 保存形式について

スキャナーモードの確認画面では、[パソコンで使える形式] と [本機でプリントできる形式] のどちらかを選択することができます。用途に応じて選択しましょう。

#### ●パソコンで使える形式

パソコンで使える形式には、3種類のファイル形式があります。

- PDF  
コンピュータ上での閲覧を目的に提唱されたフォーマットです。  
ファイルサイズが小さく、パンフレットやマニュアルの配布などに利用されます。
- TIFF  
画像をスキャナーで取り込むときや、画像の編集／加工を行うときなどに適したフォーマットです。特に複数のアプリケーションの間でやりとりする際に利用されます。
- JPEG  
スキャナで取り込んだ画像や、ビデオから取り込んだ画像などの圧縮保存に適したフォーマットです。

#### ●本機でプリントできる形式

本機でプリントできる形式とは、当社オリジナルの形式です。

本機のボックスに保存する方法と、外部コントローラに保存する方法があります。

# 便利な機能の使いかた



# いろいろなプリント機能 を使ってみよう！

プリントジョブに暗証番号をつけて、他人に見られずにプリントしたり、1部だけプリントして仕上がりを確認してから大量のプリントをしたりと、便利な機能が満載です。  
用途に合わせていろいろな機能を組み合わせさせて使ってみましょう。



- 本機をプリンターとして利用するには、パソコンにプリンタドライバをインストールする必要があります。(p.24 参照)
- 表示される画面は、ご使用の OS やアプリケーションおよび接続されているオプションにより異なります。
- アプリケーションの印刷画面に [部単位で印刷] チェックボックスがある場合は、チェックをはずしてください。(p.73 参照)
- 管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

## N アッププリントをする

複数ページを、1枚にまとめてプリント (ページ集約) することができます。

1 アプリケーションの印刷画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックする



2 [レイアウト] タブをクリックする

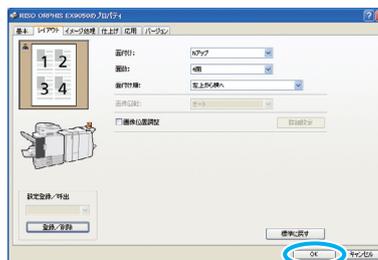


3 [面付け] のプルダウンメニューから [N アップ] を選択する

[面数] [面付け順] も設定します。



4 設定が終わったら [OK] をクリックする  
必要に応じて、その他の設定をします。



5 印刷画面の [OK] (または [印刷]) をクリックする



## 確認プリントをする

大量にプリントする前に、1部だけプリントして仕上がりや設定内容を確認することができます。

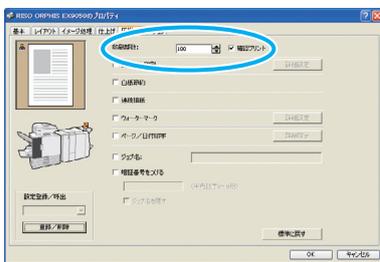
**1** アプリケーションの印刷画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックする



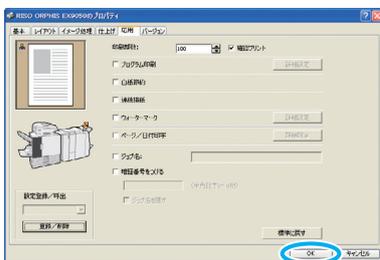
**2** [応用] タブをクリックする



**3** [確認プリント] にチェックを入れ、印刷部数を入力する



**4** 設定が終わったら [OK] をクリックする  
必要に応じて、その他の設定をします。

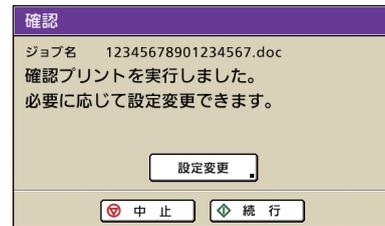


**5** 印刷画面の [OK] (または [印刷]) をクリックする



本機でデータ受信後、1部だけプリントして停止します。

**6** 仕上がりを確認し、本機のタッチパネルで操作する



## 暗証番号を使ってプリントする

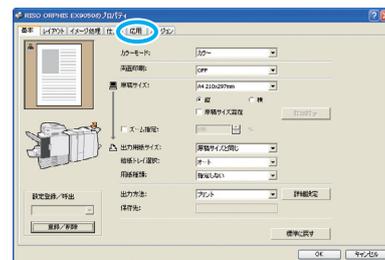
ジョブに暗証番号を設定すると、他人に見られることなくプリントすることができます。パソコンから本機に原稿データを送ったあと、本機のタッチパネルで暗証番号を入力して出力します。

3

**1** アプリケーションの印刷画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックする

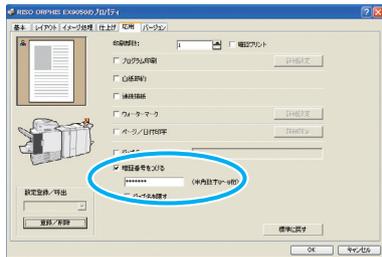


**2** [応用] タブをクリックする



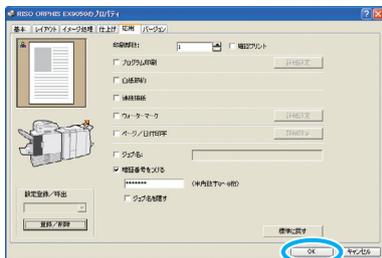
### 3 [暗証番号をつける] にチェックを入れ、暗証番号を入力する

0~8桁の半角数字で設定します。



 本機やコンソールに表示されるジョブ名を隠したい場合は、[ジョブ名を隠す] にチェックを入れます。

### 4 設定が終わったら [OK] をクリックする 必要に応じて、その他の設定をします。



### 5 印刷画面の [OK] (または [印刷]) をクリックする

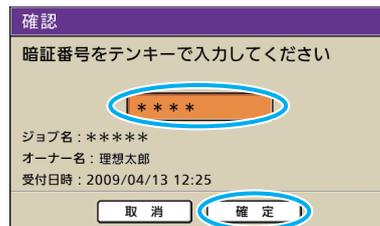


### 6 本機のタッチパネルで送信したジョブを選択し、[スタート] キーを押す



 送信したジョブは、プリンターモードの [指示待ち] 画面のリストに表示されます。

### 7 暗証番号を入力し、[確定] を押す



ジョブが [指示待ち] 画面から [処理中] 画面に移行し、プリントがスタートします。

## ボックス / USB ボックスに保存する

原稿データを、本機のボックスまたは USB ボックスに保存することができます。ボックスに保存したデータは、操作パネルから呼び出して、何度でもプリントすることができます。

 ネットワークを整えていない環境下でも、USB メモリを使用することで、USB メモリに保存したプリントジョブを出力、または USB ボックスに保存することができます。

### 1 アプリケーションの印刷画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックする

USB メモリに保存する場合は、パソコンに USB メモリを接続してください。



### 2 [出力方法] のプルダウンメニューから [プリント & ボックス保存]、[ボックス保存] または [USB メモリ保存] を選択する



#### [プリント & ボックス保存]

プリントして、ボックスにデータを保存します。

#### [ボックス保存]

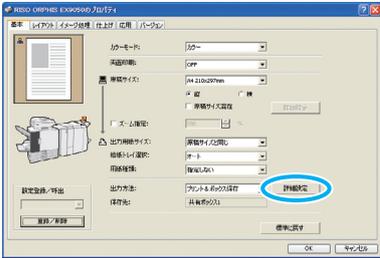
データをボックスに保存します。

#### [USB メモリ保存]

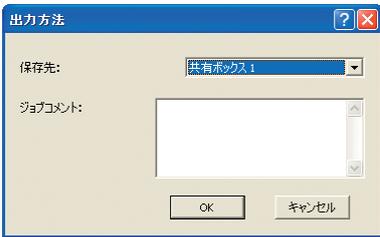
データを USB メモリに PRN ファイル形式で保存します。USB メモリは、保存が終了するまで抜かないください。

### 3 [詳細設定] をクリックし、プルダウンメニューから保存先を選択する

- ・ [保存先] には、Administrator 権限を持つユーザーがあらかじめ設定した保存先が表示されます。
- ・ [USB メモリ保存] を選択した場合、[USB メモリ保存] 画面が表示されます。



ジョブコメントを入力することもできます。



### 4 設定が終わったら [OK] をクリックする 必要に応じて、その他の設定をします。



### 5 印刷画面の [OK] (または [印刷]) をクリックする



- ・ ボックスまたは USB ボックスに保存したジョブは、プリンターモードのボックス画面から呼び出します。(p.76 参照)
- ・ 印刷条件 (プリンタドライバでの設定) も保存されます。

## 画質を調整してプリントする

画像の解像度を設定します。また、インクの使用量や原稿データのサイズについて調整することができます。画質の仕上がりによっても、処理速度の向上やインク使用量を抑えたい場合に設定してください。

- ・ インクの使用量を抑えてプリントする場合、インクが少ない分プリント濃度が薄くなり、中間色に若干のざらつきが出ます。
- ・ 原稿データのサイズを小さくしてプリントする場合、ネットワークの通信速度は向上しますが、中間色に若干のざらつきが出ます。

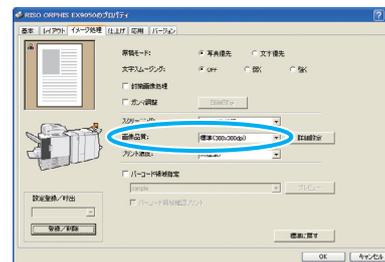
### 1 アプリケーションの印刷画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックする



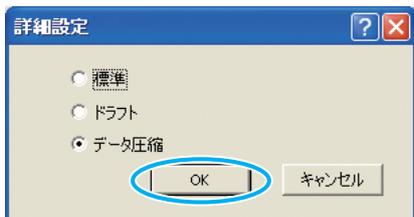
### 2 [イメージ処理] タブをクリックする



### 3 [画像品質] のプルダウンメニューから [標準 (300x300dpi)] を選択する



- 4 [詳細設定] をクリックし、[標準]、[ドラフト] または [データ圧縮] を選択し、[OK] をクリックする



**[標準]**

300x300dpi でプリントします。

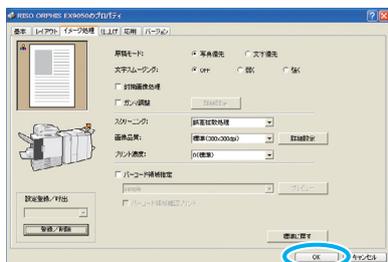
**[ドラフト]**

インクの使用量を抑えてプリントします。

**[データ圧縮]**

データサイズを小さくし、ネットワークの通信速度を向上します。

- 5 設定が終わったら [OK] をクリックする  
必要に応じて、その他の設定をします。



- 6 印刷画面の [OK] (または [印刷]) をクリックする



**よく使う設定を保存する**

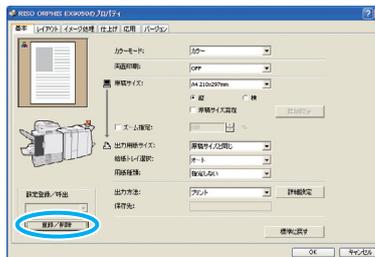
よく使う設定内容を登録して、呼び出して使用できます。その都度設定する手間が省けます。

- 1 アプリケーションの印刷画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックする

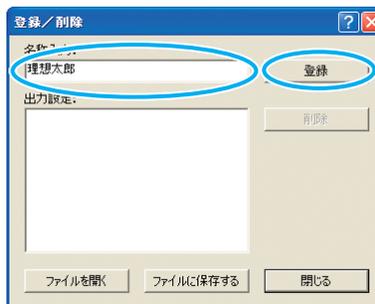


- 2 各タブで、プリントの設定をする

- 3 [登録/削除] をクリックする



- 4 [名称入力] に名称を入力し、[登録] をクリックする



- 登録済みの設定を呼び出す場合は、[設定/呼出] のプルダウンメニューから、呼び出した設定を選択します。
- 呼び出した設定をキャンセルする場合は、[標準に戻す] をクリックします。

## 書類の一部をZ折りにする

サイズが違う原稿をプリントする際、サイズが大きいページのみをZ折りにすることができます。

- この機能は、オプションのマルチフィニッシャーに紙折りユニットが接続されている場合のみ設定できます。
- 使用できる原稿データは、A4とA3サイズ、B5とB4サイズ、LetterとLedgerサイズの組み合わせのみです。
- [基本] タブの [給紙トレイ選択] は、[オート] に設定してください。

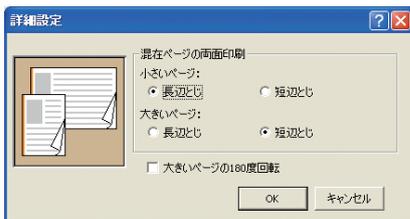
1 アプリケーションの印刷画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックする



2 [基本] タブの [原稿サイズ混在] にチェックを入れる



両面印刷をする場合は、[詳細設定] 画面で用紙の向きを設定します。



3 [仕上げ] タブの [紙折り] のプルダウンメニューから、[Z折] を選択する



必要に応じて、その他の設定をします。

4 印刷画面の [OK] (または [印刷]) をクリックする



## バーコード原稿をプリントする

バーコード部分の印字濃度をバーコードの読み取りに適した仕上がりにする処理方法です。

バーコードの印字領域を指定することで、バーコード部分と他の画像部分とで印刷濃度を変えてプリントすることができます。

バーコード印字部の領域指定は、付属のプリンタドライバ、「バーコード領域指定アプリケーション」で設定することができます。

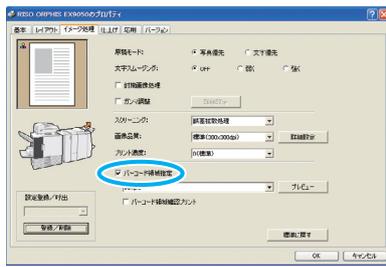
バーコード印刷の流れ、バーコード領域指定アプリケーションの設定、バーコード領域指定ファイルの登録については、「バーコード領域指定アプリケーションを使用する」(p.99) を参照してください。

- バーコード印字機能で指定した領域は、原稿の色に関係なく地色が白、バーコードが黒でプリントされます。
- 原稿を作成したアプリケーションの解像度とプリンタの解像度が異なる設定で出力した場合、この機能を使用しても正しくバーコード読み込みができないことがあります。
- 対象とするバーコードの種類は一次元バーコードです。二次元バーコード (例: QRコード) に対してはこの設定を行う必要はありません。
- バーコードの原稿データは黒 (Kのみ) で作成することをおすすめします。データに他の色を含む場合は、バーコード処理がうまく働かないことがあります。
- バーコードの原稿データが黒であっても、うまく印刷できない場合は、アプリケーションで色変換処理を自動的に実行している可能性があります。アプリケーションの「色変換処理」の設定を確認してください。

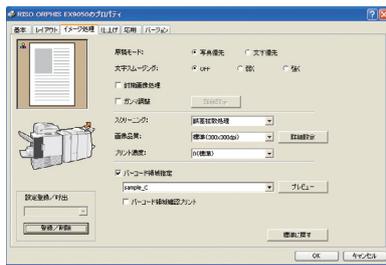
1 アプリケーションの印刷画面で [プロパティ] (または [詳細設定]) をクリックする



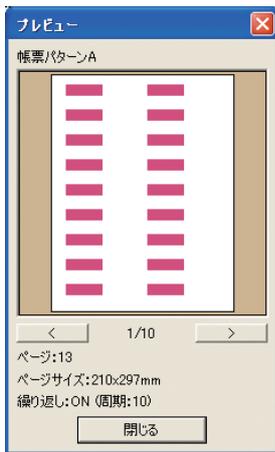
## 2 [イメージ処理] タブの[バーコード領域指定]にチェックを入れる



## 3 [バーコード領域指定]のプルダウンメニューから、プリントしたい領域指定情報を選択する

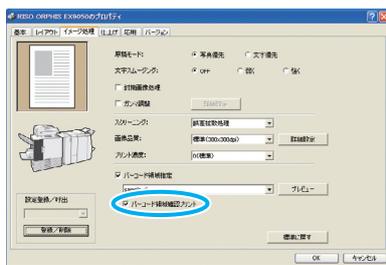


 [プレビュー]をクリックすると選択したバーコード領域指定ファイルの内容を確認することができます。



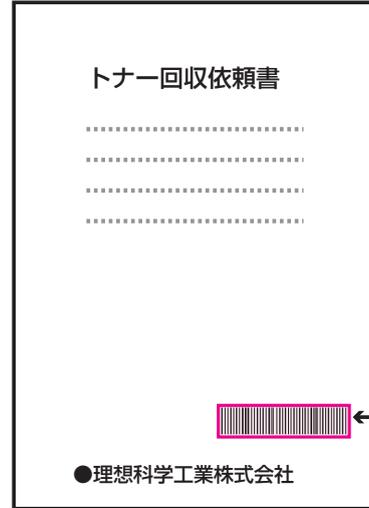
## 4 [バーコード領域確認プリント]にチェックを入れ、[OK]をクリックする

バーコード印字部分に網掛けされたプリントが出力されます。



## 5 指定した領域にズレがないかを確認する

バーコード部分と網掛け部分にズレがないか、および罫線の周囲 1mm に文字・イラストなどがなくを確認してください。



### 正しい指定の仕かた

- バーコードの周囲 1mm 以上の余白がある



- バーコードに対して指定範囲が小さい



- バーコードの位置と指定範囲がズれている



- バーコード以外のもも囲んでいる  
囲んだ枠内のスミ以外の画像は白くなる(消える)



-  指定したバーコードの領域を変更したい場合は、バーコード領域を指定し直してください。(p.99)

## 6 [バーコード領域確認プリント]のチェックをはずし、[OK]をクリックする



## 7 印刷画面の [OK] (または [印刷]) をクリックする

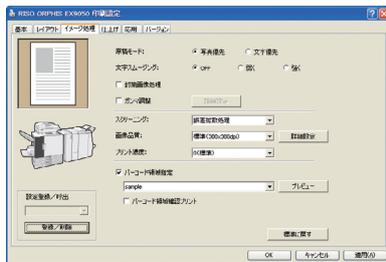


### 設定項目が多い原稿や、使用頻度の高い原稿について

初期値に登録すると、設定を省略して簡単な手順で印刷を行うことができます。

バーコード印刷を例に説明します。

[スタート]メニューの[プリンタとFAX]からEXプリンタのプロパティを表示し、[印刷設定]をクリックします。[イメージ処理]タブでバーコード印刷に必要な各項目を設定し[適用]をクリックします。参照させたバーコード領域指定ファイルが初期値に登録されます。次回からは、プリンタドライバを選択するだけでバーコード印刷を行うことができます。



### 印刷画面の [部単位で印刷] チェックボックスについて

アプリケーションの印刷画面に [部単位で印刷] チェックボックスがある場合は、チェックをはずしてください。部単位で印刷する場合は、[仕上げ] タブの [ソート] を [部ごと] に設定してください。



## プリンター画面でできること (プリンターモード画面)

プリンターモード画面では、ジョブリストからジョブを選択して詳細表示したり、削除やプリントを行うことができます。



- 表示される画面は、接続されているオプションや設定内容により異なります。
- 管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

### 処理中画面



現在処理中および待機中のジョブをリストで表示します。

#### ①ジョブリスト

ジョブ名、状況、オーナー名などを確認することができます。一番上に表示されているジョブが、現在処理中のジョブです。リストの上にあるジョブから順番に処理されます。

#### ②ジョブアイコン

ジョブの種類によって、ジョブ名の左側にアイコンが表示されます。



コピージョブ



暗証番号つきジョブ



破損ジョブ (ジョブデータが壊れているまたは、EX プリンタドライバ以外のファイル形式)

#### ③ HDD 使用量

ハードディスクの使用量を表示します。

#### ④ [全て選択]

リストにあるジョブをすべて選択します。

#### ⑤ [削除]

選択されているジョブを削除します。

#### ⑥ [詳細表示]

選択されているジョブの設定内容を確認することができます。

##### ● 基本画面

用紙やプリントの設定内容を確認できます。



##### ● 設定一覧画面

現在の設定内容を確認できます。



#### [このリストをプリント]

設定内容のリストをプリントします。

## 指示待ち画面



現在指示待ちのジョブをリストで表示します。  
以下の条件のジョブが、[指示待ち] 画面に表示されます。

- ・暗証番号つきジョブ
- ・管理者が [指示待ち] 画面に入るように設定したジョブ
- ・IC カードリーダー接続時（ただし、設定によっては [指示待ち] 画面に入らずに、プリントされる場合があります）

ジョブを選択して [スタート] キーを押すと、ジョブは [処理中] 画面のリストに移行し、その後プリントされます。

### ① [全て選択] [削除] [詳細表示]

「処理中画面」(p.74) を参照してください。

### ② [プリント]

選択されているジョブをプリントします。[プリント] を押すと、ジョブは [処理中] 画面に移行し、その後プリントされます。

 暗証番号付きのジョブの場合は確認画面が表示されます。

## 終了画面



処理が終了したジョブをリストで表示します。

 管理者設定により、ジョブの表示やプリントができない場合があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

### ① [全て選択] [削除]

「処理中画面」(p.74) を参照してください。

### ② [詳細表示]

#### ● 基本画面

用紙やプリントの設定内容を確認や変更ができます。



#### 【画像位置調整】

画像のプリント位置を調整します。

#### 【用紙トレイ】

使用する用紙トレイを設定します。

#### 【プリント濃度】

プリント濃度を設定します。

#### ● 設定一覧画面

現在の設定内容や印刷済みページ数を確認できます。



### ③ [プリント]

「指示待ち画面」を参照してください。

 コピージョブの再プリントはできません。



## ボックス画面



### ① ボックス選択ボタン

現在選択されているボックス名を表示します。ボタンを押すと「ボックス選択」画面が表示され、ボックスを選択できます。



プリントジョブを保存したUSBメモリを本機に接続した場合は、USBボックスが表示されます。



「ボックス選択」画面は、USBボックスが優先して表示されます。スクロールすると、プリンタ本体のボックスが表示されます。

**!** USBメモリは、プリントまたはコピーが終了するまで抜かないでください。

### ② [コピー]

選択されているジョブを、他のボックスにコピーします。

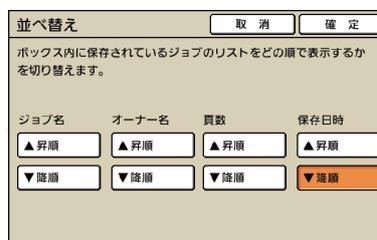


ボックスに保存されているジョブや、USBメモリに保存したプリントジョブ（USBボックスジョブ）をリストで表示します。

ジョブを選択して「スタート」キーを押すと、ジョブは「処理中」画面のリストに表示され、その後プリントされます。

### ③ [並べ替え]

リストに表示されているジョブを、指定した条件で並べ替えます。



### ④ ジョブリスト

ジョブ名、オーナー名、保存日時などを確認することができます。ジョブリストには、選択されているボックス内のジョブが表示されます。

### ⑤ [全て選択] [削除]

「処理中画面」(p.74)を参照してください。

### ⑥ [詳細表示]

#### ● 基本画面

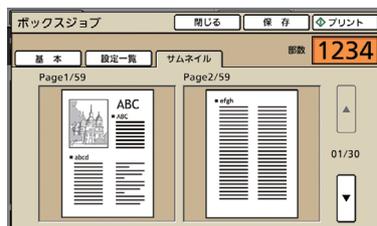
「終了画面」の「詳細表示」(p.75)を参照してください。

#### ● 設定一覧画面

「処理中画面」の「詳細表示」(p.74)を参照してください。

#### ● サムネイル画面

ボックスジョブのイメージを、サムネイルで表示します。



### ⑦ [プリント]

「指示待ち画面」(p.75)を参照してください。

## 外部システムジョブ



### ①ボックス選択ボタン

外部システムジョブが表示されます。ボタンを押すと「ボックス選択」画面が表示され、共有ボックスや、USBボックスジョブを選択できます。

### ②外部システムジョブリスト

ジョブ名、オーナー名、ページ数、保存日時を確認することができます。ジョブリストには、選択されているボックス内のジョブが表示されます。

ログインしているユーザーのプリントジョブ（外部システムジョブ）をリストで表示します。ジョブを選択して「スタート」キーを押すと、ジョブは「処理中」画面のリストに表示され、その後プリントされます。

### ③【金額確認】

選択したジョブの合計金額や、ログインしているユーザーの残金を表示します。

### ④【全て選択】【削除】

「処理中画面」(p.74) を参照してください。

### ⑤【プリント】

選択したジョブをプリントします。暗証番号付きジョブは、指示待ちジョブリストに並びます。

## 機能一覧画面



### 【オンライン】

本機をオンラインで使用するか、オフラインで使用するかを設定します。押すたびに、ON/OFFが切り替わります。OFF（オフライン）に設定した場合は、待機中のジョブがあってもプリントされません。また、パソコンから送信されたデータの受信もできません。

### 【用紙トレイ設定】

用紙トレイの設定内容の確認や変更ができます。詳しくは、「用紙トレイ」(p.48) を参照してください。



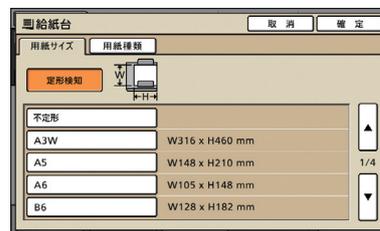
ユーザーが操作できる設定項目を表示します。



プリンターモード以外でも使用する以下の機能は、3章「コピーする」の「機能一覧画面」(p.50～)に記載しています。

- ・ヘッドクリーニング
- ・排紙フェンス調整
- ・排紙ウイング特殊
- ・前扉ロック解除

【用紙トレイ設定】画面で各トレイのボタンを押すと、用紙の詳細を設定することができます。



# ジョブを使ってみよう！

ボックス保存したジョブを操作したり、暗証番号をつけて送信したプリントジョブをプリントしたりできます。また、一度送信したジョブの設定内容を変更したり削除したりすることもできます。



## 基本操作の流れ

プリンターモードを選択する

ジョブを選択する

ジョブの確認・操作をする



- ・表示される画面は、接続されているオプションや設定内容により異なります。
- ・プリンターモードになっていることを確認してください。
- ・管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

## 暗証番号付きのジョブをプリントする

パソコンから暗証番号をつけて送信したプリントジョブをプリントします。

1 [指示待ち画面] でプリントしたいジョブを選択する



2 [プリント] を押す  
または [スタート] キーを押します。



3 確認画面で暗証番号を入力し、[確定] を押す



## ボックスジョブをプリントする

ボックスに保存したジョブをプリントします。USB メモリに保存したプリントジョブをプリントする場合は、本機に USB メモリを接続してください。

1 [ボックス] 画面でボックス選択ボタンを押す



2 [ボックス選択] 画面でジョブが保存されているボックスを選択し、[確定] を押す



### 3 プリントしたいジョブを選択する



### 4 [プリント] を押す または [スタート] キーを押します。



 暗証番号付きのジョブの場合は確認画面が表示されます。  
確認画面で暗証番号を入力し、[確定] を押します。

## 画像の位置を調整してプリントする

用紙にプリントする画像の位置を調整します。

### 1 プリントしたいジョブを選択する



### 2 [詳細表示] を押す



### 3 [画像位置調整] を押す



### 4 画像位置を調整し、[確定] を押す



### 5 [プリント] を押す または [スタート] キーを押します。



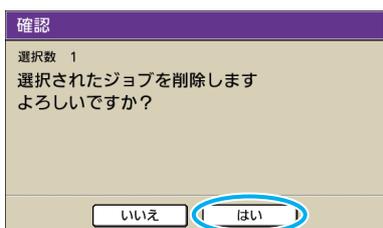
## ジョブを削除する

リストからジョブを削除します。

### 1 削除したいジョブを選択する



### 2 [削除] を押し、確認画面で [[はい] を押す



 暗証番号付きのジョブの場合は暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力し、[確定] を押します。

## 用紙を設定する

用紙トレイの設定内容を変更します。

### 1 [機能一覧] 画面の [用紙トレイ設定] を押す

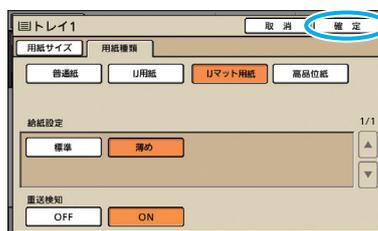


### 2 設定を変更したいトレイのボタンを押す



### 3 [用紙サイズ] [用紙種類] の設定内容を変更し、[確定] を押す

詳しくは、「用紙トレイ」(p.48) を参照してください。



### 4 [閉じる] を押す



# いろいろなコピー機能 を使ってみよう！

コピー機能や面付け機能などを使って用紙を節約したり、小冊子機能を使ってブックレットを作成したりなど、用途に合わせて活用してみましょう。

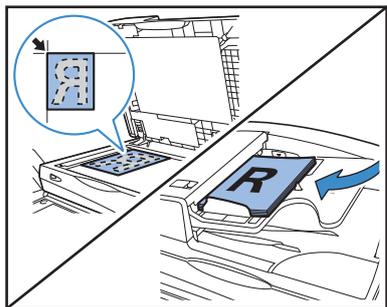


- 表示される画面は、接続されているオプションや設定内容により異なります。
- コピーモードになっていることを確認してください。
- 管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

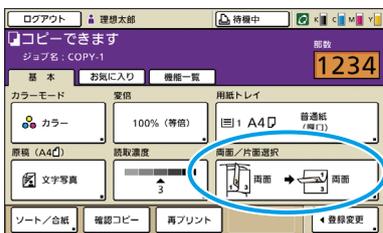
## 両面コピーをする

片面の原稿から両面コピーをしたり、両面の原稿から片面コピーをしたりすることができます。N アップコピーなどの機能と併せて使えば、さらに紙を節約することもできます。

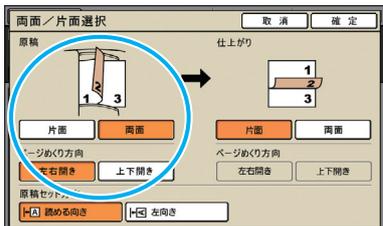
- 1 原稿をセットする  
原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。



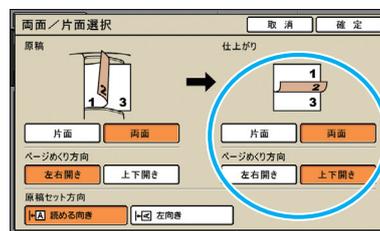
- 2 [基本] 画面の [両面/片面選択] を押す



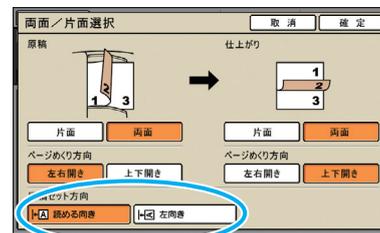
- 3 [原稿] [ページめくり方向] を設定する  
原稿の状態を設定します。



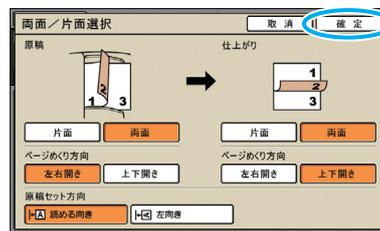
- 4 [仕上がり] [ページめくり方向] を設定する  
仕上がりの状態を設定します。



- 5 [原稿セット方向] を設定する



- 6 [確定] を押す



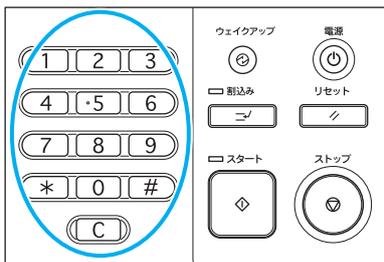
- 必要に応じて、その他のコピー設定をします。

3

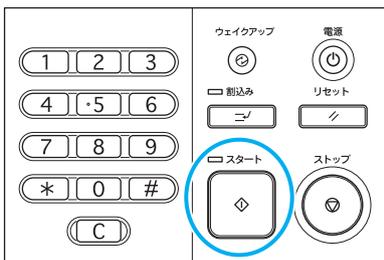


## 7 コピー部数を入力する

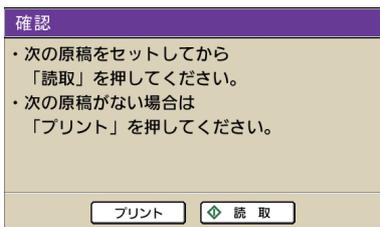
テンキーを使って入力します。



## 8 [スタート] キーを押す



原稿台ガラス使用時は、次の原稿を読み取るかどうかの確認画面が表示される場合があります。



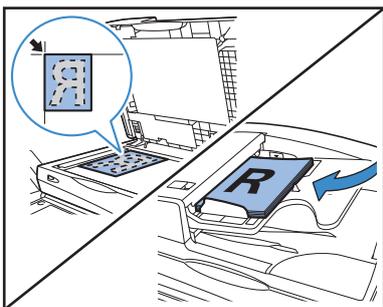
次の原稿をセットし、[読取] を押します。すべての原稿の読み取りが終わったら [プリント] を押します。

## 面付けコピーをする

複数枚の原稿を1枚にまとめてコピーしたり、同じ原稿を1ページに複数面コピーしたりすることができます。両面コピーなどの機能と併せて使えば、さらに紙を節約することもできます。

### 1 原稿をセットする

原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。



### 2 [機能一覧] 画面の [面付け] を押す



### 3 面付けの処理方法と [面数] を設定する



### 4 [面付け順序] を設定する



❗ 手順3で [連写] を選択した場合は、[面付け順序] ボタンは表示されません。

### 5 [原稿セット方向] を設定する



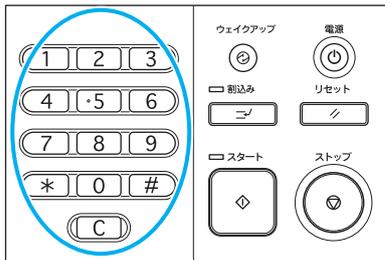
### 6 [確定] を押す



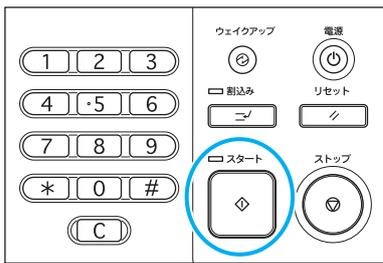
✍ 必要に応じて、その他のコピー設定をします。

## 7 コピー部数を入力する

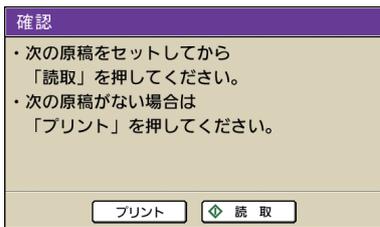
テンキーを使って入力します。



## 8 [スタート] キーを押す



原稿台ガラス使用時は、次の原稿を読み取るかどうかの確認画面が表示される場合があります。



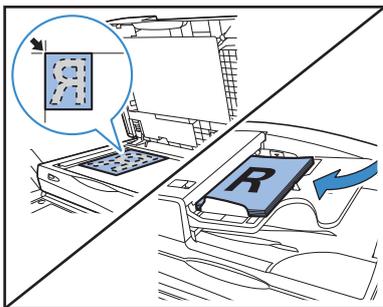
次の原稿をセットし、「読取」を押します。すべての原稿の読み取りが終わったら「プリント」を押します。

### 小冊子を作る

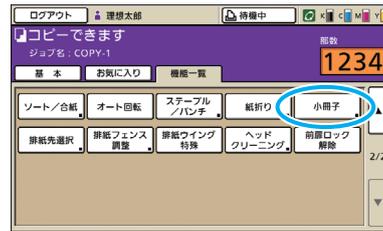
自動でページを面付けして、小冊子状にコピーします。また、オプションのマルチフィニッシャー M が接続されている場合、ステープルや紙折りもあわせて設定できます。

## 1 原稿をセットする

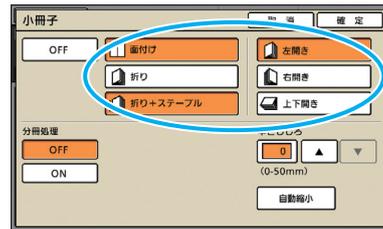
原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。



## 2 [機能一覧] 画面の [小冊子] を押す



## 3 小冊子の処理方法とページめくり方向を設定する



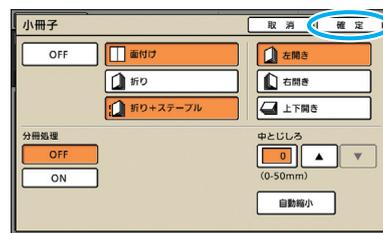
❗ オプションのマルチフィニッシャー M が接続されていない場合は、「折り」「折り+ステープル」は表示されません。

## 4 [分冊処理]、[中とししろ] を設定する



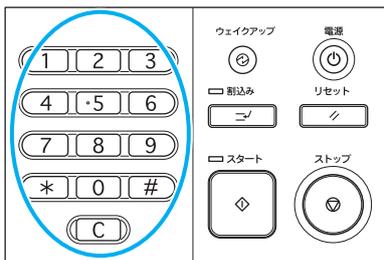
❗ 手順3の処理方法で「面付け」のみを選択した場合は、「分冊処理」は設定できません。

## 5 [確定] を押す

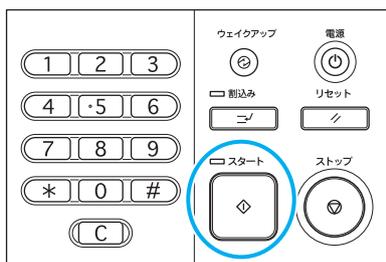


📝 必要に応じて、その他のコピー設定をします。

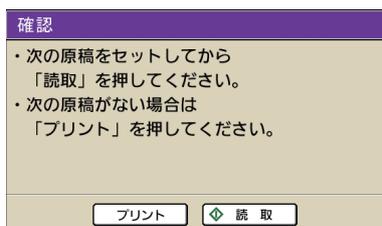
## 6 コピー部数を入力する テンキーを使って入力します。



## 7 [スタート] キーを押す



原稿台ガラス使用時は、次の原稿を読み取るかどうかの確認画面が表示される場合があります。



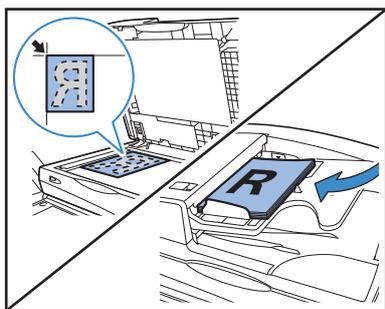
次の原稿をセットし、「読取」を押します。すべての原稿の読み取りが終わったら「プリント」を押します。

## ソートコピーをする

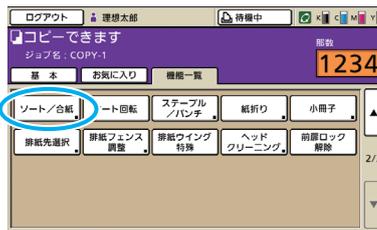
ソート機能を使えば、コピーした用紙を素早く仕分けすることができます。また、コピーの間に合紙を挿入することもできます。

### 1 原稿をセットする

原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。



### 2 [機能一覧] 画面の [ソート/合紙] を押す



### 3 [ソート] を設定する



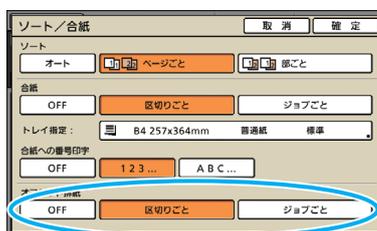
⚠️ [オート] を設定すると、オートフィーダー使用時は [部ごと]、原稿台ガラス使用時は [ページごと] にソートされます。

### 4 [合紙] を設定する



⚠️ 合紙を挿入する場合は、あらかじめ合紙を用紙トレイまたは給紙台にセットしておく必要があります。

### 5 [オフセット排紙] を設定する



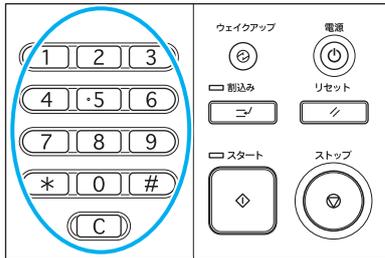
⚠️ オプションのマルチフィニッシャー、オフセットステーブルトレイ、大容量排紙ユニットが接続されていない場合は、これらのボタンは表示されません。

## 6 [確定] を押す

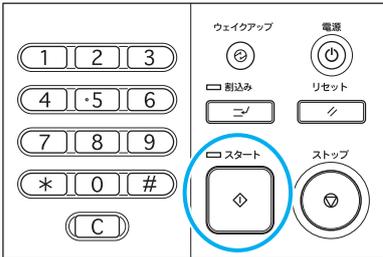


必要に応じて、その他のコピー設定をします。

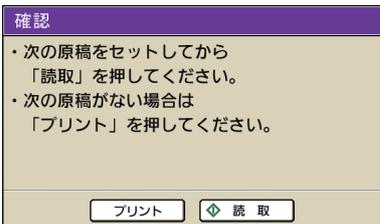
## 7 コピー部数を入力する テンキーを使って入力します。



## 8 [スタート] キーを押す



原稿台ガラス使用時は、次の原稿を読み取るかどうかの確認画面が表示される場合があります。

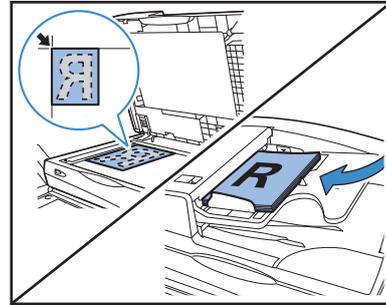


次の原稿をセットし、[読取] を押します。すべての原稿の読み取りが終わったら [プリント] を押します。

## 確認コピーをする

大量にコピーする前に、1部だけコピーして仕上がりや設定内容を確認することができます。

**1** 原稿をセットする  
原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。

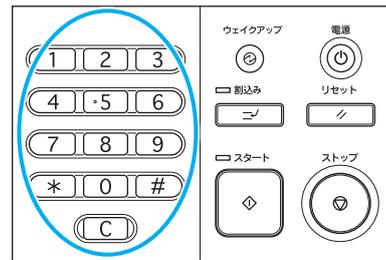


**2** コピーの設定をする

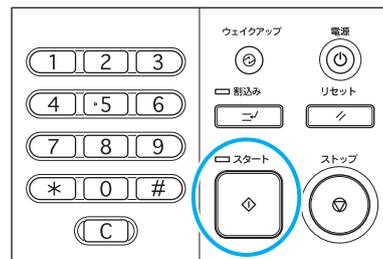
**3** [機能一覧] 画面の [確認コピー] を押す



**4** コピー部数を入力する  
テンキーを使って入力します。

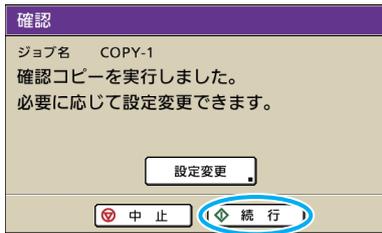


**5** [スタート] キーを押す



1部だけコピーされます。仕上がりを確認します。

6 確認画面が表示されたら、[続行] を押す  
設定しないう場合は、[設定変更] を押します。

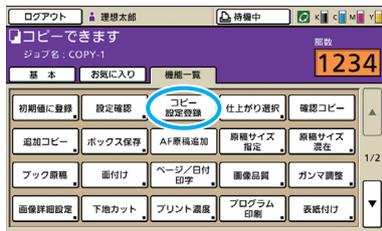


## よく使う設定を保存する

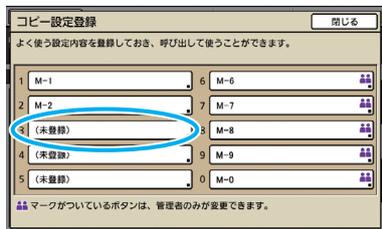
よく使う設定内容を登録して、呼び出して使用できます。その都度設定する手間が省けます。

1 コピーの設定をする

2 [機能一覧] 画面の [コピー設定登録] を押す



3 [未登録] のボタンを押す

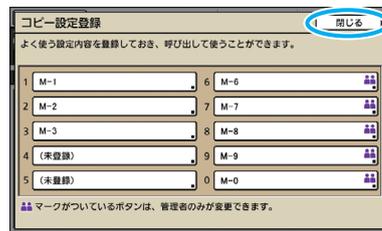


4 [設定登録] 画面で設定内容を確認し、[登録] を押す



- 登録するボタン名称を変更したい場合は、[名称変更] を押して設定します。
- [この設定を全ユーザーで共有する] は、管理者権限を持つユーザーがログインしたときのみ表示されます。
- ログインが必要な環境の場合は、現在の設定値を確認後、初期値として登録することができます。

5 [閉じる] を押す



# いろいろなスキャン機能 を使ってみよう！

便利な機能の使いかた>いろいろなスキャン機能を使ってみよう！

スキャンジョブに暗証番号をつけて、他人に見られないようにしたり、スキャンデータにセキュリティを設定したりと、便利な機能が満載です。用途に合わせていろいろな機能を組み合わせて使ってみましょう。



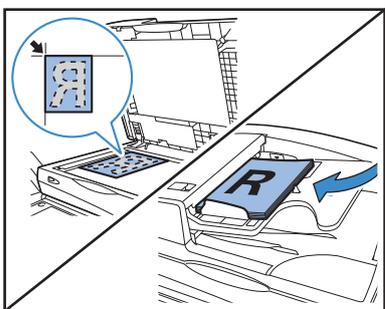
- 表示される画面は、接続されているオプションや設定内容により異なります。
- スキャナーモードになっていることを確認してください。
- 管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

## パソコンで使える形式で保存する

スキャナーで読み取ったデータをパソコンで使える形式で保存します。本機内蔵のハードディスクやネットワークでつながっているパソコン、接続している USB メモリなどに保存できます。

- 本機のご使用により、本機内蔵ハードディスクや USB メモリのデータが損なわれても、当社では一切の責任を負いかねます。データ保護のために、事前にバックアップを取ることをおすすめします。

- 1 原稿をセットする  
原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。

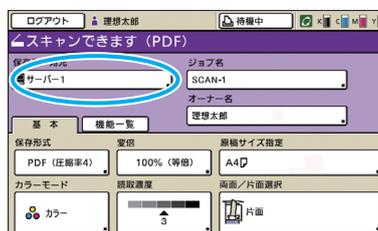


- 2 確認画面で [パソコンで使える形式] を選択し、[確定] を押す  
ファイル形式も同時に選択できます。



- 管理者設定により、この画面が表示されない場合もあります。

- 3 [保存先/宛先] を押す



- USB メモリに保存する場合は、USB メモリを接続してください。

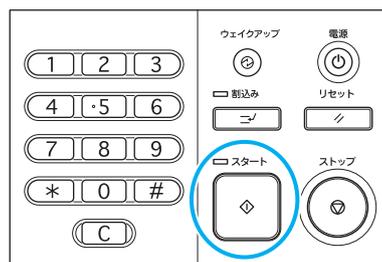
- 4 [保存先] 画面で保存先を選択し、[確定] を押す



- ネットワーク上のコンピュータは、あらかじめ登録しておく必要があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

- 5 必要に応じて、その他のスキャン設定をする

- 6 [スタート] キーを押す



3

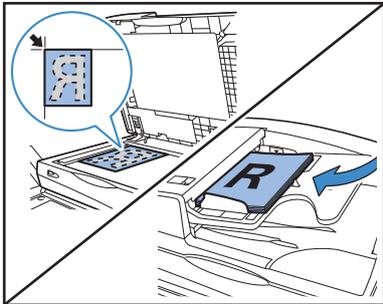


## スキャンデータをメールに添付する

スキャンしたデータをメールに添付して送信できます。

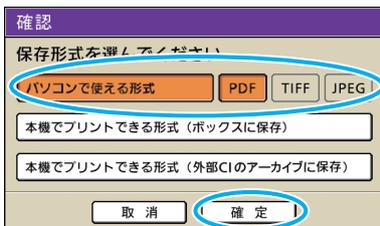
### 1 原稿をセットする

原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。



### 2 確認画面で【パソコンで使える形式】を選択し、【確定】を押す

ファイル形式も同時に選択できます。



⚠ 管理者設定により、この画面が表示されない場合もあります。

### 3 【保存先/宛先】を押す



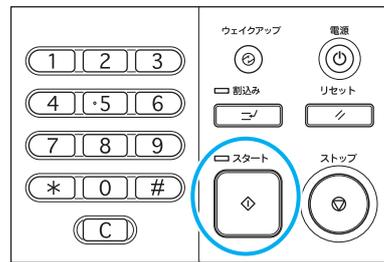
### 4 【メール宛先】画面で送付先を選択し、【確定】を押す

リストに宛先がない場合は、直接入力もできます。



### 5 必要に応じて、その他のスキャン設定をする

### 6 【スタート】キーを押す



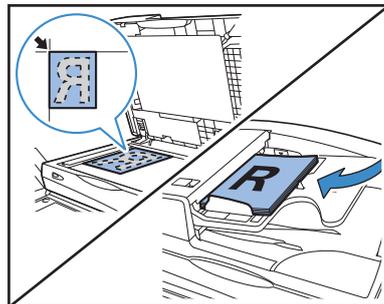
## スキャンジョブに暗証番号をつける

スキャンジョブを本機内蔵のハードディスクに保存するときに、暗証番号をつけることができます。保存したジョブは暗証番号を入力しないと操作できないため、他人に見られたくない場合などに安心です。

⚠ 【保存先/宛先】が本機内蔵ハードディスク以外に設定されている場合は、この機能は使えません。

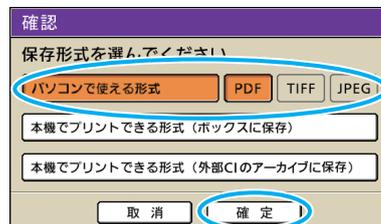
### 1 原稿をセットする

原稿台ガラスまたはオートフィーダーに原稿をセットします。



### 2 確認画面で【パソコンで使える形式】を選択し、【確定】を押す

保存形式も同時に選択できます。



⚠ 管理者設定により、この画面が表示されない場合もあります。

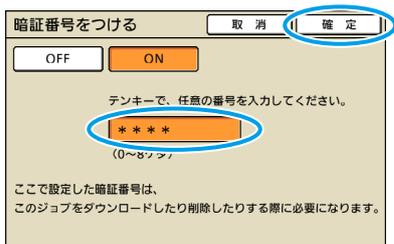
### 3 スキャンの設定をする

## 4 [機能一覧] 画面の [暗証番号をつける] を押す

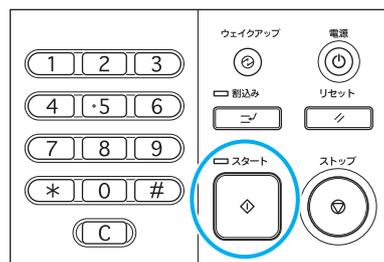


## 5 [暗証番号をつける] 画面が表示されたら、暗証番号を入力し、[確定] を押す

0~8桁の半角数字で設定します。



## 6 [スタート] キーを押す



### スキャンデータのセキュリティについて

スキャンジョブを保存するときに設定できるセキュリティは、パスワードによる方法と、暗証番号による方法の2種類があります。それぞれ以下の特徴がありますので、目的に合わせて設定してください。

		保存先	
		内蔵ハードディスク	USBメモリ ネットワーク上のコンピュータ メール
パスワード	PDF	○	○
	TIFF	×	×
	JPEG	×	×
暗証番号	PDF	○	×
	TIFF	○	×
	JPEG	○	×

#### パスワードによるセキュリティ

すべての保存先に対応し、PDF形式で保存するスキャンデータにのみ設定できます。スキャンデータの閲覧や改ざんを防ぐことができます。スキャンデータ自体にパスワードが設定されるので、パソコンで閲覧するたびにパスワードの入力が必要になります。

#### 暗証番号によるセキュリティ

すべての保存形式に対応し、内蔵ハードディスクに保存するスキャンデータにのみ設定できます。RISOコンソールを使用したパソコンへのダウンロードを制限することができます。スキャンデータ自体に暗証番号は設定されないため、パソコンにダウンロードした後のスキャンデータの操作には、暗証番号は必要ありません。

## コンソール画面でできること (コンソール画面)

本機をネットワークに接続すると、ウェブブラウザを使って本機の状態や設定を確認することができます。ここではコンソール画面について説明します。



- 表示される画面は、ご使用の OS および接続されているオプションにより異なります。
- 本機がネットワークに接続されていることを確認してください。
- 管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。
- 対応ブラウザ
  - Microsoft Internet Explorer Ver. 6.0 (SP1 以上)
  - Windows Internet Explorer Ver. 7.0
  - Windows Internet Explorer Ver. 8.0
  - Windows Internet Explorer Ver. 10.0
  - Windows Internet Explorer Ver. 11.0
  - Microsoft Edge
- 画面左側に  が表示されている場合は、本機の情報取得中です。
- 省電力の設定により、RISO コンソール画面が表示されないことがあります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

## ユーザーログイン



ログインが必要な画面にアクセスする場合、ログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

## モニタリング

本機の設定内容や状況を表示します。

### ● [一般情報]

用紙の設定内容や、インク残量、プリンターの状態を表示します。



### ● [システム情報]

本機のシリアル番号、MAC アドレス、ファームバージョンなどを表示します。



● [ユーザー情報]

現在ログインしているユーザーの情報を表示します。パスワードを変更することもできます。

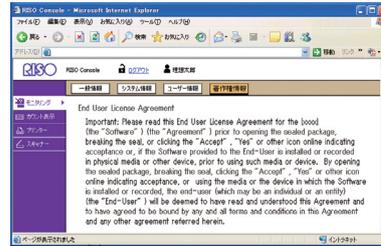


ログインが不要な環境では、この画面は表示されません。



● [著作権情報]

本製品で使用されているシステムの著作権情報を表示します。

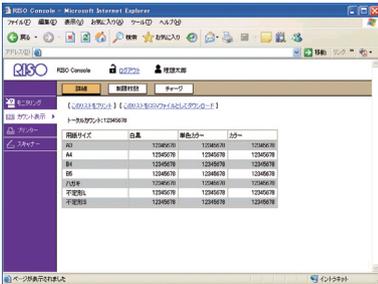


カウント表示

本機でプリントした枚数を表示します。

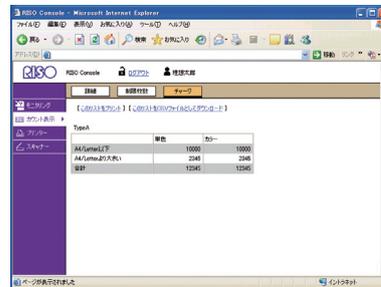
● [詳細]

用紙サイズ別やカラー別に、プリント枚数を表示します。必要な場合は、プリントしたり CSV 形式でダウンロードしたりできます。



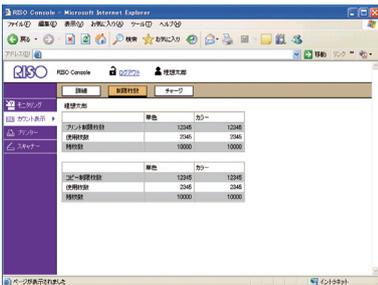
● [チャージ]

ORPHIS EX7250A をご使用の場合に、表示します。



● [制限枚数]

コピーまたはプリントの制限枚数、使用枚数、残枚数を表示します。



- [制限枚数] は、ログインしているユーザーにコピーまたはプリント枚数制限が設定されている場合にのみ表示されます。
- 管理者の設定により画面表示は異なります。

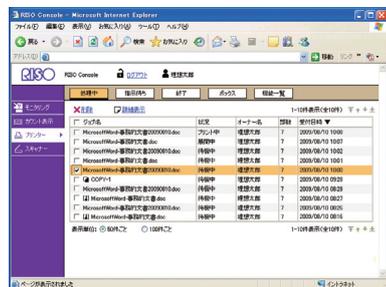


## プリンター

処理中や指示待ちのジョブリストや、機能一覧を表示します。

### ● [処理中]

現在処理中および待機中のジョブを表示します。



### [削除]

チェックボックスにチェックがついているジョブを削除します。

### [詳細表示]

チェックボックスにチェックがついているジョブの詳細情報を表示します。

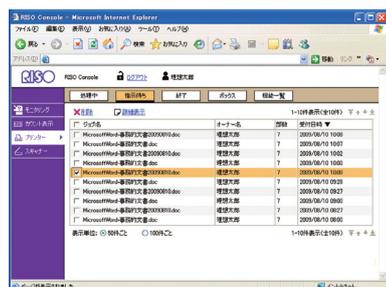


### ● [指示待ち]

指示待ちのジョブを表示します。



コンソールから、指示待ちジョブをプリントすることはできません。本機のタッチパネルから操作してください。

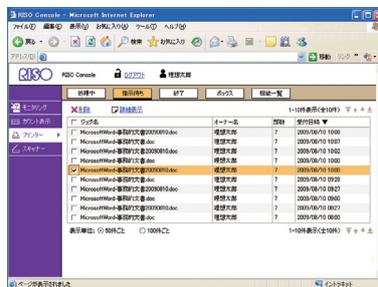


### [削除] [詳細表示]

[処理中] を参照してください。

### ● [終了]

処理が終了したジョブを表示します。

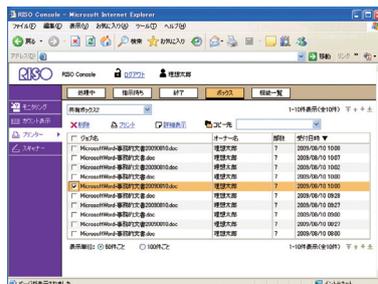


### [削除] [詳細表示]

[処理中] を参照してください。

### ● [ボックス]

ボックスに保存されているジョブを表示します。画面左上のプルダウンメニューから、使用するジョブの入っているボックスを選択します。



### [プリント]

チェックボックスにチェックがついているジョブをプリントします。

### [コピー先]

チェックボックスにチェックがついているジョブを他のボックスにコピーする場合、プルダウンメニューからコピー先を選択します。

### [削除] [詳細表示]

[処理中] を参照してください。

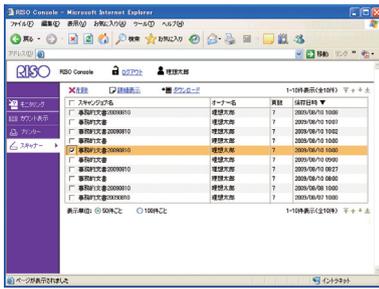
### ● [機能一覧]

機能一覧を表示します。



## スキャナー

本機内蔵ハードディスクに保存されている、スキャンジョブを表示します。



### 【ダウンロード】

チェックボックスにチェックがついているジョブをパソコンにダウンロードします。

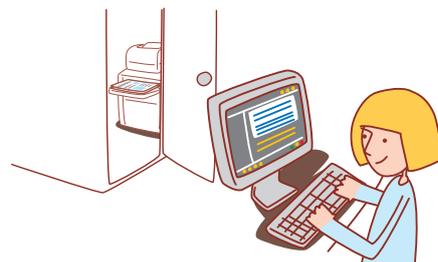
### 【削除】 【詳細表示】

「プリンター」の「処理中」(p.92) を参照してください。



# コンソールを 使ってみよう！

コンソールでアクセスすれば、わざわざ本機のある場所まで行かなくても、パソコンから本機の状態や設定内容を確認したり、ジョブを操作したりすることができます。



## 基本操作の流れ

ウェブブラウザを  
立ち上げる

本機の IP アドレスを  
入力する

ジョブの確認・設定・  
操作をする



- ・表示される画面は、接続されているオプションや設定内容により異なります。
- ・本機がネットワークに接続されていることを確認してください。
- ・管理者の設定により、表示されない設定項目があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。
- ・省電力の設定により、RISO コンソール画面が表示されないことがあります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

## コンソールを立ち上げる

1 ウェブブラウザを立ち上げる

2 IP アドレスを入力する  
アドレスバーに本機の IP アドレスを入力し、[Enter] キーを押します。



コンソールが起動し、モニタリング画面が表示されます。

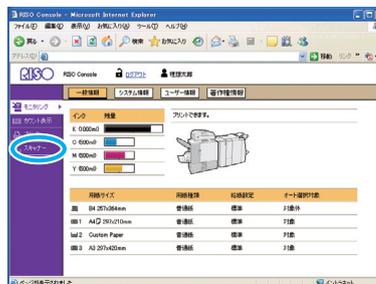


IP アドレスは、操作パネルの【状態確認】 - 【システム情報】画面で確認できます。

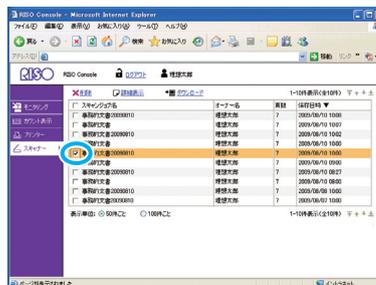
## スキャンした画像をダウンロードする

本機内蔵ハードディスクに保存したスキャンジョブを、パソコンにダウンロードします。

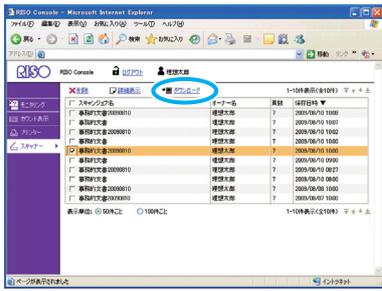
1 【スキャナー】をクリックする



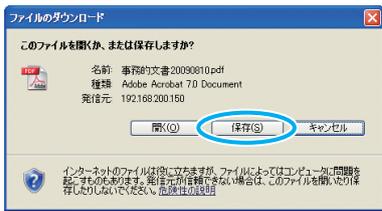
2 ダウンロードしたいジョブにチェックを入れる



### 3 [ダウンロード] をクリックする



### 4 [保存] をクリックする



### 5 保存先のフォルダ、ファイル名を指定して [保存] をクリックする



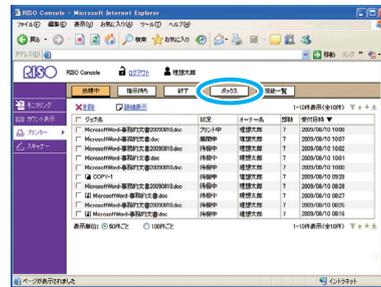
## ボックスジョブをプリントする

ボックスに保存したジョブを、プリントします。

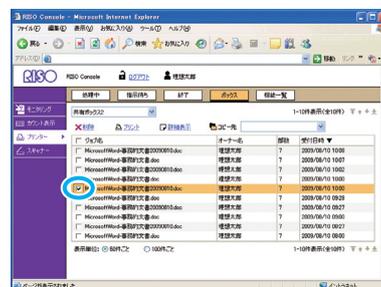
### 1 [プリンター] をクリックする



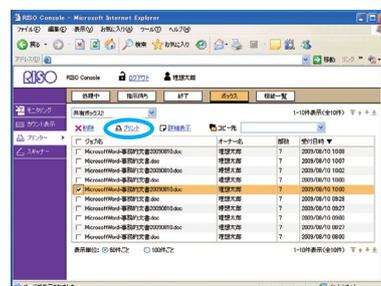
### 2 [ボックス] をクリックする



### 3 プリントしたいジョブにチェックを入れる

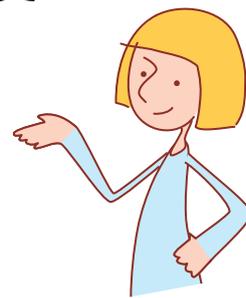


### 4 [プリント] をクリックする



## こんなことも できます一覧

本機の機能は組み合わせにより、さらに便利に活用することができます。下の一覧から機能を組み合わせ、あなただけの最適な方法を見つけてください。



### 操作の流れ プリンタドライバ編

#### 用紙の両面にプリントする 両面印刷 (p.42)



[基本] タブ ▶ [両面印刷] にて詳細選択 ▶ [OK]

#### 画像を回転する 画像回転 (p.43)



[レイアウト] タブ ▶ [画像回転] にて詳細選択 ▶ [OK]

#### プリントする位置を調整する 画像位置調整 (p.43)



[レイアウト] タブ ▶ [画像位置調整] ▶ [詳細設定] にて詳細選択 ▶ [OK]

#### プリントの濃さを調整する プリント濃度 (p.43)



[イメージ処理] タブ ▶ [プリント濃度] にて詳細選択 ▶ [OK]

#### 透かしのスタンプをつけてプリントする ウォーターマーク (p.45)



[応用] タブ ▶ [ウォーターマーク] ▶ [詳細設定] にて詳細選択 ▶ [OK]

#### ページ番号や日付をつけてプリントする ページ/日付印字 (p.45)



[応用] タブ ▶ [ページ/日付印字] ▶ [詳細設定] にて詳細選択 ▶ [OK]

#### ジョブ名をつけてプリントする ジョブ名 (p.45)



[応用] タブ ▶ ジョブ名 ▶ テキスト入力 ▶ [OK]

#### 小冊子を作る 小冊子製本 (p.44)



[仕上げ] タブ ▶ [小冊子製本] ▶ [詳細設定] にて詳細選択 ▶ [OK]

#### ステープル/パンチをしてとじる ステープル/パンチ (p.44)



[仕上げ] タブ ▶ [とじ位置] にて詳細選択 ▶ [ステープル] / [パンチ] にて詳細選択 ▶ [OK]

## 操作の流れ コピー／スキャナー編

### 読み取った原稿のデータを本機に保存する ボックス保存 (p.51)

[機能一覧] 画面 ▶ [ボックス保存] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ [スタート] キー

### 直前にコピーしたジョブを再度コピーする 追加コピー (p.51)

[機能一覧] 画面 ▶ [追加コピー] ▶ 設定変更 ▶ コピー部数入力 ▶ [実行]

### コピーに表紙をつける 表紙付け (p.54)

表紙用紙をセットする ▶ [機能一覧] 画面 ▶ [表紙付け] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ コピー部数入力 ▶ [スタート] キー

### 画質を調整する 画像品質 (p.53)

[機能一覧] 画面 ▶ [画像品質] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ コピー部数入力 ▶ [スタート] キー

### 用意された設定の中から仕上がりを選択する 仕上がり選択 (p.51)

[機能一覧] 画面 ▶ [仕上がり選択] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ コピー部数入力 ▶ [スタート] キー

### コピーを指定の形に折って出力する 紙折り (p.55)



[機能一覧] 画面 ▶ [紙折り] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ コピー部数入力 ▶ [スタート] キー

### ステープル／パンチをしてとじる ステープル／パンチ (p.55)



[機能一覧] 画面 ▶ [ステープル／パンチ] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ コピー部数入力 ▶ [スタート] キー

### プリント濃度を調整する プリント濃度 (p.54)

[機能一覧] 画面 ▶ [プリント濃度] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ コピー部数入力 ▶ [スタート] キー

### スタンプ (画像) やテキストをつけてコピーする オーバーレイ (p.56)

オーバーレイ画像を [ボックス保存] する ▶ [機能一覧] 画面 ▶ [オーバーレイ] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ コピー部数入力 ▶ [スタート] キー

### スキャンする画像のファイル形式、圧縮率、解像度を設定する 保存形式 (p.60)

[基本] 画面 ▶ [保存形式] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ [スタート] キー

### サイズがばらばらの原稿を一度に読み取る 原稿サイズ混在 (p.52)

オートフィーダーに原稿をセットする ▶ [機能一覧] 画面 ▶ [原稿サイズ混在] ▶ [スタート] キー



### 原稿の下地の色を薄くしてスキャンする 下地カット (p.54)

[機能一覧] 画面 ▶ [下地カット] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ [スタート] キー

### スキャンする画像のイメージを拡大／縮小する 変倍 (p.47、p.61)

[基本] 画面 ▶ [変倍] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ [スタート] キー

### スキャンするジョブにジョブ名／オーナー名をつける ジョブ名 オーナー名 (p.60)

[基本] 画面 ▶ [ジョブ名] [オーナー名] ▶ ジョブ名／オーナー名入力 ▶ [確定] ▶ [スタート] キー

### 両面の原稿をスキャンする 両面／片面選択 (p.81)

[基本] 画面 ▶ [両面／片面選択] にて詳細選択 ▶ [確定] ▶ [スタート] キー

### スキャンした PDF データのセキュリティを強化する パスワードによるセキュリティ (p.60)

[基本] 画面 ▶ [保存形式] ▶ [保存形式] 画面 ▶ [パスワードによるセキュリティ] ▶ [パスワードによるセキュリティ] 画面 ▶ [ユーザーパスワード] / [オーナーパスワード] にて詳細設定 ▶ [確定] ▶ [スタート] キー

**バーコード領域指定**

**アプリケーションを使用する**



# バーコードアプリについて

本章で説明する「バーコードアプリ」は、バーコードの読み取りに適した仕上がりにするために、バーコード印字位置の位置情報を指定する ORPHIS EX シリーズ専用のアプリケーションソフトウェアです。

バーコードアプリでは、プリンタドライバに登録する「バーコード領域指定ファイル (CSV形式)」を作成します。



## バーコード印刷の流れ

バーコードアプリをインストールする (初回のみ)

バーコードアプリを使用する (バーコード領域指定ファイルを作成する)

作成したバーコード領域指定ファイルをプリンタドライバに登録する

バーコードを印刷する

## バーコードアプリのインストール

- Administrator 権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 起動しているアプリケーションはすべて終了してください。

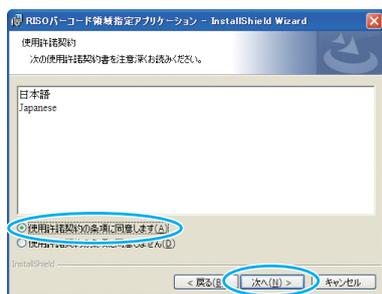
1 パソコンの CD-ROM ドライブに、付属の RISO Printer Driver CD-ROM をセットする

2 CD-ROM 内の [Barcode Area Definition Software] フォルダを開き、「Setup.exe」ファイルをダブルクリックする

3 [次へ] をクリックする



4 [使用許諾契約の条項に同意します] を選択し、[次へ] をクリックする

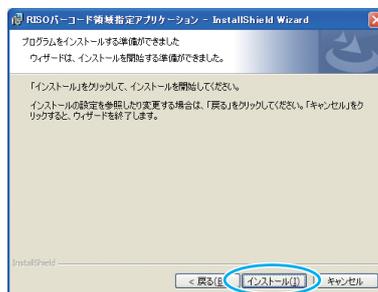


5 インストール先を確認し、[次へ] をクリックする



- インストール先を変更する場合は、[変更] をクリックした後、[インストール先フォルダの変更] 画面でインストール先を選択してください。

6 [インストール] をクリックする



インストールが始まります。

## 7 [完了]をクリックする



インストールが完了すると [Readme] 画面が表示されます。ご使用にあたっての注意事項が記載されています。必ずお読みください。

## 8 パソコンから CD-ROM を取り出す

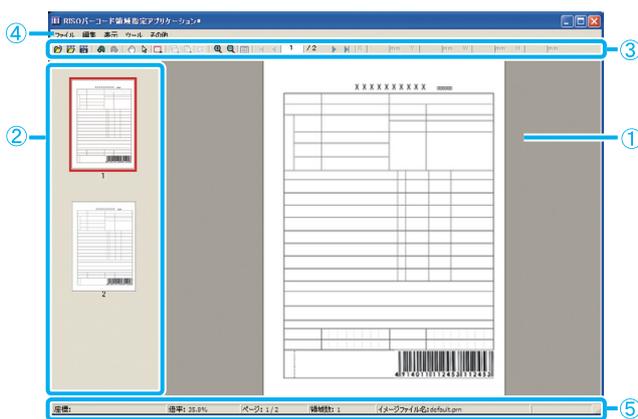
取り出した CD-ROM は、大切に保管してください。

### バーコードアプリの起動

1 [スタート]-[すべてのプログラム]-[RISO]-[RISO バーコード領域指定アプリケーション] をクリックする  
メイン画面が表示されます。

Windows 8 / Windows 8.1 の場合は、「アプリ」画面を開き、[RISO]-[RISO バーコード領域指定アプリケーション] の順に選択します。

#### ● 「メイン画面」について



	ボタン名/項目名	機能
①	イメージ/バーコード領域表示	印刷イメージを表示します。
②	サムネイル	印刷イメージをサムネイル表示します。
③	編集ツール	編集ツールを使ってバーコード領域を指定します。
④	メニューバー	各メニューに編集機能や設定項目があります。
⑤	ステータスバー	位置(座標)、表示倍率、ページ数などの詳細情報を表示します。

#### ● 「編集ツール」の使い方

バーコード領域を編集するときは、印刷イメージエリアを選択状態にしてから、各編集ツールを使って行います。編集するには、以下のアイコンをクリックして操作します。

アイコン	名前	機能
	印刷イメージを開く	選択した印刷ファイルを開き、イメージを表示します。
	CSV ファイルを開く	選択した CSV ファイルを開きます。
	上書き保存	現在使用している CSV ファイルを上書き保存します。
	元に戻す	直前の編集を取り消し、元の状態に戻します。
	やり直し	直前に取り消した編集をやり直します(やり直し範囲は直近の 10 回まで可能です)。



アイコン	名前	機能
	ハンドツール	印刷イメージ上をドラッグすると、表示位置を変更できます。
	領域選択ツール	バーコード領域を選択状態にします。Ctrl キーを押しながらバーコード領域を選択すると、複数選択することができます。
	領域作成ツール	囲んだエリアにバーコード印字処理を行います（バーコード領域を指定します）。
	コピー	選択したバーコード領域をコピーします。
	貼り付け	コピーしたバーコード領域を他のエリアに貼り付けます。
	削除	選択したバーコード領域を削除します。
	ズーム機能（拡大表示）	表示されている画面の中心を起点として、拡大します。
	ズーム機能（縮小表示）	表示されている画面の中心を起点として、縮小します。
	ズーム機能（全体縮小表示）	変倍時は、ページ全体が表示されます。
	最初へ移動	印刷イメージを最初のページへ移動します。
	前へ移動	印刷イメージを 1 つ前のページへ移動します。
	次へ移動	印刷イメージを 1 つ後ろのページへ移動します。
	最後へ移動	印刷イメージを最後のページに移動します。
	移動	印刷イメージを入力した任意のページへ移動します。
X <input type="text"/> mm Y <input type="text"/> mm W <input type="text"/> mm H <input type="text"/> mm	領域微調整ツール (X / Y / W / H)	選択したエリアの座標情報 (X / Y) および、領域サイズ情報 (W / H) を表示単位形式 (mm / inch) で表示します。 ボックスに任意の数値を入力すると、指定の位置やサイズにエリアを変更します。



上記のアイコンの機能は、メニューバーから選択することもできます。

●「メニューバー」について

[ファイル][編集][表示][ツール][その他]から構成されます。各メニューに、編集機能や設定に関する項目があります。以下で、編集ツール（アイコン）にはない機能を補足しています。

メニューバー	機能名	機能
ファイル	CSV ファイルをクリア	表示しているバーコード領域を消去します。
	名前を付けて保存	開かれているファイルを別名で保存します。
	ページ設定	バーコード作成エリアのページサイズを設定します。
編集	繰り返し	同じバーコードの領域指定を、繰り返して指定することができます。周期の指定は、1～999 ページで設定できます。
表示	右へ 90° 回転	画面上の印刷イメージを右へ 90° 回転します。
	左へ 90° 回転	画面上の印刷イメージを左へ 90° 回転します。
	表示単位	バーコード領域指定ページで表示する単位を指定します。
	サムネイル	サムネイルの表示/非表示を切り替えます。
	ステータスバー	ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
	ツールバー	ツールバーの表示/非表示を切り替えます。
その他	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

バーコード領域指定ファイルの作成

原稿を開いて、プリンタドライバで PRN ファイルを出力します。バーコードアプリで PRN ファイルを開き、バーコード領域指定ファイル（CSV 形式）を作成します。

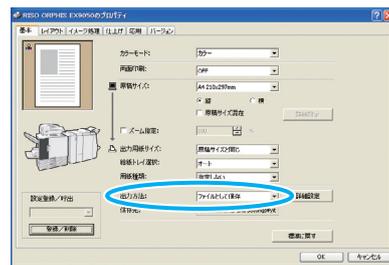
1 アプリケーションの印刷画面で [プロパティ]（または [詳細設定]）をクリックする



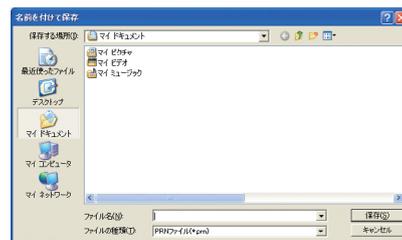
2 [基本] タブをクリックする



3 [出力方法] のプルダウンメニューから [ファイルとして保存する] を選択する



4 [詳細設定] をクリックし、保存先を指定する



5 設定が終わったら、[OK] をクリックする

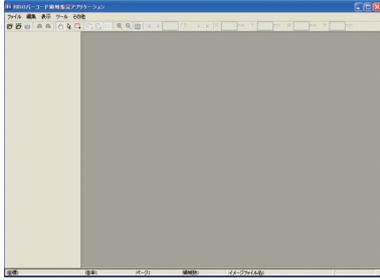
指定した保存先にプリント形式ファイルが作成されます。

**!** プリンタドライバの設定は、[出力方法] を除き、実際に印刷するときと同じ設定にしてください。PRN ファイル形式と実際の印刷時の設定（原稿サイズ / 印刷の向き / 出力用紙サイズ / 面付けなど）が異なると、バーコード領域指定が正しく反映されないことがあります。レイアウトに関わる設定を変更した場合、領域の座標も変わります。

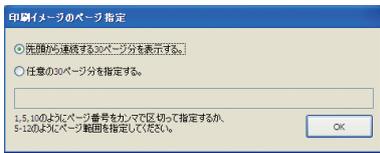


## 6 バーコードアプリを起動する

[スタート] - [すべてのプログラム] - [RISO] - [RISO  
バーコード領域指定アプリケーション] をクリックしま  
す。



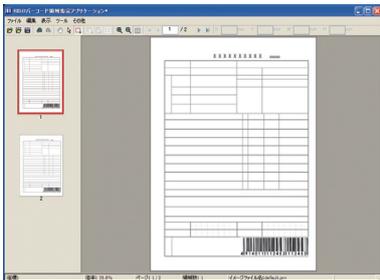
## 7 手順5で保存したファイルをバーコードアプリで開く



読み込みページ数を指定します (30 ページ連続で読み  
込むか、任意でページ指定するかを設定します)。

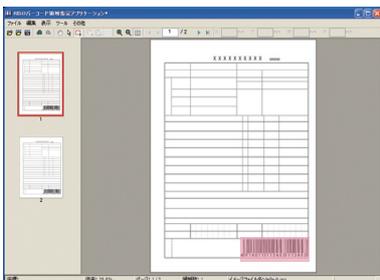
## 8 [OK] をクリックする

原稿の印刷イメージが、イメージ/バーコード領域に表  
示されます。



 原稿サイズが混在したデータを使用した場合、原  
稿データと印刷イメージの向きが異なる場合があ  
ります。「メニューバー」の [表示] - [右へ回転  
/ 左へ回転] で印刷イメージの向きを原稿データ  
と同じ向きに回転させてから、バーコードの領域  
を指定してください。

## 9 (領域作成ツール) で画面上のバーコードを囲む



囲んだ範囲が色付けされ、バーコード領域に指定されま  
す。  
編集ツールとメニューバーの機能を使って、バーコード  
領域を編集します。



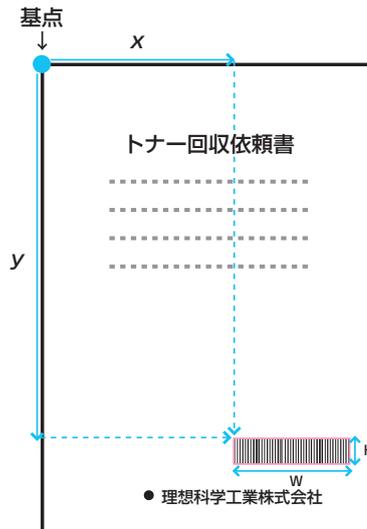
- ・バーコードが複数ある場合は、1 ページで 50  
個、30 ページ分の領域を指定することができ  
ます。また、[周期] を設定することで、繰  
り返し領域を適用することができます。
- ・[周期] の指定は、1 ~ 999 ページで指定す  
ることができます。指定したパターンで、ペ  
ージ全体に領域指定情報を適用することができ  
ます。詳しくは、「繰り返し機能の使用例」  
(p.106) を参照してください。
- ・繰り返し処理によって設定した以降のペー  
ジは、サムネイルに表示されません。
- ・バーコード領域は  (領域選択ツール) で同じ  
ページ内で移動することができます。別のペ  
ージに移動する場合は、コピーしてから異動先の  
ページに貼り付けてください。ただし、コピー  
したバーコード領域が原稿サイズより大きい場  
合は、貼り付けることはできません。

## 10 CSV (上書き保存) または [ファイル] メニューの [名前を付けて保存] でバーコード領域指定ファ イルを保存する

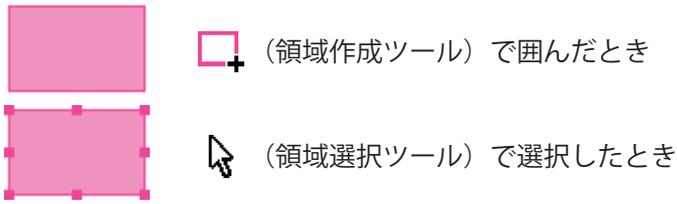
CSV 形式で出力 (保存) されます。



印刷物のバーコード位置とサイズは、PC で作成  
した原稿データの向きの左上を基点とし、「座標  
(X,Y)」「サイズ (W,H)」が CSV 形式で指定さ  
れます。(1 mm 単位)

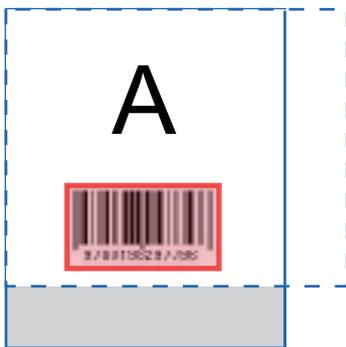


### 領域指定された部分の表示について



### サムネイル表示について

サムネイルはイメージの左上を基準に、原稿イメージとバーコード領域指定イメージを重ねて表示します。原稿イメージとバーコード領域指定イメージのサイズが異なる場合は、下記のようにサムネイルを表示します。グレイアウトされた部分にバーコード領域を指定する場合は、原稿イメージとバーコード領域指定イメージの向きを合わせてください。

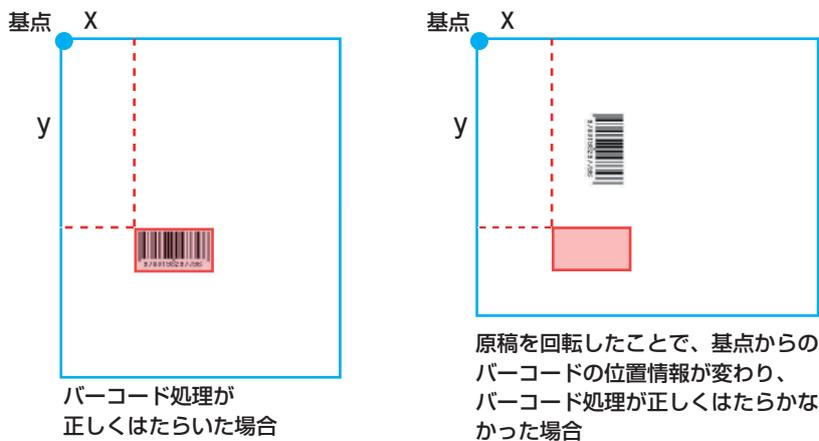


原稿イメージ（実線）＜バーコード領域指定イメージ（点線）  
バーコード領域指定イメージからはみ出した部分はグレイアウトします。

### バーコード領域指定の注意点

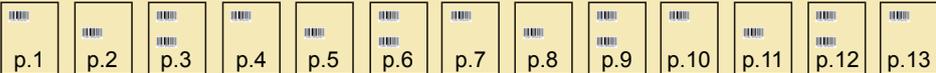
画像回転を行うなどして、指定したバーコード領域の位置情報が変わると、バーコード領域が正しく処理されません。

画像回転や印刷の向きを変更した場合は、領域作成ツールでバーコードの領域指定をやり直してください。（基点からのバーコード領域を修正してください。）



## 繰り返し機能の使用例

バーコード領域を 3 ページに指定した場合

原稿データ	
バーコード領域指定ファイル	
周期：0	 <p>バーコード領域指定ファイルで設定されたページのみ</p> <p>P.4 から P.13 はバーコード処理が設定されない</p>
周期：3	 <p>バーコード領域指定ファイルで設定されたページ</p> <p>繰り返されたページ</p> <p>繰り返されたページ</p> <p>繰り返されたページ</p>

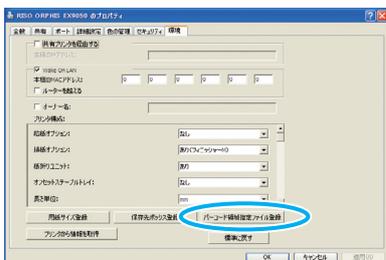
【繰り返し】 ダイアログボックスの【周期】に設定した値が、各ページに繰り返して領域指定されます。すべてのページに、領域を指定する手間を省くことができます。

- ・周期「0」 バーコード領域指定ファイルで設定されたページのみ
- ・周期「1」 バーコード領域指定ファイルで設定されたページの 1 ページ分の繰り返し
- ・周期「2」 バーコード領域指定ファイルで設定されたページの 2 ページ分の繰り返し
- ・周期「3」 バーコード領域指定ファイルで設定されたページの 3 ページ分の繰り返し

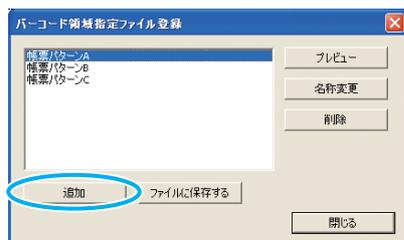
## バーコード領域指定ファイルの登録

プリンタドライバに、バーコード領域指定ファイルを登録します。ここで登録したバーコード領域指定ファイルは、[イメージ処理] 画像の [バーコード領域指定]、プルダウンメニューに表示されます。

**1** プリンターの [プロパティ]-[環境] タブ画面の [バーコード領域指定ファイル登録] をクリックする



**2** [バーコード領域指定ファイル登録] 画面の [追加] をクリックし、アプリケーションで作成したバーコード領域指定ファイルを指定する。



表示名を変更したり、プレビューで内容を確認することができます。

**3** [閉じる] をクリックする  
アプリケーションで作成したバーコード領域指定ファイルが、プリンタドライバに登録されます。

 オプションの外部コントローラにバーコード領域指定ファイルを登録する場合は、別冊の「ComuColor Express IS1000C ユーザーズマニュアル ユーティリティ編」を参照してください。

**[追加]**  
バーコード領域指定ファイルを読み込み、プリンタドライバに登録します。

**[ファイルに保存する]**  
選択したバーコード領域指定情報ファイルを CSV 形式で保存します。

**[プレビュー]**  
選択したバーコード領域指定情報のプレビューを表示します。

**[名称変更]**  
選択したバーコード領域指定情報の名称を変更します。

**[削除]**  
選択したバーコード領域指定情報を削除します。

## バーコードアプリのアンインストール

[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] - [RISO バーコード領域指定アプリケーション] - [削除] をクリックする

画面の指示に従ってアンインストールします。終了したらパソコンを再起動してください。

## 対応 OS と動作環境

「RISO バーコード領域指定アプリケーション」を動作させるためには、パソコンに以下の動作環境が必要です。

対応 OS	Microsoft® Windows® XP SP3 以降 (32-bit) / Microsoft® Windows Vista® SP2 以降 (32-bit/64-bit) / Microsoft® Windows® 7 (32-bit/64-bit) / Microsoft® Windows® 8 (32-bit/64-bit) / Microsoft® Windows® 8.1 (32-bit/64-bit) / Microsoft® Windows® 10 (32-bit/64-bit)
メモリ	Windows XP : 512MB 以上 Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10 : 1GB 以上
CPU	インテル社製および完全互換製品
クロック	1GHz 以上を推奨
ハードディスク	200MB 以上の空き領域 (OS が動作する容量が十分にあること)
ディスプレイ	解像度 1024 X 768 以上、High Color 以上





# メンテナンス



5

## 日頃のお手入れ

本機を快適にご利用いただくためには、日頃からお手入れが大切です。インクや用紙がなくなってから慌てて注文したり、お手入れ不足でプリント品質が落ちたりしないよう、日常のメンテナンスを心がけましょう。

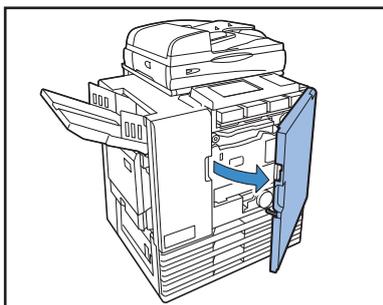


### インクカートリッジの交換

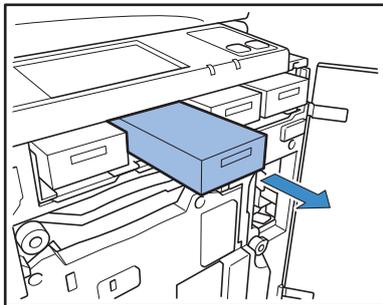
インクがなくなるとインク交換メッセージが表示され、プリントが停止します。表示されている色のカートリッジを交換してください。

- ❗ インク交換メッセージが表示されるまで、インクカートリッジは取り外さないでください。
- 🖨️ インクの残量が少なくなると、タッチパネル画面のインク残量表示が点滅します。点滅している色のインクカートリッジを準備してください。

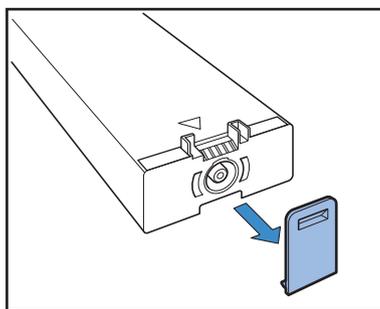
#### 1 前カバーを開ける



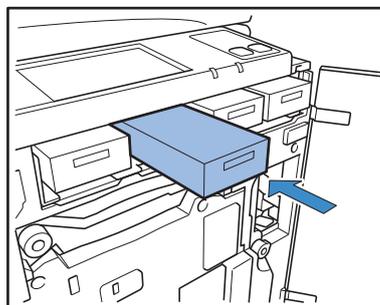
#### 2 交換するインクカートリッジを取り外す インクカートリッジの色を確認します。



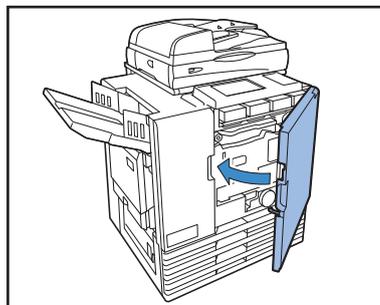
#### 3 新しいインクカートリッジのキャップを外す 外したキャップは、古いインクカートリッジに取り付けます。



#### 4 インクカートリッジを差し込む ▲印のある面を上にして、止まるまで差し込みます。



#### 5 前カバーを閉じる



- ❗ 使用済みのインクカートリッジは、指定の回収先に返送してください。返送先は販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

## インクカートリッジの取り扱いについて

インクカートリッジを取り扱う際には、以下に注意してください。

### ⚠ 注意

- ・インクが皮膚や目に接触しないようにしてください。
- ・印刷中は、十分な換気を行ってください。
- ・異常を感じた場合には、医師の診断を受けてください。



- ・インクは、理想科学製推奨インクをご使用ください。
- ・理想科学製ではないインクをご使用の場合、プリンターの機能を十分に発揮できないことがあります。また、「理想科学製ではないインクの使用」に起因する、故障や機能の低下は、製品保証およびサービス契約の対象外になります。
- ・インク交換メッセージが表示されるまで、インクカートリッジを取り外さないでください。
- ・インクカートリッジを振らないでください。振ると気泡が発生し、気泡でインクが適正に吐出されずプリントがかすれる原因となります。
- ・インクカートリッジは、紙とプラスチックで形成されています。落としたり傷つけたりしないでください。
- ・インクカートリッジは、本体にセットする直前に箱から出し、ビニール袋を開封してください。
- ・インクカートリッジのキャップは使用直前まで取り外さないでください。
- ・キャップを取り外したら、供給口を下に向けしないでください。インクがこぼれることがあります。
- ・キャップを外した部分には、インクが付いている場合があります。指などで触れないでください。インクは衣服に付くと、洗濯しても落ちません。
- ・インクカートリッジへのインクの注ぎ足しは行わないでください。
- ・適切な印字品質を維持するため、製造日をご確認の上、購入後は早めにご使用ください。
- ・使用済みカートリッジにはキャップを付け、付属の内袋に入れた上で梱包箱に入れて、指定の回収先に返送してください。返送先は販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

## インクカートリッジの保管について

本インクカートリッジは、「紙」でできているため、保管方法・環境によっては、変形して、使えなくなる場合があります。

下記の内容に従って、適切に保管してください。

- ・インクカートリッジは、梱包箱に入れた状態で保管してください。
- ・箱に記載されている「天地マーク」に従って、水平に保管してください。
- ・凍結・直射日光を避け、5℃から35℃の間で保管してください。また、温度変化の激しいところでの保管は避けてください。
- ・ビニール袋開封後のインクを保管する場合は、カートリッジに記載されている保管方向を守り、なるべく早く本体にセットしてください。

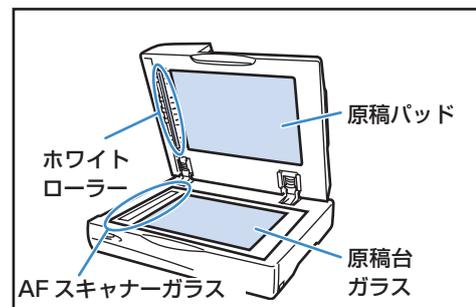
## スキャナーのお手入れ

オートフィーダーのホワイトローラーや原稿台ガラスにほこりやゴミ、インク、修正液などが付着すると、プリントやスキャンがきれいにできないことがあります。プリントやスキャンの質を保つため、定期的にお手入れしてください。



本書に記載されている作業以外は行わないでください。本機の調整や修理は、必ずお買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）に依頼してください。

- 1 原稿台ガラス、原稿パッド、ホワイトローラー、AF スキャナーガラスを拭く  
クリーナーで数回軽く拭いてください。



- ⚠ 原稿台ガラスは傷つきやすいので、絶対に固い物で傷つけたり、衝撃を与えないでください。





当社は国際エネルギー・プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー・プログラムの基準に適合していると判断します。



#### カラーユニバーサルデザイン認証を取得

ORPHIS EX シリーズ（本体、オプション\*および取扱説明書）は、NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構（CUDO）により、カラーユニバーサルデザインが実現できていると認定されました。

\* 認定オプション製品  
スキャナー/オフセットステープルトレイ/大容量給紙ユニット/  
大容量排紙ユニット

## 商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ColorSet は米国の特許商標局で登録される Monotype Imaging 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。

RISO ロゴ、ORPHIS、FORCEJET は、理想科学工業株式会社の登録商標または商標です。

本書に記載されているその他の製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。



### お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

**お客様相談室 ☎0120-534-881**

受付時間(月～金 10:00～12:00,13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

当社製プリンタドライバ/ソフトウェアの操作に関しては

**サポートセンター ☎0120-229-330**

受付時間(月～金 9:00～17:30 土・日・祝日・当社休業日を除く)

 **理想科学工業株式会社**

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6112

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>